

過般開催ノ國際商業會議所理事會ハ曩ニ銀問題ノ研究ヲ依
囑シタル専門家ヨリ提出ノ報告ニ對シ尙未タ研究ヲ要スル
點アリタルト且問題ノ頗ル困難ナルニ鑑ミ一般討議ニ附ス
ルニ至ラサリシカ今回其一部ヲ發表シタリ其主要點ハ
銀市場回復策ヲ目的トスル國際會議成立ノ氣運乏シキ折柄
各國政府ニ銀本位制併用ヲ提唱スルモ實行疑ハシク又補助
銀貨ノ品位改善ヲ勸奨スルモ急速實施ノ見込無キ故スル國
際的協商ヲ必要トセサル方面ニ實行性アル對策ヲ求メタル
處世界現在ノ銀生産ノ大部分ハ數ケノ米國內會社ニ掌握セ
ラレ居ル事實ニ顧ミ國際商業會議所ハ米國銀生産者ト印度
政府ノ間ニ銀賣出シニ關スル協約締結可能ナリヤヲ研究セ
ラレン事ヲ勸告スト云フニアリ而シテ右協約ハ米國國內法
ヲ遵奉シ輸出賣出シノ販域ニ於テノミ米國生産者ノ結合ス
ルモノタルコトヲ要シ又米國以外ノ國ノ生産者カ該協約ニ

來リ参加スルコトハ素ヨリ歡迎スル處ニシテ西班牙銀行ヲ
懲憑シ協同動作ヲ執ラシムルコトモ亦必要ナラント説キ居
レリ
尙右ノ外該専門家ハ次ノ如キ三ヶノ提案ヲ爲セリ
一、各國政府カ各自ニ銀ヲ以テ正貨準備ニ當ツルコト(但
シ金銀ノ比價ヲ定ムルハ面白カラストナス)
二、銀ニ對スル信用ヲ回復スル爲各國政府ハ銀貨ノ品位ヲ
戰前ノ夫レニ引上クルコト
三、銀生産者ニ於テ銀ノ用途開拓ニ努ムルコト(銀ノ變色
妨止ヲ發明スル丈ケニテモ工業的用途擴大セラルヘシト看
做ス)
右國際商業會議所本邦國內委員會へ御傳達アリ度シ

七 排日ボイコット問題

670 昭和6年7月(7)日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

朝鮮排華事件に関する上海諸新聞論調報告

上海 本省 7月7日後着 発

第二九九號

平壤暴動事件ニ關シ七日ノ當地ノ中外諸新聞ハ孰レモ特筆
大書シ民國日報ノ如キハ「日本軍ハ鮮人ノ暴動ヲ袖手傍觀
ス」トノ見出ニテ書立テ居リ他方當地市黨部全國商會聯絡
會及國家維持會等モ夫々悲憤的通信ヲ發出シタル趣ナリ
新聞論調ノ主ナルモノ左ノ通

晨報(七日)

萬寶山事件ト排華暴動事件トハ同一事件ナルカ如キモ實ハ
別箇ノ問題ナリ然レトモ其原因ハ何レモ日本ノ植民政策ニ
アリ即チ東三省ニ於ケル鮮農ハ日本政府ノ後援ヲ頼ミ遂ニ
今次ノ萬寶山事件ヲ惹起シ又朝鮮ニ於ケル鮮人ハ由來華僑

ヲ嫉視シ政府亦種々過酷ナル條例ヲ定メ又ハ居留手續ノ不
備及租稅滯納等ヲ口實ニ華僑ヲ退去セシメ居リシ處今次ノ
萬寶山事件ニ事ヲ寄せ遂ニ華僑驅逐ノ目的ヲ達シタルニ過
キスシテ本件ハ決シテ一時ノ突發事件ニ非サルニ付對日交
渉ニ當リテハ右癘ヲ除去セサレハ風潮ノ鎮定難カルヘシ云々
新聞報(七日)

平壤暴動ノ如キ事件カ若シ他國居留民ノ上ニ發生スルカ如
キコトアランカ其影響ヤ如何汪公使ハ日本當局ニ對シ單ニ
僑民ノ保護ヲ要求シタルカ如キモ斯カル軟弱態度ニテハ恐
ラク埒明カサルヘキニ付外交當局ハ此際嚴重對日詰問ヲ發
スルト共ニ之カ救濟策ヲモ講スヘキナリ萬寶山事件ノ如キ
ハ素々彼等ノ口實ニシテ其實日本側ノ周密ナル組織的計畫
ニ依ルモノナリ外交部ハ宜シク從容ノ態度ヲ以テ折衝ニ當
ルヘシ

「チャイナプレス」(七日)

六日吉林發特電トシテ萬寶山二百名ニ餘ル日本兵士侵入シ

宿舍ニ充ツル爲支那人家屋ヲ占領シ又伊通河航行ノ支那船ヲ取押ヘ且河ノ一部ヲ埋メテ航行ヲ阻止シ中國官憲ノ事件調査ヲ阻害シツツアル旨報道スルト共ニ社説ニ於テ大要左ノ通論シ居レリ

「報道ニ依レハ萬寶山事件ニ關シ幣原外相ハ奉天總領事ヲシテ中國官憲ニ嚴重抗議セシメ其内日本政府ハ此種事件ノ類發ニ鑑ミ法權問題ニ付再考スルノ必要ナルヲ認ム若シ中國當局ニシテ日本側ノ警告ヲ無視スル場合ハ日本政府ハ在滿邦人保護ノ爲適當ト認ムル措置ヲ執ラサルヲ得サルヘキ旨申入レシメタル由ナルカ「リベラリズム」ヲ以テ夙ニ名聲アル同外相ニシテ斯カル脅迫的抗議ヲ爲サシメタリトスレハ之日本カ田中内閣時代ノ侵略外交ニ逆轉シツツアルコトヲ語ルモノニシテ或ハ今後六ヶ月間ニ現在滿洲ニ於テ不可解ト思ハルル事態ヲ明瞭ナラシムヘキ政治的事件發生スルヤモ計リ難シ

七月四、五兩日ニ亘ル朝鮮各地ニ於ケル支那人迫害ハ驚クヘキ程時ヲ同シクシテ發生セルモノノ如ク報道セラレ且其報道力皆日本側ヨリ出テ居ルコト不思議ナルカ本件ニ關シ中國側ニ於テハ日本政府ニ嚴重抗議シ形式的謝罪ニ止マラ

貴電ニ關シ

當地中國人ハ一般ニ萬寶山事件ノ非日本人ニアリト確信シ當方ノ反駁ニ對シテ耳ヲ傾ケス内心憤慨シ居リタル矢先鮮内地ニ於ケル暴動起リ而モ日本人ノ指嗾ニ依ルモノト邪推シ深ク憤慨シ居ル模様ナルモ當地地方ニ於テ報復的暴動起リタル場合ニ於ケル重大ナル結果ヲ顧慮シテカ新聞ニ書立ツル以外排鮮又ハ排日ノ表面化セサル様努メ居ル模様ニテ唯既電ノ通鮮人兒童ニ對スル暴行扶餘縣及綏化ニ於ケル鮮農追出問題並七日夜當地新聞及學生代表力會合シテ拒韓會ナル團體ヲ組織シテ鮮人排斥大會開催ヲ決議シタルモ警察當局ニ於テ之ヲ慰撫シツツアリトノ情報アリ斯様ノ情勢ノ下ニアリテハ暴動等ノ導火線トナルヘキ突發事件ノ發生ヲ防止スルコト必要ト認メ前記鮮人學校モ九日ヨリ臨時的ニ休校セシメ一般鮮人ニ對シテモ自重ヲ促シ一方極力支那側ノ取締ヲ刺戟シツツアリ唯茲ニ氣遣ハルルハ奧地ニ住ム三萬數千ノ鮮人ノ運命ニテ將來朝鮮暴動ノ真相ヲ傳フル宣傳員ニテモ入込様ノ場合ニ追出等ノ運動起ラストモ限ラス尙一般鮮人ハ事件發生後戦々兢兢タル有様ニテ中ニハ鮮内地ヨリ滿洲居住ハ危險ニ付歸鮮スヘキ旨電報ヲ受ケタルモ

ス相當ノ賠償ヲ爲サシメントヲ要求シツツアリ現在滿洲ニ於ケル日支間緊張状態ノ根本的原因ハ日本ノ軍國主義ニ存スル次第ニテ内田伯ノ滿鐵總裁就任朝鮮ノ師團増派滿洲駐屯軍ノ常駐決定等ハ悉ク中國識者ノ疑惑ヲ深メツツアリ國民政府ハ滿洲ニ於ケル中國國權侵害ヲ阻止スル爲十分警戒スヘシ

北平、奉天、吉林、哈爾濱、長春、間島、南京、關東長官、朝鮮總督へ轉電セリ

編注 「家」の箇所に「貨」との書き込みあり。

671 昭和6年7月9日

在ハルビン大橋總領事より
幣原外務大臣宛（電報）

朝鮮人の排華問題に関する当面の対策意見に
つき朝鮮總督宛電報

ハルビン 7月9日後發
本省 7月10日後着

第一二七號

本官發朝鮮總督宛電報第一五號

ノモアリ勿論今後ノ事態ハ本件ニ關スル日支交渉ノ進展如何ニカカハルモ差當リノ策トシテハ貴地方ヨリ日本人煽動ノ事實ナキコト犯人ノ逮捕處罰被害者救助等ニ關スル情報ヲ成ルヘク放送サレ當方面中國人心ノ鎮靜ニ資セラルルコト差當リ必要ト思考ス
大臣へ轉電セリ

672 昭和6年7月10日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛（電報）

朝鮮排華事件に關シ在上海大韓民国臨時政府
外交部長が上海の中國側当局を歴訪しかつ中
国紙に声明書発表について

上海 發
本省 7月10日後着

第三〇九號

萬寶山事件ニ關聯シテ突發セル鮮人暴行事件ハ在滬鮮人ニ對シ相當衝動ヲ與ヘタル模様ニシテ民族派幹部連ハ本件ヲ以テ在華鮮人ノ死活ニ關スル重要問題ト爲シ之カ善後策ニ付協議ヲ重ネタル結果本月八日臨時政府外務部長趙素昂ヲ

朝鮮排華事件に対する国民政府および党部方面の意向に關し報告

上海 7月11日後発
本省 7月11日後着

第六二一號

往電第六〇九號ニ關シ

朝鮮暴動事件ニ付民國側政府及黨部主腦部ノ誤解ヲ解キ我政府ノ公正ナル態度ヲ知ラシムルコト本問題ニ起因スル復讐的排日騒キヲ緩和スルニ必要ナリト思考シタルニ付直ニ林出書記官ヲ南京ニ派遣シ要部ノ主要人物ニ會見セシメ公然トナク右様ノ手段ヲ執リタル次第ナリ當地ニ於テモ種々ノ關係ヲ利用シテ貴電合第三八九號御訓令ノ趣旨ヲ体シ同様ノ手段ヲ執リタル譯ナルカ民國側ハ政府黨部ノ方面ニ於テハ此際徹底的ニ排日手段ヲ講スヘシトノ説ト問題ノ擴大ヲ防キ事態ヲ惡化セシメサル様スヘシトノ説ト二分レ居タル模様ニテ大体八日ノ政治會議ニ於テ穩健派ノ説ニ從フコトトナリタルカ如ク右ノ結果ハ外交部長其他ノ態度ニモ反映シ居ルモノト思ハル乍併地方的ノ種々ノ團體言論機關等ハ尙宣傳的ノ決議若ハ議論ヲナシ其影響ノ及フ處鮮カラサ

シテ在滬民族派鮮人ヲ代表シテ當地市政府、市黨部、警備司令部等ヲ歴訪セシメ「今回ノ事件ハ全ク日本ノ使^{(二)字多ク}煽動ニ依ル鮮内親日派鮮人ノ暴行ニシテ日本ノ北滿侵略陰謀政策ニ利用セラレタルモノナルヲ以テ我等ハ極力中國民衆ト協力シ決死的對日行動ヲ執ルニ躊躇セサルモノ」ナル旨述ヘシメテ中國側ノ甘心ヲ求メ事態ノ緩和ニ努ムルト同時ニ同日更ニ臨時政府外務部長ノ名ヲ以テ中國新聞ニ聲明書ヲ發シタルカ一般鮮人ハ何時中國人ノ復讐行爲アルヤモ計ラレスト爲シ内心頗ル恐怖シ該事件カ日華兩國ノ交渉ニ依リ解決ノ速カナランコトヲ切望シ各自自重警戒シツツアリ中國側並佛租界及共同租界警察當局ニ於テモ萬一ヲ慮リ相當警戒ヲ加ヘツツアルカ今日迄ノ處鮮人ニ對シテ保護ヲ要スルカ如キ事態未タ發生セス

南京、北平、奉天、哈爾濱、吉林、長春、間島、天津、青島、濟南、漢口、福州、廣東、關東長官、朝鮮總督ニ轉電シ代理公使ニ轉報セリ

673 昭和6年7月11日
在中国重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)

ルヘシト思ハル朝鮮方面ニ在任シ居ル民國人ノ通信ノ如キ特ニ其主ナル出身地タル山東北部ノ方面ニ傳ヘラレツツアルモノノ影響モ亦戒心ノ要アリト認メラル

右不取敢

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、南京、長春、哈爾濱へ轉電シ上海へ轉報セリ

674 昭和6年7月13日
在中国矢野公使館參事官より
幣原外務大臣宛(電報)

朝鮮排華事件に關連し居住朝鮮人対策に關する訓令を各県宛発出した旨張作相より張學良、戴翼翹宛電報について

北平 7月13日前発
本省 7月13日前着

第二六八號

密電情報

七月十日張作相發張學良戴翼翹宛電報
余ハ歸奉後各縣ニ對シ上記訓令ヲ發セリ

(一)今次紛糾事件ノ曲否ハ既ニ明瞭ナルニ依リ我方ハ冷靜ナ

675 昭和6年7月13日
在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

張上海市長に對し朝鮮排華事件につき遺憾の

ル態度ヲ以テ公理解決ヲ待チ軌外ノ行動ヲ爲シテ人ニ口實ヲ殘ササルヘキ事

(一)我國境内ニ居住ノ日鮮人及其職業ヲ詳細調査シ本月中ニ一括報告スヘキコト

(二)鮮人ノ雜居ヲ制限シ既定契約ノ滿期後ハ同契約ヲ廢棄スルハ勿論新來鮮人トノ間ニ如何ナル契約ヲモ成立スルヲ得ス根本的ニ鮮人ヲ制限スヘキコト

(三)各縣ノ治安ハ縣警備隊ニ於テ責任ヲ以テ警備シ鮮人暴動ヲ豫防スヘキコト

(四)鮮人ノ華僑慘殺及日本ノ侵略政策ニ關シ縣政府ニ於テ責任ヲ以テ宣傳ニ努メ民衆ヲシテ國事ニ關スル見識ヲ持チ自強思想ヲ印セシムルコト

支ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ

支、漢口、廣東、青島、濟南、天津、奉天、吉林、哈爾濱、長春、間島へ轉電セリ

意を表し日貨排斥等報復的運動發生取締方懇
談について

上海 発

第三一四號

本省 7月13日後着

往電第三一一號ニ關シ

本官十二日張市長ヲ往訪シ先ツ今回ノ事件ニ付遺憾ノ意ヲ表シ日本政府ノ態度ヲ説明シタル上當地方ニ於テ日貨排斥其他報復的運動發生スルニ於テハ其結果大イニ憂慮スヘキモノアルヲ述ヘ其取締方懇談セル處張市長ハ自分モ全然同感ナレハ出來得ル丈盡力スヘキ旨述ヘタル後元來朝鮮ニ於ケル警察ノ有能ナルハ周知ノ事實ナルニ拘ラス斯カル大事ニ立至ラシメタルコトニ顧ミ中國人中右ハ官憲カ初メ故意ニ之ヲ放置セルモノナリト見ルモノ多ク甚シキハ之ヲ以テ日本ノ軍閥乃至日本政府ノ計畫的陰謀ナリト爲スモノアリ之ハ日本政府ニトリ甚タ迷惑ノコトナルモ日本トシテモ朝鮮警察ノ有能ナルコトヲ否認シ得サルヘケレハ中國人ノ疑モ無理カラヌコトニテ我々ノ貧弱ナル日本ニ關スル智識ニテハ辯明ニ窮スル次第ナリ此疑ヲ解キ得ルヤ否ヤハ一二懸

676 昭和6年7月14日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

上海において商工団体等主催の反日援僑大会
開催され宣言決議並びに諸提案可決について

上海 7月14日後着
本省 7月14日後着

第三一七號

當地ノ商工団体其他ノ主催ニ係ル反日援僑大會ハ十三日午後三時ヨリ上海市商會内ニ於テ開會出席者ハ各団体ノ代表其他數百名ニ及ヘルカ議事ハ首席團代表鄭澄清(市商會總幹事)開會ノ趣旨ヲ述ヘ次テ數番ノ悲憤慷慨的演說アリタル後同大會ノ宣言トシテ「朝鮮ニ於ケル激烈ナル排華運動ハ日本政府ノ積極的滿蒙政策ノ表現ナリト確認スルニ付中華民國將來ノ生存ノ爲沈毅勇猛ノ精神ヲ以テ永遠ニ對日經濟絶交ヲ實行ス之カ有效ナル實行方法ニ付テハ中央黨部ニ申出テ同黨部ヨリ各地黨部ニ命令ヲ發シ民衆ヲシテ一致ノ行動ヲ執ル様指導アリタシ」云々ヲ決議シ

並ニ諸提案ノ中
一、救國基金ノ一部ヲ割キ遭難華僑ノ救恤費ニ充當ス

ツテ今後ノ日本政府ノ善後措置(救恤ノミナラス事實ノ調査犯人處罰等ヲモ含ム意味ト了解セリ)ニアル次第ニシテ其如何ニ依リテハ報復的運動發生スルヤモ計ラレサル次第ニ付申ス迄モナキコト乍ラ充分善處セラレシコトヲ希望ス尙右ハ友人ノ意見トシテ重光代理公使ニモ傳ヘラレタシト述ヘタルニ付本官ハ自分トシテモ詳報ヲ得居ラサレハ適確ナル説明ハ與ヘ得サルモ聞ク處ニ依レハ朝鮮警察官吏ハ一半ハ鮮人ナル由ナレハ其邊ノ關係ニテ多少遺憾ノ點アリシヤモ知レス又政務總監警務局長等更迭ノ際ニテ警察主腦部カ留守ナリシトカノ聞込ミモアリ兎ニ角突發事件ノコトニモアリ冷靜ナル第三者ヨリ批評シテ失態ト見ユルコトモ實際ノ事情判明セハ自ら氷解スルコトモアルヘシ又善後策ニ付テハ政府モ迅速公正ノ措置ヲ執ルコトト信スルカ御意見ハ代理公使ニモ篤ト御傳ヘスヘシト答ヘ尙十三日開會ノ上海市商會ノ會議ニモ言及シ之ニ付テモ取締方依頼シタルニ市長ハ快諾シ今迄ノ處幹部ハ比較的穩健ナルカ尙ヨク話シ置クヘシト述ヘタリ

南京、漢口、北平、天津、奉天、長春、哈爾濱、吉林、閩島、青島、濟南、廣東、朝鮮總督へ轉電シ支へ轉報セリ

二、國民政府ニ對シ嚴重ナル對日抗議ヲ提出シ左記要求ヲ爲ス様呈請ス

(イ)元兇ノ嚴罰遭難者ノ救恤及充分ナル賠償(ロ)政府及國民ニ對スル鄭重ナル謝罪(ハ)日本官吏軍警ノ懲戒(ニ)華僑ニ對スル將來ノ安全保障(ホ)在滿鮮人ノ二重國籍取締(ヘ)保僑通商條約ノ改訂

三、遭難華僑ノ追悼會舉行

四、中央ヲ通シ東三省政府ヲシテ日本軍警ノ不法行動ヲ制止セシム

五、對日經濟絶交ノ實行ハ各界ノ代表三十九名ヨリ成ル反日援僑委員會ヲシテ辦理セシム

等ノ諸項ヲ可決シタル趣ナリ
公使へ轉報シ北平、奉天、吉林、哈爾濱、長春、閩島、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廣東、朝鮮總督、關東長官へ轉電セリ

677 昭和6年7月14日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

上海地方における排日問題具体化に関する中国

知識人並びに日本人商社一部の予測等について

上海 7月14日後発
本省 7月15日前着
第三二〇號

當地方ニ於ケル排日問題具体化如何ハ豫斷ヲ許ササル處
一、米里日清汽船重役及船津(紡績同業會理事)等カ接觸セル中國人方面ノ觀測ニ依レハ智識階級ハ大体反日會ノ行動ハ單ニ面目保持上言論宣傳スル位ニシテ大事ニハ至ラサルヘシト觀察シ居レルモ商人等ハ一般ニ此際再ヒ排日貨風潮起ルヘシト豫測シツツアル者多シトノコトナリ
二、邦人商社一部ノ觀測ニテハ此際排日貨ヲ高調スルハ當地方問屋筋カ手持在荷ヲ處分センカ爲ニ殊更ニ宣傳シツツアル次第ナルカ地方商人中ニハ間々排日ヲ豫想シ買進ミヲ爲シツツアルモノアルモ其氣配モ未タ左迄大ナラストノコトナリ
三、往電第三一七號反日援僑大會ニ列席シタル謀報者ノ談ニ依レハ前回反日會ノ際ノ苦キ經驗モアレハ商業家側團體ハ餘リニ乘氣セス會ノ大勢ヲ動カシツツアルハ職工労働者ノ團體黨部關係者並學校關係團體ナルカ會ノ牛耳ヲ握ル實

ハルビン 7月15日後発
本省 7月15日後着

第一三三號

十四日ノ新聞ハ他地方ヨリノ通電及在鮮支那人ヨリノ通信等ニ刺戟サレタルモノカ全紙朝鮮及萬寶山事件ニ關スル記事論說ニテ充タサルニ至リ十三日夜半ヨリ哈爾濱國民後援會ナル名義ニテ「日本ハ弱小民族ノ聯合戦線ヲ破ラント欲ス」「在支鮮人ハ總テ中國ノ法律ヲ守ルヘシ」「打倒日本侵略政策」等ノ傳單ヲ貼付ケタルモノアリ更ニ二十四日午后市總商會ニ於テ黨部ヲ中心トシテ各界ノ連帶會議ヲ開キ本件ヲ討議シ氣勢ヲ揚ケタル由ナルカ大体ノ傾向ハ萬寶山及朝鮮事件ヲ日本ノ陰謀ニ歸シ排鮮ヨリ排日ニ轉向セントシツツアリ
支、北平、南京、奉天、吉林、長春、關東長官、朝鮮總督ヘ轉電セリ

679 昭和6年7月16日 在中国重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)

朝鮮事件の影響等につき王外務部長との会談

行委員三十九名ノ選出ニ付各團體ニ確執アリ委員ハ總テ黨部ニ登記シ置クモノタルヲ要スルコトトナリ其審査決定迄ニハ尙餘日モアルヘシトノコトニテ何ノ程度迄具体化スルヤ尙不明ナリト
四、十三日ノ「イヴニング、ポスト」ハ「中國人カ今回ノ事件ニ激怒シ抗議的措置ニ出ツルコトハ無理カラヌモ事件ハ既ニ兩國間ノ外交交渉ニ移サレ日本側モ避難民保護等ニ全力ヲ擧ケ又救恤金支出ニ決定シタル由ナレハ中國人カ一時ノ感情ニ驅ラレ排日運動ニ出ツルカ如キハ採ラサル所ナル」旨論評セリ

北平、吉林、哈爾濱、長春、閭島、奉天、天津、青島、濟南、南京、漢口、福州、廣東、朝鮮總督、關東長官ヘ轉電シ代理公使ヘ轉報セリ

678 昭和6年7月15日 在ハルビン大橋総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

朝鮮、万宝山事件に対しハルビンでは排朝鮮より排日に転向しつつある状況について

要旨報告

南京 7月16日後発
本省 7月17日前着

第六四一號

往電第六四〇號我回答文提出ノ際朝鮮暴動事件ニ關スル王部長トノ應答要領左ノ如シ

(一)外交部長ハ朝鮮各地ニ於ケル暴動ハ既ニ終熄シタルコトヲ希望ス尙此事件ニ對シ中國各地ニ於ケル激昂甚タシキモ自分等ハ形勢ヲ惡化セシメスシテ進ミタキ考ナリ此際斯ノ如キ兩國ノ神經ヲ刺戟スル問題ノミヲ雙方ノ交渉ノ題目トスル場合ニハ空氣ノ緩和ニハ全ク貢獻スルコトナカルヘキニ付テハ貴下ヨリ政府ニ對シ例ヘハ法權問題租界問題等ニ付交渉ヲ進捗セラレ事態ノ緩和ニ貢獻スル様斡旋セラレタシトノ趣旨ヲ繰返シ述ヘタリ

(二)右部長ノ口吻ニ依レハ今回ノ排日感情ハ相當強ク中央ニ於テモ充分之ヲ抑制シ得ル自信少キコトヲ證明スルモノト見受ケラルト共ニ一方此空氣ヲ利用シテ法權問題等ニ關スル對日交渉ヲ有利ニ導カントスル底意トモ見ラルル處此際王部長ニ對シ事態ヲ明瞭ニシ我方態度ヲ説明シ

置クコト必要ト認メタルニ付大要左ノ通應酬シ置ケリ

(三) 鮮内暴動ハ遲滞無く鎮靜セラレタルカ自分ノ得タル情報ニ依レハ暴動ハ精々四、五、六ノ三日間各地ニ行ハレタルノミニテ其後ハ各地トモ官憲ノ努力ニ依リ終熄シタリ日本政府ハ事態ノ發生ヲ遺憾トシ且之ニ對シテハ之迄充分ノ措置ヲ執リ又執リツツアリ尙今回ノ暴動ニ依リ兩國從來ノ親善關係カ惡化セサランコトヲ衷心ヨリ希望シ居リ貴部長等ノ本件ニ對スル態度ニ關シテハ既ニ政府ニモ充分説明シ幣原大臣モ之ヲ多トシ居ル次第ナリ今日ノ如キ對日感情激昂ノ際ニ於テ日本政府カ貴説ノ如ク法權問題等ノ交渉ヲ促進スルコトヲ希望スルヤ或ハ右ノ如キ大問題ノ交渉ハ却テ感情ノ冷靜トナルヲ待タントスルカハ自分ニハ不明ナリ又租界ニ付テハ前回説明セル通り法權問題ヲ進行サセテ漸次之ニ觸ルルコトトシタキ日本側内政上ノ立場ハ充分御存知ノ筈ナリト説明シタル後

(四) 尙此際貴部長ノ御參考迄本使ノ卒直ナル觀察ヲ述ヘ度シトテ左ノ通述ヘタリ

今回中國ニ於テ暴動事件ヲ機トシ各地ニ激烈ナル排日運動ノ煽動セラレ居ルハ恰モ濟南事件後ノ形勢ニ似タリ然

680 昭和6年7月18日 在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

上海市商會が対日經濟斷交を議決の趣について

上海 兪
本省 7月18日後着

第三三〇號
朝鮮事件ニ關シ

上海市商會ハ十七日午後執行委員會ヲ開催シ協議ノ結果(一)國內各地商會並ニ海外ノ華僑ノ團體ニ對シ遭難華僑ノ救濟金寄附方通電ヲ發スルコト(二)各地商會ニ對シ商民ヲ指導シ自働的ニ組織アル對日經濟絶交ノ實行方通電ス(三)對日經濟絶交ノ實行辦法ニ關シテハ二十四日臨時會員大會ヲ召集シ討議スルコト等ヲ議決シタル趣ナリ

北平、奉天、吉林、哈爾濱、長春、間島、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廣東、朝鮮總督ニ轉電シ
代理公使ニ轉報ス

681 昭和6年7月21日 幣原外務大臣より
在中國重光臨時代理公使宛(電報)

レ共當時ト今日トハ事態ニ大ナル相違アリ濟南事件ノ際ハ日本ニ於テモ意見ヲ有スルモノ鮮カラス國論必スシモ歸一セザリシカ今回ハ然ラス日本側ニ於テハ豫テヨリ中日兩國ノ關係ヲ善導スル爲凡ユル努力ヲ爲シ又爲シツツアル次第ニテ其際ニ朝鮮暴動事件發生セリ政府及國民共ニ是ヲ遺憾トシ日支國交ノ大局上ヨリ見テ萬全ノ措置ヲ採リタチ即チ日本側ニ於テ最善ノ處置ヲ採レルコトヲ確信スルモノニシテ世界モ斯克認メ居レリ此點ニ付テハ政府攻撃ノ内政上ノ問題ハ暫ク別トスルモ日本各方面一致ノ意見ナルハ新聞論調ニ徴スルモ明カナリ是ニ對シ民國側カ今回ノ事件ヲ機トシ各方面ニ於テ組織サレタル排日運動ヲ起サレントスルカ如キハ自分ハ日本側カ或ハ是ヲ目シテ普通ノ手段ニ非ス右ハ今日迄存在スル兩國ノ友好關係ニ反スルモノナリトノ結論ヲ下スニ至ラン事ヲ恐ル此點ハ自分ノ最モ憂慮スル處ナリト説明セリ

(五) 王部長ハ本使ノ所説ヲ熱心ニ傾聽シ居タルカ自分等モ形勢ノ防遏ニ努力シツツアル次第ナリトテ(一)ノ趣旨ヲ繰返シタリ

王外交部長および宋財政部長等に反日運動抑制と
中国側新聞の煽動的記事取締につき申し入れ方訓令

本省 7月21日後8時41分發

第二四六號(暗、至急)

朝鮮事件ニ關シ引續キ中國新聞紙ハ事件ノ原因ヲ捏造シ又事實ヲ誇張セル煽動的記事ヲ掲載シツツアル處日本側カ裏面ヨリ暴動ヲ使喚スルカ如キコトノ有リ得サルハ勿論其ノ發生前後ニ於テ我官憲カ極力取締ニ努メタルコトハ往電第二三五號ニテモ明カナル通ニテ右ハ公正ナル現地調査完了ノ上ハ一層明瞭トナルモノト信ス要スルニ本件ハ極メテ不幸ナル突發事件ニシテ帝國政府ニ於テハ甚タ之ヲ遺憾トスルト共ニ此ノ上事態ヲ惡化セシメサルコト兩國國交上極メテ肝要ナルヲ痛感スルモノナルカ本件ニ關スル本邦輿論モ大体公正溫健ナルハ御承知ノ通ナリ然ルニ最近ニ於テハ前記中國新聞紙ノ煽動的記事ノミナラス上海ノ有力ナル實業家ヨリ成ル反日援僑委員會ハ日貨抵制ヲ決議シ之カ實行方各地商會ニ電報セル趣ナル處此種策動ノ結果何等罪ナキ日本人及日本貨物ニ不當ノ損害ヲ及ホスカ如キコトアラムカ前記ノ如キ比較的冷靜ナル本邦輿論ヲ激昂セシムヘキコ

ト想像ニ難カラス殊ニ南京政府ノ勢力下ニ在ル上海ニ於テ而モ同政府ト密接ノ關係アル有力實業家首唱ノ下ニ日貨排斥ノ實行ヲ見ル如キハ（上海發本大臣宛電報第三三一號反日援僑委員會決定ノ日貨抵制辦法ニ依レハ該辦法ニ違反シタルモノハ之ヲ處罰スルコトトナリ居ル處私的團體ニ於テ政府ノ同意ナク勝手ニ個人ヲ罰スルカ如キハ法權問題ノ論議サレ居ル今日世界ヲ衝動セシムヘシ）必スヤ我國人心ノ南京側ニ對スル反感ヲ刺戟スヘク而モ其勢ノ赴ク所ハ結局日華孰レニモ益ナクシテ収拾スヘカラサル事態ニ陥ルコトナキヲ保セサルヘシ

南京 7月22日後発
本省 7月23日前着

ナキヲ保セサルヘシ

紋上ノ趣旨ハ既ニ貴官ヨリ王外交部長及宋財政部長ニ對シ申入レラレタル次第ハアルモ前記ノ如ク排日運動具體化ノ形勢ニ顧ミ此上共國民政府側ノ深甚ナル注意ヲ喚起シ置クコト肝要ト存スルニ付本大臣ノ訓令ニ基ク旨ヲ以テ更ニ兩部長及張群邊リニ上述ノ趣旨可然御申入相成リ排日運動ノ切實ナル取締ヲ要求セラレタシ

北平、南京、哈爾濱、吉林、奉天、間島、天津、濟南、青島、芝罘、漢口、長沙、沙市、宜昌、重慶、汕頭、廣東、香港ニ轉電セリ

蘇州、杭州、蕪湖、九江、福州、厦門ニ轉電シ上海ニ轉報アリタシ

682 昭和6年7月22日 在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)

上海を中心とする排日貨運動抑制方王外交部長に申し入れについて

南京 7月22日後発
本省 7月23日前着

第六六七號
廿一日王部長ニ面會ノ際上海方面ヲ中心トスル組織的排日運動ノ益々具體化セントスルヲ指摘シ右ハ朝鮮事件ニ對スル日本側ノ公正ナル態度ト相容レサルモノニシテ其惡影響ヲ甚タ恐レラルルニ付民國政府筋ニ於テモ充分取締ノ必要アルヘシト述ヘタルニ王部長モ右ニ異議ナク自分モ是迄トモ排日運動ノ抑制ヲ勸告シ居ル次第ナルカ一方日本側ニ於テモ種々ノ問題ニ付中國側ノ對日惡感情ヲ緩和スルノ措置ニ出テラレ度ク希望ニ堪ヘス英國ノ如キハ兩三年來民國ニ對シ種々好意ヲ示シ租界問題法權問題等モ着々進行シ居ル

爲民國ノ對英感情モ一變シツアル次第ナリ幣原男ノ民國ニ對スル同情ハ自分モ充分了解シ居ルモ右ハ大体消極的ノコトニテ未タ積極的表示ナキコトハ遺憾ナリトテ例ノ持論ヲ繰返シタルニ付本官ハ部長ノ御意見トシテ精神ニハ同感ニシテ空氣ノ改善ハ雙方ヨリ努力ノ必要アリ日本側モ勿論出來得ル限りノ努力ヲナスヘキモ現ニ上海方面ニ於ケル排日計畫ト日民兩國間ノ各種交渉ハ理論的ニ無關係ノコトニテ自分ハ斯ル組織的排日運動ヲ起スコトハ兩國交渉ニ惡影響ヲ及ボササランコトヲ虞ルル旨述ヘ置ケリ

北平、奉天、天津、青島、漢口、濟南、哈爾濱、吉林、間島へ轉電シ上海、南京へ轉報セリ

683 昭和6年7月23日 在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)

王外交部長に最近の排日運動阻止に必要な措置方要請について

上海 7月23日後発
本省 7月24日前着

貴電第二四六號ニ關シ
廿二日特ニ王外交部長ヲ往訪シ右御趣旨ニ基キ先ツ幣原外相ヨリ最近ノ排日運動ニ關シ電報ニ接セリ本日ノ訪問ハ之カ爲ナリト前提シ日本政府ハ國民政府ノ膝元ニ於テ上海ヲ中心トシテ組織的ニ進行セラレツアル排日運動及日貨ノ「ボイコット」ニ對シ深憂ヲ以テ其成行ヲ注視シツツアリ不幸ナル朝鮮事件ニ對シテハ日本政府ハ最善ヲ盡シ輿論ハ民國側ニ對シ友誼ト同情トヲ以テ本件ヲ最公正ニ論議シ居ル際民國側ノ煽動的言論ニ次クニ右排日運動ノ組織的勃發ハ右日本側ノ輿論ニ惡影響ヲ及ホシ互ニ反響シテ日民雙方多大ノ努力ヲ以テ造リ上ケラレタル兩國良好ノ關係ハ或ハ遂ニ根柢ヨリ破壊セララルルニ至ルヘシ右ハ日民雙方ニ取リ極メテ不利益ナルコトナルヘシ幣原外相ノ訓令ニ基キ本官ハ右排日運動ノ形勢ニ對シ民國政府ニ深甚ノ考量ヲ促シ且右ヲ阻止スルニ必要ナル措置ヲ執ラレンコトヲ要請スト述ヘタルニ

外交部長ハ熱心ニ之ヲ聽取シタル後
排日運動ニ對スル自分ノ態度ハ既ニ御承知ノ通ニテ之ヲ阻止スルニ力メタリ國民政府ニ於テモ同様ニシテ右運動ヲ惡

化セシメサラン爲努力シツツアルニ付幣原外相ニ對シ右ノ次第ヲ充分報告セラレシコトヲ請フト答ヘタリ

北平、南京、奉天、哈爾濱、吉林、長春、間島、天津、濟南、青島、芝罘、漢口、九江、長沙、沙市、宜昌、重慶、廣東、福州、汕頭、廈門、蘇州、杭州、蕪湖へ轉電シ、香港へ暗送セリ
上海へ轉報セリ

684 昭和6年7月23日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

上海反日援僑會主催の朝鮮在留遭難者追悼大會の情況に關し報告

上海 7月23日後発
本省 7月24日前着

第三四四號

當地反日援僑會主催ノ朝鮮在留遭難者追悼大會ハ豫定ノ通二十三日午前九時ヨリ共同租界内市商會々議室ニテ舉行セラレタルカ各界代表ノ會スル者約五百名市商會主席王曉籟

暗送セリ

685 昭和6年7月23日

在中国重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)

宋子文に排日運動阻止を要請の際かえつて廣東政府要人の日本訪問を批難されたるについて

上海 7月23日後発
本省 7月24日後着

第六七七號

貴電第二四六號ニ關シ

宋財政部長ニ對シテモ往電第六七二號外交部長ニ對スルト同様ノ趣旨ニテ申入レ日本政府ニ於テモ本官同様排日運動ニ關シテ深く憂慮シツツアル旨述ヘタルニ宋子文ハ御趣旨ハ固ヨリ了解シ自分モ排日運動ノ前途ニ對シテハ憂慮措ク能ハス即チ如何ニ政府ニ於テ取締ラントスルモ「アンコントローラブル」ト爲ランコトヲ衷心ヨリ恐レ居レリ(往電第六四一號參照)右ノ結果ニ立至ルニ於テハ過去數年來ノ我々ノ努力ハ水泡ニ歸スル譯ニテ遺憾至極ナリト述ヘ續テ

司會ノ下ニ開會セラレ儀式型ノ如ク司會者ノ祭文朗讀各委員就任宣誓等終リテ後各方面代表者ノ慷慨悲憤ノ演說アリタルカ何レモ對日經濟絶交ヲ永續セシムヘキコト國產品ノ獎勵等ヲ力説セルモノナリ就中人目ヲ惹ケルハ蔡公時夫人ノ五三事件懷舊談、六十餘歳ノ在鮮遭難者ノ目撃談(殺戮ノ殘忍ト死者九百人等ト誇張セル言ヲ吐ク)並ニ朝鮮人ヲシテ全然日本ノ使嗾ニ依ルモノナルコトヲ語ラシメタル等ナルカ打倒日本帝國主義、永遠對日經濟絶交等ノ「スローガン」ヲ叫ビ十二時過散會セリ席上一教育界ノ代表者ハ八月中ニハ學生モ歸來シ大規模ノ宣傳ヲ爲サシムルコトヲ得ヘキニ付八月十四日ヲ期シテ大會ヲ再會スヘシト主張シタルモノアリ又或者ハ反日會ノ委員等カ排日ヲ口實ニ私腹ヲ肥スコトヲ難シ前回ノ反日會ノ會計報告清算書ノ公表ヲ迫リタリトノコトナリ尙會場ニテ傳單數種配付セラレタリ市中一部ノ商店ハ半旗ヲ掲ケ門口ニ「ポスター」ヲ貼リテ半日休業セル者アリタルモ午後ハ何レモ平常通開店シタリ支ヘ轉報セリ

北平、南京、奉天、哈爾濱、吉林、間島、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州へ轉電シ蘇州、杭州、蕪湖、九江へ

民國内ニ於テ反日ノ輿論湧キ居ル際陳友仁、劉紀文ノ渡日實現シタル處右ハ現時ノ如キ感情ノ機微ナル時機ニ際シ日本政府ハ廣東政府ニ同情ヲ表スルモノナリトノ感想ヲ與フルノミナラス廣東政府外交部長ナルモノヲ相手トシテ滿洲問題等ニ付交渉ヲ爲サントスルノ疑念ヲ與ヘ排日氣分ハ單ニ無責任ナル輿論ニ止マラス政府黨部ノ内部ニ於テモ極端ナル感情論ヲ以テ陳友仁等ノ渡日ヲ見ントスルモノアリ(之ニ對スル新聞記事ハ南京發閣下宛電報四三七號ノ通)貴下ノ御説明(本官ハ右ハ廣東側カ山田顧問等ヲ通シテ私的の代表ヲ日本ニ送リタキ意嚮ヲ表示シタルニ日本領事ハ私的の訪問ナラハ別ニ異議ヲ挾ム筋ニアラストノ意見ナリシヲ廣東側カ利用シ陳友仁ノ如キ地位ノ人ヲ派遣スルコトナリタルモノノ如シト説明シ置キタリ)ニ基キ爲シタル自分等ノ辯解ニ耳ヲ藉スモノナク最近宋子文ハ重光ニ籠絡セラレ居ルモノナリ等ノ辯ヲ爲スモノスラアリ自分ヨリ見テモ苟モ政府ト稱スルモノノ外交部長及他ノ要位ニアルモノノ旅行カ日本政府側首腦部ノ了解ナクシテ行ハルヘキモノニハアラスト信ス陳友仁ハ今回ノ旅行ニ依リテ賣國奴ト宣傳セラレ政治上ノ致命傷ヲ受クヘク彼自身ノ「ミッシヨン」

ノ成功セサルハ明カナリ

從テ中央政府ニトリテハ痛手ヲ感セサルモ之カ爲民國側ノ感情ハ總テノ方面ニ於テ著シク害セラレ排日運動ニ油ヲ注ク結果トナリ誠ニ残念ナリ若シ此際幣原外相ニ於テ「陳友仁ノ訪問ハ何等日本政府及出先官憲ノ慫慂シ若ハ關係セシモノニ非ス從テ大臣又ハ政府ノ代表者ハ一切彼等ニ會見セサル」旨ノ明確ナル聲明ヲ公表シ態度ヲ明カニセラルレハ右ノ形勢ヲ緩和スルニ力アルヘシ右ハ自分ノ忌憚ナキ所見ナリトテ前兩三度ノ會見ニ引續キ同様ノ意見ヲ洩ラシタリ本官ハ之ニ對シ日民雙方關係ヲ常ニ顧慮セラルル貴下ノ腹藏ナキ意見ハ感謝ノ外ナシ陳友仁渡日ニ對スル從來ノ自分ノ說明ノ納得ヲ得サルハ遺憾ナルモ其間ニ何等陰謀等ノ伏在スル次第ニ非ス斯ノ如キハ幣原男ノ人格ニ鑑ミ到底有リ得サル所ナリ唯如何セン日本側ニ於テハ何人モ私人トシテノ渡來ハ之ヲ阻止シ得サルノミ勿論彼ト外交上ノ交渉ヲ行フカ如キコト絕對ニナシ日本政府及幣原外相力承認セル中央政府ニ對シ滿腹ノ同情ヲ有シ特ニ蔣主席及貴下ニ對シテ敬意ヲ有シ居ルコト終始渝リナク如何ナル場合ニモ常道ヲ逸スルモノニ非サルハ諒察アリタク右ハ蔣主席ニ對シテモ

第三五一號

二十四日當地日本棉花會社カ漢口ノ同社紡績工場製品綿絲二十五俵ヲ當地日清汽船浦東碼頭ヨリ租界内ニ運搬セント解三隻ニ積込ミ運送中反日援僑會検査員ノ爲ニ取押ヘラレ内五俵ハ釋放セラレタルモ残りハ反日會ノ倉庫ニ抑留セラレルニ至レル旨届出アリタルニ付館員ヲ會社員ト共ニ現場ニ派シ現地ニ在ル公安局警察ノ保護ヲ求メタルモ要領ヲ得ス依テ二十五日市長ニ對シ嚴重抗議シ又公安局長ニ貨物返還並ニ今後ノ保護並ニ取締方ニ付申入レタル處公安局科長ノ館員ニ答ヘタル所ニ依レハ公安局長ハ約一週間前既ニ管下各區所長ニ對シ此際特ニ日本人保護ニ力ヲ盡スヘキ旨說示スル所アリタルカ一兩日前接到セル市政府ノ訓令ニ依レハ中央政府ヨリ各地方長官ニ對シ日本人保護方命令シ來リタル次第モアリ反日ニ依ル直接被害事件發生セサル様注意シ居レル際ナレハ反日會検査隊ノ行動ニ付テモ充分注意スヘク抑留貨物返還方ニ關シテハ調査ノ上月曜日ニ回答スヘシトノコトナリ

支、哈爾賓、奉天、吉林、問島、濟南、天津、青島、南京、廣東、漢口へ轉電シ公使ニ轉報セリ

序ノ節釋明ヲ請フ旨ヲ述ヘタルニ宋部長ハ本件ニ關聯スル釋明ハ如何ニモ困難ノ態度ニ見エタリ最後ニ本官ヨリ如何ナル困難アルモ兩國ノ關係ノ増進ハ雙方ニ於テ之ヲ努ムルヲ要スヘク民國ニ於テモ時局困難ノ際兩國ノ關係ハ重要視セラルル處ナル可シ自分ニ於テモ更ニ努力ヲ爲スヘク貴下ニ於テモ最善ヲ盡サレンコトヲ望ム旨

ヲ述ヘタルニ對シテハ宋子文ハ之ニ贊意ヲ表シタリ陳友仁渡日ノ問題ハ我方ニ於テ的確ニ態度ヲ表示セラレサレハ排日運動ニ惡辣ニ利用セラルル模様ナリ

北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東へ轉電シ、上海、南京へ暗送セリ

686 昭和6年7月25日 在上海村井總領事より 幣原外務大臣宛(電報)

日本棉花會社製の綿糸が反日援僑會検査員に 抑留された事件に対し市長等に同品返還方嚴 重抗議について

上海 7月25日後発 本省 7月25日後着

687 昭和6年7月25日 在上海橫竹商務參事官より 幣原外務大臣宛(電報)

上海における排貨運動は表面進捗せざるもその組織進行と共に奥地もこれに倣い漸次深刻 化の傾向について

上海 7月25日後発 本省 7月26日前着

商第四六號

(一)當地排貨ハ去ル二十三日ヨリ實行期ニ入り邦品ニ對スル投機監視並ニ検査開始セラレ昨二十四日ノ如キ南北停車場、城内、浦東等ニテ中國人所有本邦貨物ノ押收弗々始マリ形勢惡化セリ現物ノ取引並ニ受渡シハ尙相當活潑ニテ郵船倉庫ノ如キ平素一日平均荷渡シ一千噸ニ對シ去ル十三日以来現在迄ノ平均四千八、九百噸ニ激増シ在荷出拂ヒツツアリ例ヘハ砂糖ハ問題以來既ニ一五万俵ヲ受渡シ現在在荷約三万後八、九月モノニ五万俵アリ綿布ハ受渡高約二万捆在荷一三、〇〇〇八、九月積約三五、〇〇〇捆アリ其他雜貨類ニ於テモ相當約定品アリ

昨二十四日排日實行委員會ニ於テ華商綿布工會ハ是等約定

品ノ融通辦法及在荷邦人紡績製品ノ除外方ヲ提議シ又華商莫大小、靴下、ゴム靴等工業團體並ニ石炭業者ニ於テモ夫々必需品ノ緩和取扱方ヲ提議シ且違叛者ノ制裁沒收品ノ處分等ト共ニ研究スルコトトナリシカ其成行如何ニ依リテハ排貨國內部ニテ大ナル破瀾動搖アルヘク豫想サル

(二)併シ乍ラ投機乃至検査ノ進行及運送通關業者ノ加擔モ漸ク實行可能ノ傾向アルニ怖エ新規先物商談ハ全ク停止ノ姿ニ陥リ居リ近ク在荷品受渡ノ一巡ト共ニ市場ハ急ニ寂漠ヲ加フヘシ

(三)今回ノ排貨ニ對シ華商側ハ所謂自發永續的排貨ヲ標語トセルカ排貨關係者ノ洩ラス處ニ依レハ其眞意ハ黨部學生勞働者等商人以外ノ排日家ヲ敬遠シ事態ノ推移ヲ見適當ニ工業原料燃料及必需品ニ付何等力融通ノ途ヲ講シ損害ヲ輕減シ奢侈品乃至競争關係品ニ對シ永久的絶對不買ヲ實行セントスルニアルモノノ如ク又對本邦輸出品ニ付テハ未タ何等取極ナク極メテ打算的態度ヲ示シ居リ從テ前記排貨ニ際シ兎角ノ弊害ヲ殘セシ救國基金徵收ノ如キ目下ノ處問題トナリ居ラス且検査員モ各同業團體ヨリ夫々選任スルコトトナリ居レハ表面進行抄ラサルモ其組織進行ト共ニ奧地又之ニ

ハ將來必要ナル外交交渉ノ都度同様ノ事態ヲ繰返シ我方ニ於テハ常ニ其壓迫ヲ感セサルヲ得サル不利益ノ地位ニ置カレシ此際黨部商業團體及民衆ノ組織的排日貨運動ヲ默過

有效ナル取締ヲ爲ササルハ條約ノ精神ニ違反スルモノニシテ且國際修交ノ精神ニ反スルモノナルコトヲ民國政府ニ通告シ其不取締ノ結果ハ民國政府ノ責任ニ歸スルヲ言明シ(併セテ我方ノ此種「ボイコット」ニ對スル立場ヲ世界ニ向テ宣明シ必要アラハ主要國又ハ國際聯盟ニ通告ス)將來損害ヲ賠償セシムル等ノコトアルヘキ伏線トシ置クコト此際得策ト思考セラル

三、今回ノ排日運動ニ付テハ本官ヨリ民國政府ニ對スル警告ニ加フルニ往電第六七二號政府ノ御訓令ニ依ル申込ハアルモ我立場ヲ確保スル爲前記ノ理由ニ基キ右記ノ趣旨ノ公文ヲ民國政府ニ發送シ置クコト然ルヘシ右ハ重要ナル方針ノ決定ナルカ此際之ヲ確立セラレ置クコト將來滿洲問題ノ抬頭ノ場合ヲモ考量シ適當ト思考セラル
右御詮議ノ結果御回答ヲ請フ

做ヒジリジリ深刻化スルモノト觀測セラル。

688 昭和6年7月27日 在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)

排日運動の現況と今後の見通しについて

上海 7月27日後発 本省 7月27日後着

第六九六號(極秘)

一、排日運動ノ狀況ハ各方面ヨリ報告ノ通ニシテ其ノ將來ノ發展ハ豫測スルニ固ヨリ困難ナルモ唯前回ノ如キ熱ナキハ事實ナリ此上何等突發事件ナキニ於テハ非常ニ擴大ハセサルヘキモ排貨ニ依リテ利益ヲ受クル方面及其他ノ執拗ナル煽動續行セラレ或ル程度ノ排日貨實現セラルヘシト認メラル

二、政府筋ハ往電第六四一號及第六六七號ノ通之ヲ以テ對日交渉ニ利用セントスル氣配ハアルモ他方成ルヘク大事ニ至ラシメサル様努力シ居ルモ事實ト認メラル然レ共朝鮮事件ニ對シ何等關係ナキ排日貨運動ヲ起シ尙機會アル毎ニ之ヲ以テ政治的ノ對抗策ト爲シ居ル現狀ニ於テ之ヲ默過スル

689 昭和6年7月28日 在漢口坂根總領事より 幣原外務大臣宛(電報)

漢口における今回の排日排貨運動の動向について

漢口 7月28日後発 本省 7月30日後着

第四九八號

往電第四九三號ニ關シ

一昨二十六日迄各漢字紙ハ萬寶山事件關係並各地ニ於ケル排日排貨ノ記事ヲ相當多量ニ掲載シ居タルカ昨二十七日以來武漢日報等ノ主要新聞ニ對日經濟絶交ヲ唱道セル論說ヲ見タル外關係記事總シテ激減セリ右ハ北方時局ノ關係ト當地水災ノ影響ニモ依ル所多カルヘキモ元來當地今回ノ排日排貨運動ハ市黨部ヲ中心トスル國貨運動委員會等少數ノ職業的排外分子ニ於テ躍起トナリテ騒キ立テ居ル形ニシテ新聞ノ煽動ニ拘ラス一般ハ比較的冷靜ニテ四三事件及山東出兵後ニ於ケル排日「ボイコット」ノ場合ニ比シ地方人士ノ感情ヲ刺戟スルコト左ノミ「アキユート」ナラサル點ニ於テ空氣モ大イニ異リ居リ前回ノ排貨ニ依リ相當痛手ヲ受ケタル中国側商人ノ間ニハ公然異議ヲ唱ヘサル迄モ可ナリ根

強キ反對ノ意見ヲ有スル向モ鮮カラサルヲ以テ直ニ經濟絶交ノ具体化ヲ來スコトナカルヘキ模様ナリ今後トモ大体ニ於テ上海ニ於ケル排貨運動ノ景況次第ニ依リ左右セラルルモノト見ルヲ得ヘク別ニ當地ニ於テハ累次電報ノ通之迄數次ノ排日の催アリテ經濟絶交實行方ヲ決議セルモ今以テ之カ具体的實行方法ノ決定ヲ見ルニ至ラス來ル二十九日夜ノ對日經濟絶交談話會ニ於テ最後ノ態度決定セラルヘキヤニ傳ヘラレ居ル位ニテ勿論將來ノ推移ハ豫メ樂觀ヲ許ササルモ萬一上海方面ニ引摺ラレテ當地ニ排貨ノ實行ヲ見ル場合ニ於テモ現ニ警備司令部ノ共產黨員取締嚴重ナル關係モアリ特ニ地方的不祥事件ノ突發ヲ見サル限リ進ンテ邦人ニ危害ヲ加ヘ乃至租界ヲ襲撃スル等ノ舉ニ出ツルカ如キコトハ萬々無カルヘキ見込ナリ尤モ前記事情ニ照シ愈其場合ニ於ケル排貨ノ實行振ハ恐ラク從前ノ例ニ比シテ大イニ深刻ナラサル代リニ朝鮮事件ノ解決又ハ重大ナル時局ノ變轉ヲ見ル迄寧ロダラダラニ續ケラルコトナルヘク從テ程度ノ強弱ハ暫ク別トシ當地ノ排日排貨運動ハ今後相當永キニ巨ルモノニアラスヤト觀察セラル御參考迄

支ヨリ上海及商務參事官ヘ奉天ヨリ哈爾賓、吉林、長春ヘ

宣言ヲ掲ケ七月十七日反日援僑委員會ハ(イ)既約日貨ノ解約(ロ)代價未拂ノ在庫品日貨ノ引受拒絕(ハ)未到着日貨ノ輸入阻止(ニ)排日取極違反者ニ對スル嚴重ナル制裁等ノ排日貨實行方法ヲ決議セリ右決議ニ基キ反日委員會ハ其検査員ヲシテ關北[○]南市及浦東ニ於テ各商店ニ付日貨ノ検査ヲ爲シツツアリタルカ七月廿一日以後ニ至リテ不當ニモ日本人所有ノ荷物ヲ検査員ニ於テ恣ニ抑留シ倉庫ニ強制的ニ保管スルノ暴舉ヲ爲スニ至リ其件十數件ニ上リタリ右抑留荷物ハ總領事ヨリ抗議ノ結果返還ヲ受ケタルモノアレトモ返還ニ際シ高額の倉敷料ノ納付ヲ餘儀ナクセシメラレタリ

(2) 日貨抵制ハ名ヲ朝鮮事件ニ對スル報復ニ藉リ何等右事件ニ對シ責任ナキ在民國日本人ヲ仇敵視シ日貨ノ自由ナル流通ヲ阻止スルコトニ依リテ日本人ニ損害ヲ加ヘントスルモノナリ其實行方法ハ甚タ惡辣ニシテ又不法性ヲ帶ヒ居レリ即チ日本人トノ既成契約ヲ廢棄スルカ如キハ明カニ民事上ノ不法行為タリ又日本人所有ノ貨物ヲ恣ニ抑留シ之ヲ倉庫ニ保管シテ返還ヲ肯セサルハ刑事上ノ犯罪ニ外ナラス又排日團體カ日貨抵制ノ取極ニ違反スルモノニ對シ嚴重ナル處罰ヲ加ヘントスルハ一ノ私刑ヲ定ムルモノニシテ法治國

轉報アリタシ
冒頭往電ノ通轉電暗送セリ

690 昭和6年8月4日 在中国重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)

排日および日貨抵制問題に関する我が方の立場を
闡明にしおため国民政府に申し入れに關し訓誡

上海 8月4日後発
本省 8月5日前着

第七一六號(極秘)
往電第六九六號ニ關シ

排日及日貨抵制問題ニ關スル我方ノ立場ヲ闡明シ國民政府ヲシテ充分ニ反省ノ實ヲ舉ケシムル爲公文ヲ以テ申入レ置クコト今カ其時機カト認メラルル處本件御詮議ノ結果ニ關シ何分ノ儀御回示ヲ請フ右公文ノ要領左記概略ニ依リタキ考ナリ

一、今日ノ排日貨運動ハ國民政府ノ所在地ニ近キ上海ニ始マリ首都南京及其他ノ各都市ニ及ヒタリ上海ノ排貨運動ハ最モ露骨ニシテ七月十五日ノ新聞ハ一齊ニ對日經濟絶交ノ

家ニ於テ許スヘカラサル處ナリスノ如キ手段ニ依リテ日本人及日本商品ノ受クル打撃ノ莫大ナルヘキハ想像ニ難カラサル次第ナリ組織的排日貨運動ハ民國ニ於ケル日本人ノ自由ナル通商貿易ヲ阻害スル點ニ於テ通商條約ノ精神ニ反スルモノニシテ且友好關係ニ在ル國家ノ間ニ行ハルル常軌ノ行動ニ非ス右ノ如キ常軌ニ反スル行動ハ國民政府官憲ニ於テ嚴重ニ取締ルノ義務ヲ有ス然ルニ國民政府ハ排日ヲ目的トスル私的暴力團體ニ對シテ司法權ヲ發動セシメタル形跡モナク又國民政府直接ノ統制下ニアル首都及上海ニ於テ日貨抵制ノ公然行ハルルヲ默過シ居レリ加之排日團體ニハ國民政府ト密接不離ノ關係ニ在ル有力ナル實業家之ニ關與シ又商會カ其中心トナリ居ル外國國民政府ト密接不離ノ關係ニ在ル各地黨部ニ於テ日貨抵制ヲ支持シ居ルカ如ク而モ尙國民政府ニ於テ之ヲ取締ルコトヲ爲ササルハ國民政府力人民ト一体トナリテ組織的ニ日貨抵制ヲ行フニ等シク斯ノ如キハ前述ノ通り友好ナル兩國ノ關係ヲ破壞スルノ措置タルヲ免レス帝國政府ハ國民政府カ本件ニ付切實ニ取締ノ責任ヲ盡サレンコトヲ要求スルト共ニ國民政府ニ於テ取締ノ實ヲ舉ケサル結果ハ同政府ニ於テ其責ニ任スヘキモノナルコ

トヲ茲ニ聲明ス

691 昭和6年8月4日

在中國重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛

排日運動に対し蔣介石の態度に関する情報報告

機密公第三二八號

(8月12日接受)

昭和六年八月四日

在中華民國

臨時代理公使 重光 葵〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

排日ニ關スル蔣介石ノ態度ニ關スル件

本件ニ關シ七月三十日山本榮治力館員ニ語りタル要領別紙
ノ通何等御參考迄茲ニ報告ス

尙山本ノ立場モアリ又内容中機微ノ點アルニ付外部ニ對シ
テハ洩レサル様特ニ御留意相煩度

本信寫送付先 北平 奉天 上海 南京

(別紙)

賀耀祖ハ蔣介石ノ命ニ依リ七月二十五日南昌ヲ飛行機ニテ

對抗ノ氣分ヲ強ウセルハ爭ハレサル所ナルヘシ

(一)最近大阪ニ於ケル四王天中將、菊地中將ノ演說、東京ニ

於ケル阪西中將ノ演說、對外同志會ノ公表宣言、若槻首
相ノ府縣會議員選舉ニ際セル演說(中國ニ於ケル既得權

ノ保持強調)等ノ文句ハ其儘蔣ノ手許ニ集マリ之ヲ印刷
ニ附シテ中國側主要方面ニ頒布シツツアリ

而シテ之等ノ言論ハ凡テ萬寶山乃至朝鮮事件ニ對シ頗ル
有力ナル使嗾トナレリト爲シ居レリ

(二)右ノ外上海ノ在留邦人就中陸軍武官室ヨリ出ツル言辭ハ
悉ク南京側ノ「スパイ」ニ依リ蔣等ニ筒拔トナリツツア
リ(右言辭ノ中ニハ滿蒙併呑ノ強調、日米戰爭ヲ成ルヘ
ク早日ニスヘシトノ主張等アリ)

(三)前記ノ次第ナルニ付蔣トシテハ幣原外相、重光代理公使
ノ政策力甚タ理解シ得ルモノナル一面其他ノ言論ノ勢ノ
強烈ナル結果右幣原政策ヲ實現甚タ困難ナルヘシト憂ヲ
深ウシツツアリ結局今次排日ニ付冒頭ノ如キ決意ヲ爲ス
ニ至レルモノト考ヘラル

就テハ日本ニ於ケル古手軍人連ノ無責任ナル言論及上海
其他民國各地ニ於ケル前記暴論ヲ嚴重取締ルコトハ日民

出發同日南京ニ着、翌二十六日及二十七日午前中同地ニ在
リテ政府黨部要人ニ會シ朝鮮事件ニ關聯スル排日方針ニ關
スル蔣介石ノ内意ヲ傳ヘタル上二十七日午后ノ汽車ニテ上
海ニ來リ張羣其他有力實業家方面ニ對シ同様ノ内意ヲ傳ヘ
タリ

右蔣ノ内意ノ内容ニ付山本力賀ニ付探り得タル所ハ要スル
ニ「此際排日運動ヲ起スコトハ日本ニ口實ヲ與フルコトト
ナリ適切ナラス依テ此際ハ之ヲ嚴重取締ルコトトシ同時ニ
日本側ノ不合理ナル態度ヲ廣ク世界ニ闡明シ其ノ同情ニ訴
フルノ方法ニ出ツルコトトス、而シテ右ノ方法ニ依ルモ結
局世界ノ同情ヲ贏チ得ス反テ日本側ノ不合理力認セラ
ル様ノ事態トナルニ及ンテ徹底的ニ排日手段ニ出ツルコト
トス」トイフニアルカ如シ(山本ハ右ハ賀トノ對談ノ歸結
トシテ確實ナルモノナリト附言ス、但シ右蔣ノ決意力對内
關係ヲ顧慮セル表面上ノ決意ニ過キササルモノナリヤ將又眞
ニ此手段ニ出テントスルモノナリヤニ付テハ適確ナル判斷
ヲ下シ難キ由)

右蔣介石ノ態度ヲ決定セシムルニ至レル動因ハ概ネ左ノ如
キモノニテ要スルニ從來ヨリハ一步進ンテ深刻ニ日本側ニ

關係維持上甚タ必要ナルヤニ感セララル云々

692 昭和6年8月5日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛

塩沢第一遣外艦隊司令官が上海反日會検査隊
阻止のため所屬各部隊に命令発出について

機密第九四九號

(8月12日接受)

昭和六年八月五日

在上海

總領事 村井 倉松〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

海軍側ノ排貨防止對策ニ關スル件

當地ニ於ケル反日會検査隊ノ不法行爲阻止方ニ關シ當地在
泊第一遣外艦隊鹽澤司令官ニ於テハ八月三日附ヲ以テ別紙
寫ノ如キ命令ヲ所屬各部隊ニ發セル旨八月五日通報ニ接シ
タリ當館トシテハ右命令發出前協議ニ與ラサリシカ本官ハ
同日直チニ北岡公使館附武官ヲ通シ艦隊司令官ニ對シ「當
地方ノ排貨風潮現在以上惡化ノ傾向アルニ於テハ將來我方
トシテ實力行使ニヨリ直接防衛ノ態度ニ出テサル可ラサル

場合發生スルニ至ルヤモ知レサレ共目下ノ所中國官憲力取
縮ヲ言明シ居ル際ナルニモ顧ミ未タ其時期ニ非スト認ム尙
別紙第四項後段ノ如ク被害關係者ヨリ直接依頼アリ艦隊側
ニ於テ必要ト認メ當館ト了解ナクシテ直接行動ヲ採ル場合
ハ勿論海軍側ニテ一切ノ責任ヲ執ラル、次第ナルカ當館ト
シテハ武裝セル警備隊ヲ乘組マシメタル汽艇ニテ港内タル
黃浦江上ヲ「パトロール」スル程度ナリトモ尙其時期ニ達
シ居ラスト考ヘ居ル次第ナル」旨ヲ申入レ置キタルニ付右
様御承知置相成度此段別紙相添申進ス

本信寫送付先 代理公使 南京 北平 天津 漢口

(別紙)

機密第一遣外艦隊命令第一八號

昭和六年八月三日

第一遣外艦隊司令官 鹽澤 幸一

第一遣外艦隊命令

當分ノ間上海ニ於テ邦貨沒收行ハレントスル場合ニハ左記
ニ據リ直ニ兵力ヲ派遣シテ其ノ不法行爲ヲ取締ルベシ

一 受持分擔

渡スモノトス

六 報告

上海陸戰隊指揮官及上海警泊先任艦長(交代ノ場
合ハ其ノ都度)ハ速ニ實施計畫ヲ提出スベシ
事件ノ發生及事後ノ處置等ハ速ニ報告スルモノト
ス

693 昭和6年8月8日

在奉天林總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

遼寧省側の排日運動取締りについて

奉天 8月8日後発
本省 8月8日後着

第四九八號

今回遼寧省商工會ニ於テハ上海北平天津各地商工會ト聯絡
シ對日經濟絶交ヲ實行スヘク既ニ章程ヲ定メタリト聞込
リタルヲ以テ八日館員ヲシテ王交渉員ヲ訪問事前取締方ヲ
要求セシメタルニ王ハ上海北平天津方面商工會ヨリノ排日
勸誘ニ對シ當地商工會トシテ体良ク應酬スル位ノコトハア
リ得ヘキモ遼寧省ノ關スル限リ日貨排斥等ノ實行ハ地方官

上海側 上海陸戰隊
浦東側(水上ヲ含ム) 上海警泊艦

上海警泊艦二隻以上ナルトキハ先任艦長分擔區域
ヲ區分スルモノトス

二 待機(派遣)兵力

將校(已ムヲ得ザル場合ニハ特務士官准士官)ヲ
指揮官トシ五名以上ノ下士官ヲ以テ編成スル臨時
警戒隊

三 隊裝

通常隊裝

但外套、雨衣、水筒ハ携行セザルヲ例トシ少數ノ
小銃空包ヲモ携行スルコトヲ得又上海陸戰隊ニア
リテハ第三種軍裝着用差支ヘナシ

四 發動ノ時機

領事館ヨリ依頼アリタル場合又ハ被害關係者ヨリ
直接依頼アリ必要ト認メタル場合

五 不法行爲者ヲ捕ヘタル場合ノ處置

邦貨沒收ヲ阻止スルヲ目的トスルモ必要ニ依リ不
法行爲者ヲ捕ヘタル時ハ之ヲ總領事館警察署ニ引

憲ニ於テハ斷シテ之ヲ許サス右ハ責任ヲ以テ聲明スト答ヘ
タリ尙其際王ハ餘談トシテ支那側民衆ノ無責任ノ言論モサ
ルコト乍ラ日本側ニ於テモ昨今自主同盟、國粹會等ノ團體
ニ於テ滿蒙ニ關シ種々無責任ノ言論ヲ爲シ甚シキハ最近代
表者數名日本ニ歸リ京阪其他主要都市ニ於テ滿蒙占領等ノ
暴論ヲ唱フル事實アリテ何トナク空氣ノ緊張ヲ思ハシムル
處御互當局者トシテハ此際特ニ冷靜ナル態度ヲ以テ公正ニ
事件ヲ處理シ愚劣ナル輿論ヲ鎮靜セシムルコト必要ナリト
考ヘラル、旨申出タルヲ以テ館員ヨリ右ハ總領事ニ於テモ
素ヨリ至極同感ニ付今後此方針ニテ一切ヲ處理シ度シト應
酬セル趣ナリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

支、北平、天津、青島、濟南、漢口、廣東、南京、哈爾濱、
吉林、在滿各領事へ轉電セリ

694 昭和6年8月10日

在中國重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

張群上海市長の排日問題に対する意向に關し報告

第七三八號

上海 8月10日前発
本省 8月10日前着

豫¹⁾テ會談ヲ約シ居タル張群市長ニハ八日其機會ヲ得主トシテ排日問題ニ付テ申入レ置キタルカ其大要左ノ通右ハ本件ニ關スル民國側主腦部ノ意嚮ヲ知ルノ材料ト認メラル

一、張氏ハ排日貨運動ニ付テハ自分等ハ内外ノ情勢ヲモ顧慮シ出來得ル丈之ヲ取締ル方針ナリ之カ爲商會方面ヨリハ右ハ前例ニ反ス等ト攻撃ヲ受ケ居レリ排日會ナリモノカ各人ノ自由意思ニ依リ成立シ規約ヲ設ケ貨物ノ沒收ヲ爲スハ元々自由意思ニ依リテ行ハルルモノニシテ例ヘハ禁煙會又ハ禁酒會ナルモノカ成立シ相當ノ制裁ヲ規約スルト何等異ル所ナシ

特ニ支那ニ於テハ從來トモ各地ノ習慣ハ自然ニ法律化シ團體ノ制裁力ハ強シ然レトモ暴力ヲ用ヒテ何人ノ所有ナルヲ顧ミス沒收行爲ヲ爲スハ許スヘカラサル所ニシテ右ノ如キハ直ニ取締ル方針ニテ公安局長ニ於テモ右ニ依リ措置シ居レリ

本使ハ之ニ對シ左ノ通述ヘタリ

ナリト解シ之ヲ默認セントスル態度ナリ右ニ對シテ排日團體ノ存在及其規約ヲ認ムルコト夫レ自身カ不法ノ行爲ニシテ國家ノ權力ノ否定ヲ意味シ且通商ノ自由ノ條約上ノ精神ニ背馳スルモノナルコトヲ指摘シ民國カ現ニ重大交渉案件ヲ有スル對外關係ニ付右ハ重大ナル惡影響ヲ及ホスモノナル趣旨ヲ以テ反省セシムルニ務メ居ル次第ナリ

三、本使ハ次テ張市長ニ對シ今回ノ排日ノ日本輿論ニ對スル反響カ前回ノ場合ト甚シク異ナル點ヲ指摘シ更ニ朝鮮事件ニ付テハ日本政府ノ措置ハ勿論一般輿論モ極メテ公平且民國ニ對シ友誼的ナリシ次第ナルカ右事件ト何等關係無キ日本ノ通商ニ對スル報復手段タル日貨排斥ノ行爲ニ對シテハ恐ラク日本ノ輿論ノ憤慨ハ一層激シキモノアラン政府ノ對支外交ノ軟弱ナリトノ攻撃ニ油ヲ注クコトトナルヘシ然ルニ他方民國内ニ於テモ前回ノ場合ト異ナリ排日貨ニ對スル熱ハ左程強カラス從テ右ニ對シ嚴重ナル取締ヲ爲シ易キ狀態ト認メラル兎ニ角不徹底ナル取締ノ日本ニ對スル惡シキ影響ハ自分ノ最モ俱ルル處ニシテ此ノ點ハ民國ノ要部及蔣主席ニ

種々ノ困難ハ有ランモ排日貨ノ取締ニ付テハ今少シク徹底シテ差支無カルヘキコトヲ切望セサルヲ得ス個人カ自由ニ利害關係ニ依リテ團結シ規約ヲ定メ適當ナル制裁ヲ設クルハ公序良俗ニ反セス國家ノ權力ニ觸レサル程度ニ於テ許サルヘキノミ若シ無制限ニ右ノ團體權力カ認メラルルニ於テハ無政府狀態ト異ラス暴力ニ依リ沒收ト然ラサル沒收トヲ區別セラルルカ如キモ自由意思ニ依リ沒收アリトセハソハ贈與ニシテ沒收ハ皆暴力行爲ナリ中央政府ノ事實上默認スル排日團體ニ於テ日貨沒收等ノ制裁行爲ヲ爲スハ單ニ兩國ノ友好關係ニ反スルノミナラス通商自由ノ精神ニ反スルノミナラス斯ル中央政府ノ默認ノ事實ハ一般的ニ重大ナル對外的影響ヲ伴フヘシ右ハ中央政府タル權力ノ否定ヲ意味スルモノナルニ付貴説ノ如ク排日團體存在ノ默認ヲ承認スルカ如キハ非常ナル責任ヲ執ララル結果トナルヘシ民國當局ハ前記張市長ノ説明ニ依リテモ察スルカ如ク品物ノ日本人所有ニ係ルモノノ沒收ハ之ヲ暴力ニ依リ沒收ナリトシテ取締ルモ民國人ノ所有ニ移リタル日本品ノ沒收ハ排日團體ノ規約ニ基ク自由意思ニ依ルモノ

二、⁽²⁾

モ充分承知セラルル様御取計アリタシトノ趣旨ヲ述ヘタリ

右ニ對シ張市長ハ充分諒承シタル上朝鮮事件ノ解決ヲ促進スルコトカ排日緩和ノ手段トシテ最モ必要ニシテ事件ノ賠償問題ハ如何ナリ居ルヤ等ノ質問アリ之ニ對シテハ本使ニ於テモ適宜應答シ置キタルカ張市長ハ更ニ今回ノ排日ハ熱ハ少シト言ハルルモ朝鮮事件其物ヨリ見レハ其通りノ理論トナルモ更ニ大ナル背景アルヲ考ヘサルヘカラス右ハ主トシテ日本軍部ヲ中心トスル民國内政ノ攪亂ヲ目的トスル組織的行動ナリトテ石友三ノ叛亂ハ之ニ關係アリトカ土肥原大佐鈴木豫備中將等ノ活動天津軍側ト反動派トノ往復陸軍豫後備將校ノ活動薛篤弼ノ日本行陳友仁ノ使命等ヲ述ヘ右等ハ日本政府ノ意嚮ニ反スルモノナルコトハ充分承知シ居ルモ何分世間一般ハ日本ノ行動ナリト解シ之ヲ憎ムコト甚シ之等ハ今日ノ排日ノ背景トシテ重大ノ關係アルコトヲ縷述セリ

本使ハ之ニ對シ右ハ餘リニ擴大シタル觀測ナル旨ヲ説キ尙日本ニ於ケル軍部又ハ政府反對分子等ノ現狀ヲ述

へ若シ排貨運動ヲ以テ之ニ當ルトスレハ寧ロ日本政府ノ方針ヲ軟弱ナリトスル反對分子ノ思フ壺ニ嵌マルコトトナル譯ナリ何レニスルモ今回排日貨運動ノ反響ノ重大ナルコトヲ充分ニ知ル必要アルコトヲ事情ヲ盡シテ説キ置キタリ
南京、北平、奉天、青島、天津、濟南、漢口、廣東へ
轉電シ上海へ轉報セリ

695 昭和6年8月10日 在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛

塩沢第一遣外艦隊司令官と排日貨防止対策に
関し意見交換について

機密第九六六號 (8月19日接受)

昭和六年八月十日

在上海

總領事 村井 倉松〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

海軍側ノ排貨防止對策ニ關スル件

本件ニ關シテハ八月五日附機密第九四九號ヲ以テ及報告置

ルカ如キ方法ヲ採ラハ實行不可能ニアラサルヘキモ斯クノ如キハ眞正ナル證明書ノ性質ヲ帶フルモノニアラス又濫用ノ弊ヲ生スヘキモ之ニ對シ當館トシテ責任ヲ負フ能ハス又此方法ヲ採用スルトシテモ右證明書ノ有無ニ依リ貴方取締ノ責任ニ差異ヲ生スル次第ニアラサルコトヲ留保シ置カサルヘカラスト説示シタル處先方ハ夫レニテモ猶可ナリトテ證明方法採用方ヲ希望セリ此方法ヲ採ラハ邦商所有貨物ノ抑留事件ハ差詰メ防止シ得ヘキヤニモ察セラルヘモ邦商所有品ニ限リテ不法行為ヲ喰止メ得ルトスルモ華商ノ手ニ移レル後自由ニ抑留セラルヘ様ニテハ何ニモナラス寧ロ目前ノ不利益ヲ忍ブモ此ノ際ハ日華抑留ニ付一般ニ抗議シ其ノ絶滅ヲ期スル方得策ナリトノ當業者ノ意見モアリ旁々未タ此ノ方法ヲ採用シ居ラサル次第ナリ斯ク單ニ日商所有ノ貨物保護ノミナラハ尙執リ得ル手段モ残り居ル次第ナルノミナラス純然タル華商間ノ日貨排斥行為ハ我軍隊ノ力ヲ以テ制止スル譯ニモ參ラサルヘシト思考シタルニ付貴司令官ヨリ八月三日附ヲ以テ所屬各部隊ニ發セラレタル命令ニ關シ當時北岡公使館武官ヲ通シ本官ノ意見トシテハ未タ實力阻止ノ時機ニ達セスト認ムル旨申入レ置キタル次第ナリト述

キタル處八月八日日本官ハ鹽澤司令官ヲ旗艦安宅ニ往訪シ當地ニ於ケル排日貨運動ノ模様ヲ説明シ反日會検査隊ノ日貨不法抑留ニ付上海市長張羣ハ豫テヨリ之等不法行為ヲ十分取締ルヘキ旨言明シ居リ公安局モ相當誠意ヲ示シ從來抑留サレタルモノモ大部分數日ニテ取戻シタル状態ナルカ何分ニモ市當局ノ反日會ニ對スル態度手緩キ爲未タ不當抑留ノ跡ヲ絶タサル次第ナリ依テ本官ハ曩ニ張市長ニ對シ犯行者ヲ法ニ依リ處罰シ以テ取締ノ徹底ヲ期セラレタキ旨要求シ置キタリ尙數日前發生セル東洋綿花及伊藤洋行ノ綿糸、綿布抑留事件ニ關シ當方ハ抑留貨物ノ倉敷料及運賃等ノ仕拂ヲ拒絕シ居ルハ勿論公安局ニ於テ該貨物ヲ取戻シノ上當館迄届クヘキ旨主張シ強硬ナル態度ヲ執リ居ル關係上之カ取戻シ抄々シカラサル次第ナリ又先日公安局側ヨリ日貨運輸ノ各個ノ場合ニ其ノ日本商ノ所有ニ屬スルコトヲ認メタル證明書ヲ領事館ヨリ發給セラレ度サスレハ之ニ依リ嚴重取締ルヘシト申出テタルカ當方ニテハ個々ノ貨物移動ノ場合毎ニ證明書ヲ下付スルカ如キハ當ニ煩瑣ニ堪ヘサルノミナラス實際中間ニ合ハサル場合モ少カラサルヘク假ニ「ブック」ノ證明書用紙ヲ豫メ當業者ニ交付シ適宜記入セシム

ヘタル處司令官ハ自分トシテモ今直チニ實力ヲ用ヒントスル意思アルニアラス右命令ハ艦隊ノ立場モアリ豫メ準備方發令セルモノニシテ但書ニモアル通り領事館ヨリ申出アリタル場合ニ發動スルヲ原則トシ只軍艦碇泊地附近ニ於テ日貨抑留行為アリ之ヲ目撃シナカラ彼等ノ暴行ニ委スルカ如キハ我カ權威ニ關スルニ付斯ル際必要ト認メタルトキ始メテ不法行為阻止ノ舉ニ出スルヲ意味スルモノナル旨述ヘタリ
右報告ス

本信寫送付先 在華公使 北平 天津 漢口 南京

696 昭和6年8月11日 在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

反日會検査員による上海日本商の台湾向け麻袋抑留に対し陸戦隊出動について

上海 8月11日後発
本省 8月12日後着

第三九七號
當地邦商永和洋行ノ麻袋十五俵價格二千五百兩臺灣向け積

排日運動阻止方に關し現地にても海軍側との
連絡を緊密にすべき旨訓令

本省 8月13日後6時45分發

第二九五號(暗、至急)

上海發本大臣宛公信機密第九四九號及第九五〇號ニ関シ
今後ニ於ケル排日運動ノ發展ハ固ヨリ豫測ヲ許ササルモ或
ハ相當面倒ナル事態ニ進ミ行クヤモ測ラレサル次第ナル處
支那官憲ノ日貨抑留等ニ對スル取締徹底セサルニモ顧ミ場
合ニ依リ我海軍力等ヲ以テ實力ニ依ル自衛措置ニ出ツルコ
トハ我方カ日貨排斥運動ニ對シ強硬ナル態度ヲ持スルコト
ヲ示シ以テ支那側ノ取締勵行方ヲ刺戟スル上ニモ一方法ト
思考スルモ右實力措置ハ緩急機宜ニ適シ不必要ニ事端ヲ醸
スカ如キコトアルヘカラサルハ勿論ノ義ニシテ殊ニ海軍力
使用ノ際ニハ外務、海軍間ニ豫メ充分ニ打合セヨナシ苟モ
支那側ヲシテ乘スルノ余地ナカラシムルヲ要ス、然ルニ冒
頭上海來信ニ依レハ海軍側ニ於テハ豫メ貴公使又ハ村井總
領事トノ打合ナクシテ本件命令ヲ發シタル趣ニ有之殊ニ八
月三日附命令等ハ被害關係者ヨリ直接ノ依頼アリタル際
ニハ外務側ト協議スルコトナクシテ實力行動ヲ執ルコトア

出ノ爲蘇州川ヲ舢舨ニテ輸送中八月十一日午前八時頃反日
會検査員ニ抑留セラレタルニ付館員ヲ現場ニ派シ釋放方交
涉セシメタル結果更ニ反日會本部ニ赴キ交渉シ釋放セラル
ルコトトナリタル矢先正午頃現場ニ在リタル邦人ヨリ直接
陸戰隊ニ電話シタル由ニテ豫テ司令官ヨリノ訓令ニ依リ應
急ノ準備ヲ整ヘ居ル陸戰隊ニテハ直ニ武裝セル士官三名兵
士二十名ヲ「トラツク」ニ臺ニテ「エキステンションロー
ド」ナル現場附近ニ送り中三四名ハ武裝ヲ解キ小船ニテ抑
留セラレ居ル舢舨ニ赴キタルニ舢舨舟ニ在リタル反日會検査
員ハ驚キテ抑留ヲ解除シ貨物ハ無事本船ニ送届ケラレタル
趣報告アリ海軍側ノ排貨防止對策ニ關シテハ五日附機密公
信報告ノ通ニシテ右ニ對スル本官ト司令官トノ會見ハ十日
附機密公信報告濟ミナルカ本件ハ海軍側カ反日會事件ニ關
與セル最初ノ事例ナルニ付特ニ電報ス
支ヘ轉報セリ

奉天、天津、青島、漢口、南京、廣東、北平へ轉電セリ

697 昭和6年8月13日

幣原外務大臣より
在中国重光公使宛(電報)

ルヘキヲ定メ居ル處右ハ諸般ノ關係上甚タ面白カラスト思
考スル次第ナリ

仍テ當方ニ於テ海軍省ト協議ノ結果全省ヨリ塩沢司令官ニ
對シ必要ノ訓令ヲ發スルコト、ナリタルヲ以テ右御含ミノ
上貴公使並村井總領事ニ於テ此ノ上共海軍側トノ連絡ニ努
メラレ本件處理振萬遺漏ナキヲ期セラレ度
南京、北平、天津、漢口ニ轉電シ上海ニ暗送アリ度 尚必
要ト認メラル、際ニハ本電ノ趣旨ニ依リ長江筋其ノ他領事
ヲ指導セラレ度

698 昭和6年8月14日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

強硬に排日取締を要求する米里上海商工會議
所會頭より幣原外務大臣宛請願書轉達

上海 8月14日後發
本省 8月14日後着

第四〇四號

排日貨運動ニ關シ今般日本商工會議所米里會頭ヨリ貴大臣
宛請願書傳達方申出アリ郵送ノ管ナルカ其ノ要旨左ノ通

國際貿易ヲ保護スヘキ上海市商會カ却ツテ排日運動ノ中心
トナリ我國ニ對シ永久經濟斷交ヲ叫ビ日貨抑留沒收等ノ不
法行爲ヲ敢行セルニ對シ我國カ既往ノ如ク隱忍ノ態度ヲ以
テ之ニ臨ムニ於テハ近來著シク強暴化セル在華排外運動ヲ
益々助長セシムルニ至ル虞アリ宜シク此ノ機會ニ於テ非違
ヲ糾彈シ中國官憲ヲシテ速ニ斷乎タル取締ヲ講シ再ヒ同様
ノ事件ヲ發生セシメサル様根本的對策ヲ確立スル必要アリ
ト信ス就テハ此ノ際解決案トシテ左記事項ニ付中國側ニ嚴
重交渉セラレシムルコトヲ切希ス

紙ニ公告セシムルコト

- 一、中國官憲ヲシテ具體的ニ排日取締令ヲ發布シ之ヲ新聞
- 二、排日團體ヲ即時解散シ一切ノ排日行爲ヲ嚴禁セシメ
- 三、排日行爲ニヨル一切ノ結果ニ對シ中國官憲ヲシテ責任
ヲ負ハシメ且損害ヲ辨償セシム
- 四、其所有者ノ中國人タルト否トヲ問ハス日貨ノ検査抑留
沒收等ノ不法行爲ノ犯人ハ即時嚴重處罰セシム
- 五、將來ノ保障ニ付具體的取締ヲナスコト

699 昭和6年8月14日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

海軍側の反日行動阻止策につき慎重に行動方
第一遣外艦隊司令官に申入れについて

上海 8月14日後発
本省 8月14日後着

第四〇五號

往電第三九九號ニ關シ

一、十三日直ニ張市長ニ對シ關係者ノ嚴重處罰方公文ヲ以テ要求シタルカ同日午前黃公安局長本官ヲ來訪シ日本水兵ニ依リ反日検査員ヲ引致スルカ如キハ公安局ノ對内的立場ヲ困難ナラシムルニ付斯カルコトナキ様致シタキ旨懇談スル所アリタルニ對シ本官ハ本件ノ如キハ天下ノ公道ニ於テ強盜行爲アリ救ヲ求メラレタルニ付救援セル迄ニシテ普通ナラハ貴方ヨリ感謝シテ然ルヘキモノナリ然ルニ斯カル行動ヲ中止セト言フカ如キハ出來ルコトニアラス要ハ支那側ニ於テ先ツ斯カル強盜類似ノ不法行爲ヲ嚴重取締ルコト肝要ナルヘシト答ヘタルカ黃ハ張群ニ於テモ最近中央ヨリ重ネテ排日運動取締訓令ヲ接受シタレハ改メテ嚴重取締

報セリ

700 昭和6年8月17日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

上海における排日貨運動の最近の情勢概括報告

上海 8月17日後発
本省 8月17日後着

第四一五號

當地排日貨運動ハ屢次報告ノ如ク中國官憲側ニ於テハ時局並日華關係等ヲ顧慮シ日本トノ葛藤ヲ生スルカ如キ事件ノ防止ニハ相當關心ヲ示シ來レルモ中央ヨリ徹底的ノ訓令無キカ如ク又愛國運動ヲ標榜スル民衆ノ反對ニ怯ヘ斷乎タル措置ヲ執リ得ス僅ニ日本人所有貨物抑留ノ際ハ當館ノ請求ニ依リ公安局ヨリ反日會ニ懇談的ニ交渉シテ辛フシテ之ヲ取戻ス程度ニ過キスシテ中國人關係ノモノハ全然放置シ居ルノミナラス暴行者ニ對シテモ何等ノ制裁ヲ加ヘサル状態ナルニ加ヘ所謂排日屋ハ職業化シ居ル實情ナルニ鑑ミ其ノ絶滅ヲ期スルハ到底不可能ノ状態ニアリタルモ公信機密第九六六號所報ノ考慮ヨリ未タ實力行使ノ時期ニ非スト認メ

方ヲ管下各警察署ニ嚴令シタル次第ニテ水上ニモ巡邏船ヲ出スコトト爲シタルニ付取締便宜上日本船ニハ日本國旗ヲ掲揚セラルレハ好都合ナリト申述ヘタリ依テ本官ハ日本商人カ希望スルニ於テハ隨時國旗掲揚ヲ爲サシムヘキモ貴方取締ノ範圍ハ曩ニ張市長ニモ申入レタル通り單ニ日本人ノ所有スル貨物ノミニ限ラルヘキモノニアラス苟クモ日本人及日本品ニ關係セル一切ノ場合ヲ包含スヘキモノナル次第ヲ篤ト説示セル處黃ハ之ヲ了承セリ

二、次テ同日午後柴山陸戰隊指揮官ヲ通シ一遣司令官ニ對シ本件ニ關スル當館措置並黃科長ト面談ノ要領ヲ説明セシメタル上黃ノ口吻等ヨリ察スルニ支那側ハ此際更ニ取締ヲ勵行スル意向アルモノノ如ク又今回ノ事件ニ關スル海軍側ノ行動ハ少クトモ支那側官憲ニ對シテハ相當效果アリシモノノ如クナルモ萬一遣リ過クルトキハ意外ノ反動ヲ生スル虞アルニ付差當リ支那側ニ及ボシタル影響ヲ見極ムル意味ニ於テ海軍側トシテモ暫ク相當手加減ヲ加ヘラレタキ旨申入レ置キタリ

北平、奉天、哈爾濱、吉林、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州、九江、蕪湖、長沙、廈門、汕頭へ轉電シ支へ轉

出來得ル限り平和的ニ其ノ鎮壓ニ努力シ來レル次第ナルカ關係者ヨリノ直接願出ニ依リ遂ニ往電第三九七號及往電第三九九號ノ海軍ノ活動ヲ見ルニ至リ(タル)次第ナリ而シテ其ノ反響ヲ注視シ居タル處未タ的確ノ判斷ハ下シ得サルモ一方ニ於テハ一時中國側ノ感情ヲ刺戟シ往電第四〇六號及往電第四一號ノ通張市長ノ抗議及黨部邊ノ通電等ヲ見タル外往電第四〇九號ノ如ク日貨抑留行爲モ引續キ行ハレ居ルモ今迄ノ處ニテハ一時興奮モ漸次沈靜ニ向ヒ居ルヤニ認メラレ他方職業的排日屋ト商人トノ間ニ從來存在シ居タル暗闘力之下前後シテ擡頭シ來レルヤノ情報アリ若シ商人側カ勝利ヲ占ムレハ現在ノ抑留行爲ノ如キハ終熄スル代リニ

所謂國貨獎勵運動ノ名目ノ下ニ潛行的排日貨運動行ハルヘク(或消息通ノ言フ所ニ依レハ)國貨獎勵ノ見地ヨリ日貨ニモ種々ノ區別ヲ立テ差別待遇シ右區別決定ノ際幹部ニ於テ關係當業者ヲ搾ラントスル魂膽アリト言ハル然ラサレハ從來ノ方法カ暫ク續クモノト見サルヘカラス何レニモセヨ、急速排日運動ノ終熄ヲ見ルカ如キハ南京政府ヨリ的確嚴正ナル訓令無キ限り到底望無シト認メラル

海軍側トノ交渉ニ付テハ公使宛貴電第二九五號ノ次第モアリ更ニ懇談セルカ海軍側ノ態度ハ「緊急ノ場合ハ別トシ其他ノ場合ニ於テハ總テ領事館ト協議ノ上行動スヘシ但シ目前ニテ（軍艦碇泊地點附近ノ水面若ハ陸戰隊營所附近ニテ）不法行爲行ハル、際援助ヲ請ハレタルニ拘ラス終始傍觀スルハ其立場上出來サルニ付斯カル際ニハ出動スヘシ」ト言フニアリ右ハ海軍ノ立場上誠ニ已ムヲ得サルモノト思ハル尤モ斯カル事件有レハ中國側ノ感情ヲ刺戟シ一時ハ形勢カ惡化ノ状態ヲ示スハ已ムヲ得サル處ナレトモ充分ノ理由アル際斷乎タル我方ノ態度ヲ示ス事モ必スシモ無益ト言フヲ得サルヘク旁本官ハ右海軍側ノ申出ニ對シテハ異議ヲ述ヘス只今回張群抗議ノ趣旨ニモ顧ミ無用ノ誤解ヲ避ケ度キ考ヨリ海軍出動ノ場合主眼ヲ貨物ノ奪回ニ置キ出來得ル限リ検査員等ノ逮捕ハ爲ササル様申入レ置ケリ最近ノ情勢ヲ概括シ御参考迄ニ電報ス
公使へ轉報シ、北平、奉天、青島、天津、漢口、南京、廣東へ轉電セリ

南京漢口ニ轉電アリタシ
北平天津ニ轉電セリ

702 昭和6年8月25日

在中国重光公使より
幣原外務大臣宛（電報）

排日貨運動については朝鮮事件と関係なく中国側に公文を以て申入れの時機と思考せられ
るにつき再応詮議方稟請

上海 8月25日後発
本省 8月26日前着

第七九三號（極秘）

南京發閣下宛電報第四六五號ニ關シ

外交部長公文ニ對スル回答ハ本省ニ於テ御起案ノ上御回送ヲ願ヒ遅カラスト存スル處排日貨運動ニ付テハ本件回答ト關係ナク往電第六九六號ノ趣旨ニ基キ往電第六一六號ニ然ルヘキ訂正ヲ加ヘタル公文ヲ以テ別個ノ申入レヲ爲シ我方ノ確乎タル立場ヲ聲明シ置キ他日有ユル機會ニ於テ右ノ趣旨ヲ以テ押進ムコト適當ト認メラル特ニ排日貨運動幾分下火ノ感アルモ尙種々ノ事故絶ヘサル今日ハ其時機ヲ得タル

701 昭和6年8月24日

幣原外務大臣より
在上海村井総領事宛（電報）

排日運動阻止に関し海軍側との連絡協調方につき訓令

本省 8月24日後4時27分発

第一三〇號（暗）

貴電第四二〇号ニ関シ

本件ノ如ク陸戰隊營附近等ニ於ケル反日會ノ現行犯ニ對シ邦人被害者ヨリ海軍側ニ保護ヲ求メ予メ外務官憲側ト協議ノ暇ナキ場合ニ海軍側ガ臨機保護ノ手段ヲ講スルハ支那側ノ取締徹底セサル現状ニモ顧ミ止ムヲ得サル所ナルヘク公使宛本大臣電報第二九五号モ斯ル場合ニ於ケル海軍側ノ緊急行動迄モ排除セントスル趣旨ニ非サルノミナラス貴電第四一五号御申越ノ次第モ同趣旨ト存ス尤モ右様場合ニ於テモ我方トシテ支那側トノ間ニ無益ニ事端ヲ醸ササル如キ方法ヲ取ルノ要アルコトハ右貴電末尾ノ通りナリ就テハ右御含ミノ上海軍側トノ連絡協調方御措置相成度シ
訓令トシテ公使ニ轉報アリ度（公使ニ於テ必要ニ應ジ本電ノ趣旨ニ依リ長江筋其他ノ領事ヲ指導セラレ度）

モノト思考セラル就テハ前記各往電ノ趣旨御裁量方再應御詮議ヲ請フ

尙排日貨問題ニ關スル抗議ヲ朝鮮事件ニ關スル公文中ニ認メムルコトハ民國側ヲシテ兩者ヲ牽聯セシメ所謂朝鮮事件ノ解決ヲ先ツ我方ニ迫ルコトニ導ク惧アルヘキニ依リ排日貨問題ハ朝鮮事件ト引放シ別個ニ取扱フコト然ルヘシト考フル次第ナリ

703 昭和6年8月29日

在上海村井総領事より
幣原外務大臣宛（電報）

公安局の反日會抑留中の日本商貨物返還通知
とその結果に関し報告

上海 8月29日後発
本省 8月30日前着

第四四二號

往電第四四一號ニ關シ

二十八日公安局ヨリ電話ヲ以テ「反日會抑留中ノ日商貨物ヲ明二十九日返還スヘキニ付關係商人ヲシテ各自貨物ノ保管セラレ居ル場所ニ赴キ受取ラシメラレタキ」旨通知アリ

タルニ付早速各被害者ニ傳ヘ今二十九日各被害者ニ當館員ヲ隨伴セシメテ先ツ公安局ニ赴カシメ次イテ各々手分けノ上貨物所在個所ニ至リ現地所轄ノ公安分局員ト共ニ現場ニ赴カシメタル結果

一、南市
日比野洋行陶器二箱第一公司石鹼六箱ハ抑留セラレ居ル他ノ支那商日貨ト共ニ雜然トシテ格納セラレ居ル爲現品仕譯ニ手間取りタル揚句月曜日改メテ受取りニ出向クコトナ

二、閘北
伊藤洋行綿布三十二俵東亞製麻會社麻袋等百十俵其他「ガラス」工場二個所「ガラス」瓶三件ハ同所管轄公安分局長(日本留學出身)ノ反日會ニ對スル態度嚴重ナリシ爲全部滞リナク引取ヲ了ス

公安局側ニ於テハ豫メ反日會ニ通知スルコトナク突然政府ノ命令ヲ楯ニ抑留日貨ノ返還ヲ強制命令シタルモノノ如シ(反日會幹部ニ對シ豫テ諒解ヲ付ケ置キアルヤモ知レサルモ現場ニ於テ反日會員ト公安局員ト互ニ拳銃ヲ突付ケ合ハセル程ノ爭ヲ演シタルニ見テ現場員ハ少クトモ貨物ノ無條

朝鮮事件ニ關シ民國政府ハ第三次公文ヲ以テ日本ニ對シ二百五十萬圓ノ賠償ヲ求メ居レリトノ記事東京ヨリノ情報トシテ三十一日當地新聞ニ掲載セラレタル處朝鮮事件ニ關スル民國政府ノ態度ハ日本政府ニ對シテハ飽迄強硬ニ出ツヘキモ民衆運動ハ努メテ之ヲ抑ヘルニ在リト認メラレ右ハ第三次公文中ニモ現ハレ居ル次第ナルカ本件ニ關スル公文ハ民國側ノモノハ勿論帝國側ノ回答モ隨分強硬ナル主張ヲ抱キ居リ之ヲ民國内ニテ發表スルニ於テハ甚シク民心ヲ刺戟シ面白カラサル結果ヲ來ス虞アリトシ外交部ニ於テハ之ヲ發表セサルコトトシ居ル旨曩ニ外交部員ヨリ上村等へ内話セルコトアリ王部長モ亦二十八日上海ニ於ケル新聞記者トノ會談ニ際シ萬寶山事件及朝鮮事件ノ公文ハ之ヲ發表セスト稱シ居レリ而シテ民國側ハ交渉ノ上ニテハ強硬ナル態度ヲ執リ居ルモ外交部長トノ會見ニ際シ今日迄一度モ本件ニ言及セルコトナク今日ノ七態^(七)ニテハ其ノ主張ヲ飽ク迄貫徹セントスル眞意ニハ非サルヤニモ存セラレ結局公文ノ往復ヲナシ居ル間ニ解決ハ自然ニ長引クコトトナルヘキ様思ハル何等御參考迄
北平、奉天、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

件即時返還ヲ豫期シ居ラサリシモノナリ)

三、浦東

伊藤洋行綿糸二百二十五俵東洋綿花會社綿糸八十五俵(内支那紡績製品五十俵アリ)同綿布五十俵小幡洋行昆布百二十八俵ノ大口貨物ハ反日會指定ノ支那人倉庫業者ノ倉庫ニ格納セラレ居リ我方被害事件最初「ケース」タル日本綿花會社綿糸ノ返還ニ際シテモ格外ノ倉敷料其他手数料ヲ強要セル前例アル同シ場所ナル爲無條件返還ハ先方ノ容ルル處トナラス二十九日午後六時ニ至リ返還セラルルコトナレリ

轉電先冒頭往電ノ通

704 昭和6年8月31日

在中国重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

外交部は民心刺激を避けるため朝鮮排華事件

關係公文の發表を控えおる次第について

上海 8月31日後発
本省 8月31日後着

電信第八四〇號(暗)

705 昭和6年8月31日

在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

上海反日會代表と首都反日會幹部との全国反

日會組織計画に関する協議結果について

南京 8月31日後発
本省 8月31日後着

第五〇九號

新聞所報ニ依レハ上海反日會ハ當地反日會ト聯絡シ全國反日會ヲ組織スヘク最近丁澄清及葉家興ノ兩名ヲ右聯絡員トシテ當地ニ派遣シ來リ兩名ハ昨卅一日當地反日會幹部吳邁ト會合討議ノ結果(一)先ツ二箇月間ニ全國反日會籌備會ヲ成立セシメ上海ニ籌備處ヲ當地ニ中繼辦事處ヲ設クル事(二)前記兩名及吳邁等九名ヲ籌備委員トシ本件籌備會設立許可方中央ニ申請スル事(三)北平、天津、漢口、青島、濟南、杭州、鎮江、蕪湖、各地ノ反日團體ニ代表派遣方申送ル事等ヲ決議セル趣ナリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
支、北平、天津、奉天、濟南、青島、福州、廣東へ轉電セリ

漢口、蕪湖、杭州へ暗送セリ

706 昭和6年9月10日 在青島川越(茂)総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島市政府が中央より反日運動抑圧方密令に
接した趣について

青島 9月10日後発
本省 9月10日後着

第二〇號

當地市政府側ヨリノ信スヘキ情報ニ依レハ九月五日同府ハ
中央ヨリ左ノ如キ反日抑壓方ノ密令ニ接シタル趣ナリ
今般宋財政部長及張上海市長ヨリ反日運動ハ日本ニ野心遂
行ノ口實ヲ與ヘ且反動派ニ策動ノ機ヲ與フル虞アルニ付此
際各地方政府ニ對シ反日會ノ不法行動ノ取締ヲ嚴ニスヘキ
旨訓令方然ルヘキ旨陳情ノ次第アリ尤モト思料セラルルニ
付至急右様取計フヘキ旨蔣主席ヨリ内命アリタルニ依リ此
段密令トシテ通達ス云々
右御參考迄
支ヨリ上海、漢口へ轉報アリタシ

中国官憲による排日運動抑圧が却って排日感
情を挑発しつつある状況について

奉天 9月11日後発
本省 9月12日前着

第五八四號

萬寶山事件並朝鮮事件以來支那官憲ニ於テハ排日運動ノ抑
壓ニ努メ居レルモ右ハ單ニ民衆運動ノ暴動化ヲ抑壓スルカ
爲其方便トシテ日本ノ侵略的野心ニ口實ヲ與フルカ如キ行
動ヲ差控フヘキ旨命令シ居ルニ過キサル爲結果ニ於テ却テ
排日感情ヲ挑發シ居ルノ觀アリ殊ニ最近國權回復熱ノ増長
ト相俟テ一般官民殊ニ軍隊間ニ對日輕侮心擴マリツツアル
カ如ク他方輿地方面ニ於テ昨今朝鮮事件ニ關スル極端ナル
排日「ポスター」掲示セラレタルニ依リ出先ニ於テ夫々抗
議中ノ旨報告アリタルニ付十日臧主席ニ會見ノ際「ポスター」
實物ヲ手交シ嚴重取締方申入置キタリ
公使、北平、在滿各領事ニ轉電セリ

709 昭和6年9月15日

在中国重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

支、北平、奉天、南京、天津、濟南、廣東、福州へ轉電セ
リ

707 昭和6年9月11日 幣原外務大臣より
在中国重光公使宛(電報)

浙江省政府、省党部等よりの反日会經營補助に關
する新聞報道につき国民政府に注意喚起方訓令

本省 9月11日後2時52分発

第三四五號(暗)

八月廿一日附杭州發貴官宛機密第四二號ニ関シ
本件新聞記事ニ関シ国民政府当局ノ注意ヲ喚起セラレ右事
実ナルニ於テハ本件援助中止方至急中央ヨリ訓令スル様要
求セラル、ト共ニ日本政府トシテ排日運動ニ對スル民国官
憲側ノ関與事実ハ殊ニ重視スルトコロナル旨嚴重申入レ置
カレ度シ
南京、杭州ニ轉電シ上海ニ轉報アリタシ

708 昭和6年9月11日 在奉天林総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

中央党部宣伝部秘書方治が日本側新聞の報道
振りを批難し注意方要請について

南京 9月15日後発
本省 9月16日前着

第九四〇號

往電第九三八號ニ關シ

十五日島田他用ニテ中央黨部宣傳部秘書方治ニ面會シタル
處談偶々新聞ニ及ヒ方ハ本邦新聞ノ無責任ナル通信權ヲ批
難シタルニ付島田ハ本邦新聞記者側ノ立場ニ付一々説明ヲ
加ヘタル處方ハ本年五月ノ國民會議ノ際ノ例ヲ舉ケ當時日
本新聞記者ニ對シテハ日本領事館ヨリノ要求ニ依リ同會議
ニ對スル出入證ヲ發給シタル次第ナル處其通信ハ故爲ニ事
實ヲ曲ケ御祭騒キヲ爲シ居ルニ過キストカ其他不謹慎ナル
言辭多ク嚴肅ナル會議ヲ侮蔑スルカ如キ態度ヲ執リタルモ
ノ多ク大阪毎日ノ如キハ最モ批難セラルヘキ態度ヲ執リタ
リ之等ノ點ニ付今日迄日本新聞記者ニ對シ度々注意シタル
モ直ク同シコトヲ繰返シ到底導キ様ナキニ付今後ハ一度故
爲ニ事實ヲ曲ケルカ如キ通信ヲ爲シタルモノニ對シテハ爾
後會議ニ出席セシムルカ如キ特別ノ便宜ノ供與ハ之ヲ差止

ムル積リナリト語リタル趣ナリ
北平、奉天、廣東へ轉電シ上海、南京へ轉報セリ

710 昭和6年9月17日
在中國矢野公使館參事官より
幣原外務大臣宛(電報)

東北および河北方面における日貨排斥運動取
締方等張學良に申し入れについて

北平 9月17日後発
本省 9月17日後着

第四〇六號

十六日學良ニ會見ノ節滿洲ニ於テ諸種問題アル際奉天側管轄ニ屬スル河北ニ於テハ日貨排斥ニ對シ一層嚴重ナル取締ヲ加ヘラレ不愉快ナル事件ノ發生ヲ豫防セラレタク右ハ單ニ日本人所有貨物ニ對スルノミナラス日貨取扱支那人ニモ損害ヲ與ヘサルコトヲ期シ日支間貿易ノ圓滿ナル發達ヲ助長セラレタキ旨申入レタルニ張ハ御申出ヲ待ツ迄モ無ク自發的ニ取締方盡力シ居レルカ此上トモ努力スルコトトスヘシ唯東三省ニ於テハ請合フコトヲ得ヘキモ河北省方面ハ黨部ノ關係モアリ多少困難ナル點アリト言ヘルニ付本官ヨリ

天津 9月19日後発
本省 9月20日後着

第三二四號

往電第三一九號ニ關シ

其後外交後援會ハ愈日貨排斥運動ヨリ手ヲ引キ又經濟絶交委員會ハ十六日以來通貨證ヲ發給スルコトトナレルヲ以テ漸次荷動ヲ見當地ノ排日貨運動モサシテ實害ナキニ至レリ右料金ハ賣値ノ千分ノ一乃至三トシテ諸經費ヲ控除シタル残りハ悉ク水災救濟金ニ充當セラル、趣ナリ尙工務會ハ活動ヲ停止シタルモ何時絶交會ノ行動ニ干渉スルヤモ計リ難キ次第ニ付商人側ニテハ市政府ト協力シ兩反日團體ノ解散ヲ行ヒ別ニ國貨提唱委員會ノ如キモノニ改組スヘク運動中ナルカ如シ

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ
支、北平、奉天、南京へ轉電セリ

712 昭和6年9月19日
在中國矢野公使館參事官より
幣原外務大臣宛(電報)

公安局側が張學良の命により各警察署長に対し

廣東ニハ日貨排斥無ク又昨年山西軍當方面ニアリシ當時黨部ハ屏息シ今回ノ如キ排日ノ聲ヲ聞カサリシカ日本カ正式ニ承認シ且同情ヲ寄セ居ル南京政府及東北側ノ實權ヲ有スル地方ニ日貨排斥行ハル、コトハ有識者中奇異ニ感シ居ル者モアリト述ヘタルニ張ハ之ヲ首肯シ御尤ノ次第ナリ何レニセヨ黨部ノ關係モアレハ自分(張)ヨリ吳鐵城ニモ話スヘキニ付貴方ヨリモ申入レラル、様致度キ旨答ヘタリ

次テ本官ヨリ省内ニ諸種排日「ポスター」貼附セラレ居リ中ニハ間々極端ナル日本ノ殘忍行爲ヲ畫ケルモノアリテ誤解ヲ生シ易ク不當ニ公衆ノ感情ヲ刺戟シ惹テ不愉快ナル事件發生ノ誘因トモナルコトアルヤモ知レサルニ付嚴重取締ラレタシト述ヘタルニ張モ充分注意スヘシト答ヘタリ

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ
公使、南京、天津、奉天へ轉電セリ

711 昭和6年9月19日
在天津田尻總領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

天津での排日運動事実上終息について

管轄内日本人の保護方嚴命済みと表明について

北平 9月19日後発
本省 9月21日前着

第四一九號

往電第四一二號ニ關シ

十九日朝北平在留民ノ保護ニ付極力盡力方公安局ノ注意ヲ喚起シ置ケル處同日公安局吉。秘書局長代理トシテ來館シ今朝學良ノ命ニ依テ局長ヨリ各警察署長ニ對シ其ノ管轄内日本人ノ保護ハ充分ノ責任ヲ以テ之ニ當ル様嚴命濟ニ付安心アリタシト述ヘタリ本官ハ恰モ接到セル公使宛貴電第三六五號ニ基キ日本ニ於ケル中國人保護方手配濟ミノ旨ヲ告ケタル上此際特ニ局長ノ注意ヲ喚起シタキハ本件ニ關シ事實無根ノ浮説流布セラレ新聞社通信社等ヨリ種々煽動的ノ號外等發行セラレ居ル點ニテ之等ヲ取締ラサレハ誤解ニ基ク不祥事件ヲ惹起スルコトナキヲ保セスト述ヘタル處吉ハ全然同感ナルニ付局長ニ至急措置方上申スヘシト答ヘタリ尚前記公使宛貴電第三六五號ニ關シテハ更ニ張學良ニ直接申入ルル管

公使、南京、奉天、天津へ轉電セリ

713 昭和6年9月20日

在青島川越總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島市政府より周到な排日取締計画内示の旨
重光公使宛報告

青島 本省 9月20日後着

第二二五號

閣下發在華公使宛電報第三六五號ニ關シテ
過般ノ國粹會襲撃事件ノ經緯モアリ當地トシテハ特ニ慎重
措置ノ要アリト認メラレタルニ付十九日朝直ニ五百木ヲ市
政府ニ派シ我方ニ於テ在留民ノ輕舉妄動取締方充分手配ス
ヘキニ付市政府ニ於テモ中國民衆ノ取締ヲ勵行シ治安維持
ニ付萬全ノ策ヲ講セラレ以テ事件ノ當地方波及防止ニ努メ
ラレ度シト申入シメタル處先方ニ於テハ欣然之ニ同意シ直
ニ其手配ヲ講シタルカ其後前記訓電ニ接シタルニ付午後再
ヒ五百木ヲシテ市政府ニ對シ御訓令ノ趣旨ヲ敷衍説明ノ上
重ネテ治安維持方申入シメタル處(中國側ハ東北艦隊ノ無
電ヲ通シ相當詳細ナル情報ヲ入手シ居タリ)市政府側ニ於
テハ鮮カラス安堵ノ色ヲ示シ治安維持ニ付テハ十二分ノ注

(一) 去ル十九日土曜日奉天事件突發ノ報ニ脅カサレタル當市

場ハ先ツ本日ヨリ對日爲替一兩ヲ落シ一六三兩又金塊一
五兩ヲ下ケ七六四兩ニテ蓋明ケセラレ漸次下向キ歩調ナ
リシカ日曜明ケ二十一日英國金本位停止入報ニ大衝動ヲ
受ケ爲替一五八兩半金塊七四二兩ニ激落シ市場亂調子ト
ナリ今二十二日蓋明ケ後爲替一四一兩金塊六七〇兩迄落
込ミ後爲替五、六兩金塊二〇兩内外ト稍々反撥ヲ見セツ
ツアルモ他ニ滿洲時局ノ變化排日貨ノ成行等ノ材料モ手
傳ヒ大幅ノ變動ヲ繰リ返シ先行見極メ付カス、公債市場
モ去ル十九日一齊ニ前日ヨリ三、四弗方落シ昨二十一日
又後三、四弗方續落ヲ告ケ遂ニ立會停止トナリ銀行筋警
戒シ、中國、交通兩行等一時ニ現銀手當ヲ爲シタル爲相
場ハ去ル十八日ニ較ヘ現在弗銀七二兩六二ヨリ七二兩九
銀利一仙六厘ヨリ三仙内外ト夫々奔騰シ中國側金融頓ニ
引締リノ狀ヲ呈シ不安氣分アリ

(二) 商品界トシテハ中國紡績製品ハ排貨惡化ヲ氣構ヘ外綿並

ニ三品安爲替安ニ逆行シ強氣配ヲ呈シ居ルモ邦人紡績品
及輸入綿絲布ハ商談全ク無ク無相場狀態、他方輸出品ハ
爲替關係ニテ出合ハス、小麥同粉、大豆、桐油等ハ滿洲

意ヲ拂フヘキニ付日本側ニ於テモ在留民ノ慰撫ニ努メラレ
タシトテ周到ナル取締計畫ヲ内示セリ目下ノ處ハ日華兩國
民衆共未タ慎重ナル態度ヲ失ハス自重シ居ルヲ以テ現狀ノ
儘ニテ推移セハサシタル懸念ナシト思料セラルルモ我在留
民間ニ流言蜚語相當盛ナル關係モアリ當館ハ警察官ノ非常
召集ヲ行ヒ中國官憲ト密接ナル聯絡ヲ保チツツ嚴重警戒ニ
任シツツアリ

他方東北海軍側ニ對シテハ二遣司令部ヲ通シ前掲市政府ニ
對スルト同様ノ申入ヲ爲シ置キタリ

尙二遣旗艦球磨ハ當地碇泊中ナルカ司令部ニテハ旅順ヨ
リ驅逐艦一隻芝罘ニ派遣スルコトトナリタル趣ナリ
支、北平、南京、天津、奉天、濟南ヘ轉電セリ



714 昭和6年9月22日

在上海橫竹商務參事官より
幣原外務大臣宛(電報)

柳条湖事件の上海市場への影響について

上海 9月22日後着
本省 9月23日前着

商第五四號

出廻リ障害ヲ見込ミ昂騰氣配

綿布、砂糖、雜貨類等本邦約定品ハ値下リト爲替損ニテ
中國商側排日貨ニ藉口シ受渡拒否ノ態度ニ出ツル模様ナ
リ特ニ中國錢莊業者ハ金融關係ト排日貨ノ爲對邦人取引
決濟ノ存票ヲ認メサルコトヲ決議セルヤノ噂アリ未タ實
現サレ居ラサルモ邦人トノ取引ニ對シ反日團側ヨリ、何
等カ金融市場ヘノ壓迫ヲ加ヘントノ策動アルモノノ如ク
旁昨日來邦商店舖ニハ客足俄ニ淋レツツアリ

(三) 邦人關係棧橋荷役工場側等目下ノ處動搖ナキモ本日行ハ

レタル各會代表者會議ヲ切掛トシ排日貨運動一段ト激發
豫想サレ特ニ之迄穩カナリシ學生團體出動シ排日貨ノ先
捧タラントスル形勢アル等注意ヲ引キツツアリ
要スルニ當市場トシテ英國金本位停止ハ銀價支持材料薄
ノ折柄一大波瀾ヲ投シタルモ事情ノ判明ト共ニ漸次落付
ク氣配アリ唯滿洲事件ニ關シテハ頗ル刺戟ヲ感シ先商談
ノ停止ハ勿論約定品ノ受渡モ悲觀セラレ邦商側苦痛益々
深刻化ノ兆アリ

昭和6年9月(23)日

在天津田尻総領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

日中両軍の衝突を避けるため警察官の増員派遣
遣送議方稟請

天津 発

本省 9月23日前着

第三三七號

時局ニ關シ日支兩軍ノ衝突ヲ避クル爲出來得ル限リ駐屯軍ノ努力ニ依ラス警察官ヲ第一線ニ立テ萬事措置セシメタキ處手不足ニ付至急七八名ノ増員派遣方御詮議アリタシ

昭和6年9月23日

在濟南西田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

山東に關する限り治安維持並び日本人保護に
つき安心ありたしとの韓主席談話について

濟南 9月23日後発

本省 9月24日後着

第一九〇號

往電第一八三號ニ關シ

事件カ滿洲ニ止マラス中國本部ニ波及ノ場合日本トシ

テハ中國ノ海岸線ノ大部分位ハ占領シ得ルトモ全國ヲ

占領シ能ハサルヘク斯テ歐米各國ノ利害關係ヨリ國際

紛擾モ起ルヘク殊ニ共產黨露國ト通謀シテコノ間ニ活

躍シ共產軍ノ勢力増大シテ結果東亞ノ混亂トナリ次テ

世界ノ紛擾トナルヘキヲ懸念シ極力事件ノ擴大セサル

様希望セルカ他方中國自身トシテモ内亂ヲ終熄セシメ

ン見地ヨリ廣東政府要人側ニ對シ和平救國ノ通電ヲ發

セリ云々ト述ヘタリ(右通電ハ本二十三日ノ新聞ニ發

表セラレタルニ付郵送ス)

在支公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

在支公使、廣東、北平、青島ニ轉電シ

奉天、天津、漢口、南京、芝罘、鄭州へ暗送セリ

昭和6年9月24日

在上海村井総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

国民政府の上海市府等に対する日本人保護
方訓令および中央党部の市党部への民衆運動
実行上の注意方指令について

昨二十二日日本官韓主席ニ會見セシ處

一、韓八十九日貴官ト話合ノ通治安維持並ニ貴國人保護ニ

付各地方軍政官憲ニ命令シ置キタル外青島及劉珍年ニ

モ同様ノ趣旨ヲ電報シ置キタルハ山東ニ關スル限リハ

安心アリタシト繰返シタル上青島芝罘龍口等ニ日本軍

又ハ陸戰隊上陸セリト力準備中ナリト力種々ノ謠言アリ

リ自分ハ右ヲ信シ居ラサルモ實情如何ト尋ネタルヨリ

右ハ勿論謠言ニシテ自分モ種々ノ謠言ヲ聞クモ我政府

ノ方針ハ過般御話ノ通り事件ヲ擴大セサルヘキ趣旨ナ

ルニ付治安ヲ維持セラレ邦人ニ危害ナキ限リ特別ノ行

動ニ出ツルコトナシト信ス尤モ海港ニハ通信聯絡等ノ

必要上日本軍艦ノ碇泊又ハ寄港ノ事アルハ御承知ノ通

リナリト答ヘ置キタリ

二、次テ韓ハ奉天事件ハ長春吉林方面ニモ波及セル模様ナ

ルカ日本ノ眞意如何ト尋ネタルヲ以テ最近ノ電報及公

使發閣下宛電報第九九一號ノ趣旨ニテ然ルヘク應酬シ

タル處韓ハ蔣介石モ歸寧シタルカ黨部側ハ相當強硬ナ

ル提議ヲナセルモ政府トシテハ慎重ナル態度ヲ要スル

コト勿論ナリト述ヘ又全然私見ナルカ萬一不幸ニシテ

上海 9月24日後着

本省 9月25日前着

第五二七號

二十二日國民政府ハ上海市府及警備司令部ニ對シ今次事

件ニ關シ中央ニ於テハ日本政府ニ日軍ノ即時撤退ヲ要求ス

ルト共ニ聯盟ニ報道シテ世界ノ注意ヲ喚起スル等機宜ノ措

置ヲ講シ居ル次第ナルカ此際國民ノ妄動ハ反動派ニ乘セラ

レ日本ニ口實ヲ與ヘ却テ大局ヲ誤ルモノナルニ付各所屬機

關ニ嚴達シ國民ノ憤激ヲ抑止シ秩序ヲ維持シ日本人ノ保護

ニ當ラシムヘキ旨訓令越シタル趣ナルカ一方中央黨部ノ市

黨部ニ對スル民衆運動ノ實行上ノ注意モ巷間兎角ノ噂アル

モ實際ハ頗ル消極的ニシテ(イ)共產黨ノ活動防止(ロ)野蠻ナル

宣傳ヲ慎ムコト(ハ)學生ノ運動ハ市教育局ノ指揮ヲ受クヘシ

(ニ)路傍演說ヲ許サス(ホ)排日貨運動ニ市黨部員ノ参加ヲ許サ

ス商人團體ニ一任スヘキコト等ヲ指令シ來リタルモノナル

趣ナリ

支ニ轉報シ北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、福州、

廣東、南京へ轉電セリ

718 昭和6年9月25日

在天津田尻総領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

日本軍の錦州爆撃で在留日本人が危険に瀕して
いるため至急軍の反省を促されたきについて

天津

発

本省 9月25日後着

第三四六號(至急)

關東長官宛往電第二〇號(大臣宛第三四五號)ニ關シ

錦州居留民引揚ニ付テハ縣知事屢次ノ聲明モアリ又時局ノ
爲敗兵避難民輸送等ニテ引揚乗車困難ナル爲今日迄遷延シ
居ルモノニシテ當方ニ於テハ各方面ニ對シ出來得ル限りノ
手配ヲ盡シ居ル處廿五日大公報ニ依レハ日本軍飛行機廿四
日午後二時錦州東大營ニ對シ爆彈四個ヲ投下シタル由ニテ
斯クテハ縣知事モ苦境ニ陥リ在留民ハ危険ニ瀕スヘク(現
ニ廿四日深更危険迫レリトノ來電アリ)本官及市政府ヨリ
縣知事宛更ニ保護ヲ請フ等引續キ手配中ナルモ斯カル軍ノ
遣口ハ貴電合第五九五號ノ方針ニ戻リ又地方的ニ保護救出
ヲ全フシ得サル虞アルニ付至急軍ノ反省ヲ促サレタシ
關東長官ヨリ營口ヘ轉電アリタシ

關東長官へ轉電セリ

719 昭和6年9月25日

在上海村井総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

中国共産党の各支部への命令および在上海朝
鮮人の動向注視について

上海 9月25日後発

本省 9月26日前着

第五四五號

時局ニ際シ當地中国共産黨ノ行動ニ付テハ嚴重注意中ノ處
本月廿二日當地中国共産黨ハ各支部ニ對シ

一、日本軍ノ奉天其他滿州諸都市ノ占領ニ對スル反抗ノ爲
總罷業ノ誘發ニ努ムルコト
二、日貨に對スル「ボイコット」ヲ新國貨ニ依リ(脱)
三、日本工場内ノ共産黨員ノ組織ヲ強化スルコト
等ヲ指示シタル上日本帝國主義及國民黨打倒並蘇聯邦ノ擁
護ヲ力説スル不穩ノ傳單ヲ播布シ且夜陰ニ乘シテ宣傳口號
ヲ市内各所ニ墨書セルノミナラス不穩ノ口號ヲ記セル赤旗
ヲ用意シテ示威遊行ノ準備ヲ進ムル等其活動次第ニ顯著ト

ナリツツアリ在滬共產系鮮人亦同様ノ宣言書ヲ本月十九日
市内各所ニ撒布セリ

之ニ對シ兩租界警察當局ハ取締リ上特別ノ手配ヲ爲シ極力
之ヲ彈壓ニ力メツツアルノミナラス支那側ニ於テモ亦極メ
テ峻嚴ナル取締ヲ實施シ居ルヲ以テ目下ノ處民衆運動ノ指
導力共産黨ノ掌中ニ歸スルカ如キ事態ノ發生ハ萬之レナカ
ルヘキモ民心ノ激化ト共ニ其間ニ介在シテ事態ヲ惡化セシ
ムル爲ノ不穩ノ行動ナキヲ保セス

在滬鮮人ノ行動ニ付テハ事件以來更ニ視察ヲ嚴ニシツツア

ル次第ナルカ本月廿日潛稱韓國臨時政府ハ緊急會議ヲ開催

シ滿洲事變ニ對シ在滬鮮人ノ執ルヘキ態度ニ付協議セル結

果翌廿一日上海各團體聯合會ナルモノヲ組織シ兵員義勇隊、

勞兵會、庚子團共民團其他鮮人團體ヲ網羅シ同日第一回ノ

代表大會ヲ開催シ朴シヨ―セイ司會ノ下ニ一、中國各官憲

及各新聞社ニ通電ヲ發ス二、中國市民大會ニ際シ代表ヲ派

シ排日援助宣傳ヲナスコト三、排日宣傳「ピラ」ヲ印刷シ

市民大會其他適當ナル機會ニ之ヲ撒布ス四、在支鮮人大會

ヲ開催シ口演討議ヲ爲スコト等ノ工作事項ヲ決議シ之ニ基

キ直ニ國民政府其他支那側各新聞社ニ對シ通電ヲ發シ又代

表ヲ派シテ支那側ノ民衆運動ニ參加セシムル等著々其計劃
ヲ進行シツツアリ又從來狂暴ナル團體トシテ注意中ノ兵員
義勇隊ニ於テハ極秘裡ニ隊員ヲ招集シ日本ノ密偵ヲ探索シ
テ之ヲ殺スコト時機ヲ見テ支那人ニ變裝シ日本總領事館其
他ノ重要建物ニ爆彈ヲ投擲シ時局ノ紛糾ヲ促進スルコト等
極メテ不穩ナル申合セラナシタリトノ報アリ
從來ノ行動ニ鑑ミ嚴重警戒中ナリ

支へ轉報セリ

北平、奉天、南京、天津、青島、濟南、漢口、福州、廣東、
關東長官、朝鮮總督へ轉電セリ

編注 「ヲ新國貨」の箇所に「ノ深刻化」と書き込み訂正

あり。

720 昭和6年9月28日

在中国重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

中国側輿論は引続き激烈にして特に学生等の感
情激化および蔣・広東合体促進の状況について

上海 9月28日後発
本省 9月28日後着

第一〇六四號

往電第一〇五七號ニ關シ

一、民國側輿論ハ引續キ頗ル激烈ナルカ特ニ學生方面ノ感情ノ激化ハ從來ニ見サル所ニシテ民國側中央地方ノ當局ハ國際關係ニ於ケル自己ノ立場ヲモ顧慮シ不慮ノ衝突等ヲ避クル爲之カ取締ニ苦慮シ居ルモノノ如シ尙國際聯盟ニ於テ民國側カ不利益ノ地位ニ立チタリトノ新聞報道ハ輿論ヲシテ中央政府殊ニ外交部ノ無能攻撃ニ鋒先ヲ向ケシムルニ至レルカ之ニ對シ外交部ハ國際聯盟ニ於テハ民國代表活躍ノ結果日本側ヲ抑ヘ滿洲ニ於テ着々日本ノ行動ヲ縮少セシメツツアリ右ハ民國外交ノ力ナリトノ趣旨ノ説明ヲナシ聲明書ヲ出シタルカ充分ニ一般ノ納得ヲ得サルモノノ如ク遂ニ廿八日外交部長ハ外交部ニ於テ暴動化セル團體ノ爲襲ハレ重傷ヲ負フニ至レル由ナリ

二、今回ノ滿州事件ニ依リ廣東トノ合体ヲ促進スルカ爲現ニ張繼等ハ蔣介石ノ親書ヲ携ヘ數日前當地發廣東ニ向

等は蔣介石の指金によるものと談話について

廣東 9月28日後発
本省 9月29日後着

第四七一號

往電第四六四號ニ關シ

一、廿八日本官他用ヲ以テ陳友仁ト會見セル處香港ニ於ケル排日暴行ニ關シ陳ヨリ口ヲ切り今回ノ暴行ハ數日前蔣介石ヨリ日英兩國間ニ紛糾ヲ生セシムル爲腹心ノモノニ十萬元ヲ携行赴香セシメテ煽動セラレタルト共產黨關係者カ策動セル結果ニシテ當地ニ於テモ蔣ヨリノ指金ニ依ル煽動者カ主トシテ學生間ニ妄動スル氣配アルヲ以テ極力警戒中ナル旨内話セルニ依リ本官ハ香港發本官宛電報第三四號ノ趣旨ヲ申述ヘ更ニ同地ニ於ケル排日取締ニハ總商會各公會其他ニ實勢力ヲ有スル何東ニ警告ヲ與フル必要アルヤニ思考セラルルニ付貴官ニ於テ其邊充分御配慮アリタキ旨申入レタリ

二、然ルニ陳ハ前記香港來電ノ趣旨ヲ一笑ニ附シ當地ニ於テハ新聞雜誌ノ激越ナル報道論調ヲ放任シ居ルモ何等組織的排日ナキハ御承知ノ通ニテ實ハ和平問題ヲ目前ニ控ヘ南

ヘルカ右親書ニハ一致シテ日本ニ當ルカ爲ニハ蔣トシテハ主席ノ地位ノ如キハ之ヲ辭讓シ一國民黨員トシテ働キテモ差支ヘナキカ唯南京ヲ首都トスルコトハ總理ノ遺訓ナルニ付廣東側モ南京ニ來ランコトヲ求ムトノ趣旨モ認メアル由ナリ之ヲ要スルニ介石及精衛トノ合体促進セラレツツアルハ事實ナルカ他方一般民衆ノ激昂ハ現南京主腦部及張學良ニ對スル反對トナリ罪ヲ蔣介石及學良ニ歸セシムルノ聲高マリツツアリ又此ノ間ニ乘シ左傾的分子ノ策動ハ廣東政府ノ反日對度トモ關聯シ相當力ヲ得タル模様ナリ(此ノ際露國トノ國交回復ヲ主張シ之ト連繫スヘシトナス者スアリ)南京政府カ事態ヲ內政的ニ收拾スルニ相當ノ困難アル點ハ注

意ヲ要ス

南京、廣東、北平、奉天、天津、漢口、在米大使、聯盟ヘ轉電セリ

721 昭和6年9月28日

在廣東須磨總領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

陳友仁が廣東には組織的排日なく香港暴行事件

京側ヨリ廣東政府カ日本ニ對シ媚ヲ賣ルヤニ宣傳セラルルハ甚タ不利ナルヲ以テ香港ニ於ケル漢字紙ニ對シテモ廣東ニ於ケルト同様自由ニ放任シ居ルノミナラス一昨廿六日會議ノ結果汪、古等ノ機關紙ニハ一時少々反日ノ「ジエスチヤー」ヲ爲サシムルコトトセル次第ナルカ暴行ハ前述ノ如ク別個ノ煽動ニ起因スヘシト答ヘタルニ付右兩機關紙ノ論調ハ甚シキカ如キニ付手控ヘ方措置セラレタシト再應申入レタルニ陳ハ快諾セリ

三、尙又御依頼ノ何東ハ余ト親交アルヲ以テ警告ヲ與フヘキモ實ハ先般豫メ同人ニ對シ注意ヲ喚起シ置カント存シ當方ノ意向ヲ傳ヘタル處同人ヨリ前記ノ如キ蔣介石ノ陰謀ヲ聞知セル次第ナリト内話セリ

冒頭往電ノ通轉電暗送セリ

722 昭和6年9月29日

在天津田尻總領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

柳条湖事件により排日運動再燃について

天津 9月29日後発
本省 9月29日後着

奉天事變直前ニ於ケル當地排日貨運動ハ往電第三二四號ノ通ニシテ殆ト骨抜トナリ前途ヲ樂觀シ居リタル處其後右事變突發、仲秋節及奧地商人ノ時局見送り等事情アリシニ拘ラス充分トハ行カサルモ相當ノ荷捌キアリシ由ニテ現在尙多少ノ荷動キアリ又内地ヨリノ輸入ハ前月ニ比シ多少増加輸出ハ二倍ノ増加ニシテ未タ事變ノ影響見ヘサル現状ナリ尤モ往電第三五九號外交後援會ノ決議アル外市黨部ニ於テハ目下天津全市抗日救國聯合會ノ組織準備中ニシテ(一)對日經濟絶交ノ勵行(二)全國一致抗日等ヲ看板トシ臆テ實行運動ニ入ルモノト豫想セラルルニ付市政府及公安局ニ對シ反日團隊カ個人ノ自由ヲ抑ヘ排(日)ヲナス不都合ヲ説キ嚴重之カ防止方絶ヘス要求シ居ルモ今次事態ノ重大ナルニ鑑ミ前途俄ニ逆睹シ難ク又目下格別不穩ノ氣配ナキモ今後塘沽ニ於ケル荷役苦力ノ風潮憂慮セラル

支ヨリ上海、南京ヘ轉報アリタシ

支 北平 奉天 青島ヘ轉電セリ

理竝ニ一切ノ使用人ニ對シ一週間内ニ自動的辭職スル様通告ス
五、税關ニ對シ日貨ノ輸入ヲ許可セサル様通達ス
六、在滬日本陸戰隊ノ武裝的示威遊行ヲ中止スル様租界納稅者會ヨリ工部局ニ通告セシム
北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廣東ヘ轉電シ支ヘ轉報セリ

724 昭和6年9月30日

在漢口坂根總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

中央政府よりの取締り密令あるも反日運動拡大の傾向について

漢口 9月30日後発
本省 10月1日後着

第六八七號
往電第六七七號ニ關シ

武漢行營ヨリ確聞スル處ニ依レハ中央政府ハ南京上海等各

723 昭和6年9月29日
上海市商會が二十八日臨時會員大會を開催シ
排日方法決議について

上海 9月29日後発
本省 9月30日前着

第五六二號
上海市商會ハ廿八日臨時會員大會ヲ開催シ(同業公會百六十ノ代表二百餘名參加セル由)出席王曉籟司令ノ下ニ排日方法等ニ付協議ノ結果十五ヶ條ノ決議ヲ爲シタルカ其中日本軍驅逐方中央ニ電請スル等常套の文句ノモノ以外左記各項ハ注意ニ價ス
一、永久的對日經濟絶交ノ徹底ヲ期スル爲違反者アル時ハ嚴重ナル制裁ヲ加フ
二、銀行及錢莊ニ對シ日本貨幣ノ取扱中止方通告スルコト
三、各業公會毎ニ即日貨検査隊ヲ組織シ自ラ検査ヲ行ハシム若シ一週間ヲ經過スルモ之ヲ組織セサルモノアル時ハ市商會ニ於テ代行ス
四、日本人關係ノ銀行會社及工場ニアル中國人ノ買辦及經

下ニ廿九日各省政府ニ對シ反日及至愛國ノ美名ノ下ニ治安ヲ亂スカ如キ言動ハ斷乎トシテ取締ルヘキ旨密令セル趣ナリ當地官憲ハ從來トモ極力民衆ノ越軌行動ノ取締ニ力メツツアルモノト見ルヘキ市中ノ反日空氣ハ南京上海等ノ影響ヲ受ケ一方新聞ノ宣傳ト黨部方面ノ策動ニ依リ漸次昂マリツツアルカ如ク經濟絶交モ早晚免カレ得サル狀勢トナリタルヲ以テ昨廿九日何成濬始メ省政府委員ハ民心ヲ轉換スルノ考ヘニヤ連名ニテ悲憤慷慨的反日通電ヲ發スル處アリ一方黨部ノ使曠ニ依リ學生ハ各校毎ニ義勇隊ヲ編成シテ武漢反日救國會指導ノ下ニ反日工作ニ從事シ居リ各校ヨリ選抜セル代表者一行ハ近ク赴寧對日宣戰ヲ政府ニ要求スルトトナレル趣ニシテ軍官學校學生カ廿八日日本租界ノ襲撃ヲ計畫シ事前ニ官憲ヨリ阻止セラレタリトノコトモ事實ト認メ得ヘキカ如シ又日本商使用ノ人足特ニ碼頭工人及倉庫人夫ノ鼻息ハ近來甚タシク荒ク雇主ニ對シ日毎ニ數倍ノ賃銀値上ケヲ要求シ邦商中或ル程度ノ讓歩ヲナシタル向ハ別トシテ他ハ何レモ未解決ノ儘双方對峙ノ姿ナルカ最近洋務業工會委員ハ日本人使用中國人ニ對シ罷工ヲ煽動シ始メ日本租界内ニ於テモ極秘裡ニ畫策シツツアルヤノ聞込ア

リ警戒中ナルモ租界内ニ於テハ未タ工人風潮悪化ノ模様ナシ
公使ヨリ上海、南京へ轉報シ北平、奉天へ轉電ヲ請フ
例ノ通暗送セリ

725 昭和6年10月1日 在南京上村総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

國民政府は三十日付にて学生運動抑圧のため
国内治安維持方布告について

南京 10月1日後発
本省 10月2日前着

第六二〇號

國民政府ハ三十日附ヲ以テ目下ノ困難ニ際シ政府ハ國ノ基
ヲ鞏固ニシ革命完成ノ大任アルヲ以テ國內ノ規律秩序ヲ保
持スル爲ニハ如何ナル犠牲ヲモ辭セス政府ノ威信多少ナリ
トモ失墜センカ國家ヲ破滅シ兵火ヲ助長スルニ異ラサルニ
付今後國內ニ於テ若シ革命ノ規律ニ違反シ又ハ秩序ヲ擾亂
スル者アル時ハ政府ハ職權ヲ以テ之ヲ制止スヘキ旨布告セ
リ

假令砲火ヲ用キスト雖モ其動機ト手段ハ正シク戰鬪行爲ト
言ハサル可カラス、然ルニ市内官憲ハ在留邦人ノ生命財産
ハ勿論居住營業ノ自由ヲ保護スヘキ義務ヲ有スルニ拘ラス
是等敵對行爲ニ對シ何等ノ取締ヲ爲サス、却テ之ヲ煽動シ
ツツアルハ明ニ條約並ニ國際信義ヲ無視スルノミナラス最
近滿洲事變ニ關スル國際聯盟理事會決議第五項ニ認ムル處
ノ兩國政府力形勢ノ重大化、事件ノ擴大ヲ防ク可ク凡ユル
必要ナル手段ヲ執ルヘシトノ保障ニ背叛スル行爲ニシテ斷
シテ許容スヘキニ非ス、故ニ帝國政府ハ事態ノ重大ニ鑑ミ
南京政府ニ對シ對日經濟絶交運動ノ即日禁止ヲ要求シ、萬
一之ニ應セサルニ於テハ直ニ斷乎トシテ南京政府ノ責ヲ問
フ外ナシト信ス

727 昭和6年10月6日 在広東須磨總領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

排日運動の影響について広東における日本商
社調査報告

広東 10月6日後発
本省 10月6日後着

右ハ最近益々高潮ニ達セル學生運動抑壓ノ目的ニ出テタル
モノト思料セラル
公使、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州、
厦門、蘇州、杭州、蕪湖ニ轉電セリ

726 昭和6年10月3日 上海日本商工会議所より
幣原外務大臣宛(電報)

排日運動激化による經濟絶交の徹底は戰鬪行
為であり断乎南京政府に禁止方要求請願

上海 10月3日後発
本省 10月3日後着

支那ノ排日運動ハ最近益々險惡トナリ日貨ノ賣買禁止ハ勿
論邦人トノ一切ノ取引ヲ防遏シ既存契約ノ破棄、邦人所有
貨物ノ略奪ヲ行フノミナラス原料及一切ノ物品ヲ日本人ニ
供給セス、進ンテ我商社銀行等ノ買辦ヲ放火虐殺ノ脅迫ヲ
以テ辭職セシメ、剩サヘ郵便電信電話等ノ通信ヲモ妨害シ
急速ニ經濟絶交ノ徹底ヲ期シツツアリ
斯クノ如キハ我國ヲ敵國トシ國ヲ擧ケテ抗爭セントスルモ
ノニテ所謂「ボイコット」トハ決シテ同一視スヘキニ非ス、

第四九七號

當地主ナル本邦商社ニ就キ取調ヘタル排日運動ノ影響不取
敢左ニ電報ス

一、一般輸入業

時局發生以來本邦品ノ新規契約ハ殆ト絶無ノ状態トナ
リ又賣掛代金ノ回收不納先物契約ノ解約等ニ依リ相當
困難ヲ感シ居ルモ一方將來經濟絶交斷行ノ見越ニテ現
物取引ハ相當旺盛又石炭ハ今日迄ノ處平常通り取引セ
ラレツツアリ(尤モ租界外在住邦商ハ九月二十六七日
頃ヨリ閉店休業中ナリ)

二、船舶業

沿岸航路

(商船日清)ハ九月二十五日頃ヨリ中國人ノ貨物來客
共ニ皆無トナリ何レモ「ジャーデン」ニ奪ハレ又廣東
香港間「リバーポート」カ本邦船積ノ貨物取扱ヲ回避
セル爲香港積替遠洋航路(郵船商船)貨物ノ取扱激減
セリ但本邦船ニ對スル荷役ハ未タ何等影響無シ

三、銀行業

九月二十一日朝ヨリ金引出者殺到シ二十三、四日頃ニハ

相當深刻ナル取付騒キヲ演シタルモ正金ハ小口預金ヲ取扱ハサレハ左迄影響ヲ蒙ラス臺銀、華南兩銀行亦支拂ニ支障ヲ來サス九月末ニハ殆ト常態ニ復シタルカ右期間中ニ於ケル三銀行ノ支拂總額約五百三十八萬弗預金現在數約三百七十五萬弗ナリ一方九月二十一日以來中國人ノ新規預金皆無又輸入信用狀ノ發行殆ト停止ノ状態トナレリ

四、倉庫業

九月二十日ヨリ中國人寄託物ノ出庫激増シ目下寄託物皆無ノ状態ナリ

公使ヨリ上海、漢口、商務官へ轉報アリタシ
公使、天津、奉天、青島、汕頭へ轉電シ香港へ暗送セリ

728 昭和6年10月7日

在漢口坂根總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

中国側銀行団錢莊業者による金融取引断絶に
より日本商の打撃甚大となる模様について

漢口 10月7日後発
本省 10月8日前着

本邦人商社ノ中國人トノ各種取引ハ絶對ニ不可能ナリト見ル向多シ尤モ本邦商ノ受入レタル錢莊手形ヲ正金等ノ手ヲ經テ外國銀行ノ支配人ニ渡シ同支配人ヨリ之ト同額ノ現金又ハ「キヤツシ、オーダー」ヲ受領シ右支配人ハ該手形ヲ支那商ヨリ直接受入レタルモノトシテ買辦ニ取立テシムルノ方法考究セラレツツアルモ外國銀行カ何ノ程度迄「リスク」ヲ踏ミテ便宜ヲ供與スヘキヤ頗ル疑問視セラレ居レリ尙本邦商ハ税金支拂ニ當リ海關指定ノ中央銀行及上海銀行ノ金單位小切手ヲ使用シ來レルカ右ノ結果輸出入税ノ支拂ニ現金ヲ使用スルノ外ナク排日ニテ市中ノ運搬不安ノ折柄ニ重ノ不便ヲ感スル事トナレリ
支ヨリ上海、商務參事官、南京へ轉報シ、北平、奉天へ轉電ヲ請フ
例ノ通暗送セリ

729 昭和6年10月8日

在広東須磨總領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

全国一致抗日のため経済絶交を正当化する孫
科の談話発表について

第七〇四號
往電第七〇三號ニ關シ

當地中國側銀行團錢莊業者ノ組合ハ客月廿五日形式的ニ對日經濟絶交ヲ決議セルモ之カ實行期ヲ明示セサリシ爲本月ニ入り一、二錢莊カ日本商社宛手形ノ發行ヲ拒絶シタル例アリタルモ大體ニ於テ無難ニ經過シ當地日本側銀行商社トノ取引關係深ク中國側銀行中最モ有力ナル上海銀行始メ他ノ中國側金融業者モ依然日本商トノ取引ヲ繼續シ居タル處救國會ノ壓迫漸次加ハレル爲上海銀行ハ昨六日正金臺銀其他主ナル本邦商社ニ對シ取引断絶ヲ通告スルト共ニ昨日中ニ「バランス」ノ決濟ヲ完了シタル結果他ノ中國側金融業者モ一律之ニ倣フ事トナリ更ニ又英米佛等各國ノ銀行ニ服務スル買辦及出納係モ日本人商社及銀行ノ爲錢莊手形(中國商人ノ大口取引ハ全部之ニ依ル)及小切手ノ取扱ヲ拒絶スルニ決シ茲ニ日支金融關係ハ一時全ク停頓ノ状態ニ陥レリ

從來排日ノ際ト雖中國側金融機關カ舉ツテ取引ヲ拒絶セル事例ハ之ヲ見サリシ次第ニシテ今回ノ如キ事態ハ邦商ニ致命的ノ打撃ヲ與フルモノト言フヲ得ヘク右ニシテ永續セハ

広東 10月8日後発
本省 10月9日前着

第五〇一號

往電第四九二號ニ關シ

滿洲ニ於ケル獨立運動ノ報道ハ蔣介石ノ煮切ラサル和平態度ト相俟テ當政府部内ノ排日感情ヲ稍惡化セシメ來リタルハ否ミ難ク爲ニ當局モ人心收攬ノ必要上排日ノ關スル限リ南京ト競争スルノ外ナキ破目ニアルモノノ如ク七日非常會議ニ於テ新聞記者ヲ招待シタル席上孫科ハ刻下ノ對日策トシテ大要左ノ如キ談話ヲ發表セリ
一、全國民一致抗日ヲ敢行スルニハ經濟絶交ヲ正當ナル方法トス

二、對日宣戰ハ南京ノ能クセサル所ナルハ張學良カ邊防軍ヲ率ヒ乍ラ無抵抗主義ヲ取リタルニ徴スルモ明カニシテ中國軍隊ハ外戰ニハ無能力ナリ

三、且軍事材料ハ多ク外國ニ之ヲ仰キ又中國經濟ノ中心タル上海ノ如キモ未タ完全ニ中國ノ統治權行ハレサレノミナラス消息ニ依レハ日本ハ軍艦五十隻ヲ同方面ニ派スル趣ナレハ金融ハ全ク崩壊スヘキヲ以テ全國總動員ニテ實力ヲ培

養シ十年八年後ニアラサレハ對外強硬ヲ唱へ得ス云々
公使ヨリ上海、漢口へ轉報ヲ請フ
公使、北平、奉天、哈爾賓、天津、青島、濟南、南京へ轉
電セリ

730 昭和6年10月10日 在天津田尻総領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

各種団体の排日決議も具体化せず対日貿易に
影響なき旨について

天津 10月10日後発
本省 10月10日後着

第三八三號

當地省市當局ハ引續キ民衆ノ取締ヲ爲シ市黨部方面ヨリ本
十日市民大會開催方強硬ニ主張シタルモノ之ヲ許可セザリシ
程ニシテ各種團體ノ會合及排日決議等引續キ行ハレ居ルモ
殆ト具体化シタルモノナク輸出入貿易共未タ左シテ影響現
ハレス又兎角大袈裟ナル新聞報道アルニ拘ラス實際ニハ通
行證アル貨物ハ支障ナク荷動キアル處(尤モ新規輸入契約
ハ寧ロ日本側ニ於テ手控ヘシ居ル爲事變以來大シタルモノ

會ニテ封印ヲスル爲恐慌ヲ來シ約定品ノ解約ヲ申シ出ツル
者多シ

又當地邦商ニ於テハ排日或ハ賣込上ノ便宜ノ爲是迄時ニ外
商ヲ通シ商ヒヲ爲シ來レルモ最近排貨ノ組織的且峻烈トナ
ルニ及ヒ華商怯エ外商トノ約定ニ對シ一、絕對ニ日本品ニ
非サルコト二、產地證明、送狀其他一件書類提出ノコト三、
引取品カ若シ日本品ニシテ沒收差押其他諸事故發生スル時
ハ損害賣手負擔ノコト等ノ條件ヲ主張シ居ル爲新規商談出
來サルノミカ既約定品迄解約ヲ餘儀ナクセラレツツアル有
様ニテ目下ノ處邦品ハ工部局、電氣、電話、電車會社外ハ
取引全然杜絶シ東洋品ハ一割乃至一割五分高ノ英米品ヲ註
文、事業ニ依リテハ作業ヲ一時中止セルモノアルカ如シ最
近注目ニ値スルハ英國品ノ進出ニシテ磅貨下落ト經濟絶交
ノ好機ニ乘シ獨逸品ニ入り替り活躍シツツアルコトナリ

732 昭和6年10月16日 在厦門三浦(義秋)領事より
幣原外務大臣宛(電報)

厦門官憲ノ抗日運動取締りおよび日本人保護
の状況について

ナシ)天津錢莊公會ノ左記決議ハ之ヲ實行スルニ於テハ對
日貿易ノ致命傷トナル次第ニ付特ニ反響注視中ナリ
(一)日商ト直接又ハ其買辦ヲ通シテ取引ヲナサヌコト
(二)日貨取扱商ニ對スル資金ノ融通ヲ停止スルコト
(三)日本各銀行紙幣ヲ一切收受セサルコト
(四)日貨ヲ擔保トスル貸付ヲ行ハサルコト
尙經濟絶交委員會ハ九日土產棉花ノ日本向輸出又ハ日商人
へノ賣却ヲ禁スル旨同業公會ニ通告セリ
支、北平、奉天、青島ニ轉電セリ
支ヨリ上海、南京ニ轉報アリタシ

731 昭和6年10月14日 在上海橫竹商務參事官より
幣原外務大臣宛(電報)

日貨排斥が組織的且つ峻烈となり取引杜絶の
状況について

上海 10月14日後発
本省 10月14日後着

商第七三號

本邦品タル銅板、眞鍮板、電線等ノ華商手持品ニ對シ抗日

厦門 10月16日後発
本省 10月17日後着

第一〇〇號
往電第九四號ニ關シ

(一)其後當地官憲ノ抗日運動ニ對スル取締振りハ依然嚴重ヲ
極メ從來ノ例ニ反シ頗ル徹底的ニシテ抗日諸團體並ニ學
生團ノ裏面策動乃至決議ハ屢行ハルルモ殆ト具体化スル
ニ至ラス今日迄ノ處民衆大會游行乃至糾察隊ノ活動等ハ
全ク行ハレス一時現ハレタル反日標語ノ貼紙傳單ノ撒布
モ今日ニ於テハ殆ント見當ラサル狀況ニテ船ノ荷役舢板
ノ渡船モ依然支障ナク行ハレ又義勇軍ハ建築工會學生等
ヲ中心トシテ登記數二千ニ達スト稱セラルルモ未タ具体
的活動ヲ開始スルニ至ラス新聞紙モ時局ニ關スル上海電
報ハ相當熾シニ掲載スルモ其他各地ノ排日運動ノ通信類
ヲ掲クル程度ニテ所謂毒筆ヲ弄スルコト比較的ニ少シ
(二)邦人保護ノ手段モ相當周到ニ講セラレ厦門側ニ於ケル邦
人商社住宅附近ニハ目立タサル方法ニテ多數ノ私服隊ヲ
晝夜ノ別ナク配置シ萬一ノ警戒ニ任センメ居リ又臺灣人
ニ對シテハ特ニ意ヲ用ヒ其取扱振りヲ寛大ニスルト同時

ニ所謂臺灣人武力派ノ動靜ヲ極力監視警戒ヲ加ヘツツアリテ今日迄ノ處邦人關係ノ事故ハ未タ全然發生シタルコトナキ状態ナリ
支、北平、奉天、天津、南京、廣東、福州、汕頭へ轉電シ香港へ暗送セリ

733 昭和6年10月16日 在厦門三浦領事より 幣原外務大臣宛(電報)

漳州、泉州等奥地においては排日運動自由放任の状況について

厦門 10月16日後発
本省 10月17日後着

第一〇二號

厦門ノ治安ハ既電ノ通ナルカ之ニ反シ漳州泉州等ノ奥地方面ニテ大遊行宣傳等盛行ハレ殊ニ厦門ニ於テ活動ノ餘地ナキヲ看取セル職業的排日屋ハ續々奥地ニ向ヒ策動シタル爲日貨ノ排斥徹底的ニ行ハレ日貨ヲ發見次第燒却又ハ沒收スルト同時ニ關係支那商ヨリ原價額ノ二倍三倍ノ罰金ヲ徴シツツアル有様ナリト言フ之等奥地地

ニ反シ取引上受ケタル打撃ハ甚大ニシテ

(一)三井ノ如キハ九月下旬滿洲事件發生後ニ於ケル取引減少高ハ例年々額ニ比シ八萬六千餘元ナルカ九月一日以降ノ約定品ニシテ支那商ノ申出ニ依リ積出ヲ中止シタルモノ總額百三十萬元餘ニシテ十月ニ入りテハ新規約定ハ一文モ成立セス又今後モ全然見込ナシトノコトナリ右ハ當地ニ於ケル輸入品ハ地元ノ消費高ハ極メテ少量ニシテ大部分奥地向ノモノナルカ往電第一〇二號ノ通り奥地ニ於テハ激烈ナル日貨排斥ノ爲此方面ニ對スル荷動キ全然杜絶セルト目下厦門ニ於テハ荷役ハ行ハレ且糾察隊ノ活動ハナキモ何時迄此状態ヲ持續スルヤモ計リ難キノミナラス從來ノ排日ト異リ時局ノ前途暗澹トシテ全然見當付カス大ナル不安ニ驅ラレ居ルニ依ルモノト觀測セラル三井以外ノ地元問屋筋(臺灣人ヲ含ム)モ全部取引不能ニ陥レリ

小賣商人ノ方面ニ於テハ糾察隊ノ組織ハナキモ時局柄多數民衆ハ本邦人店舗ニ出入スルヲ嫌フ爲自然取引激減シ賣行平常ノ三分ノ一ニモ及ハサル苦境ニ陥レリ
(二)大阪商船ニ於テハ荷役ニハ支障ナキモ九月廿九日ノ鳳山

方ニ於テハ厦門ノ如キ特殊ノ事情ナキ關係モアリ排日運動ハ自由ニ放任セラレ居ル結果ト認めラル目下密偵ヲ派シ的確ナル情報蒐集中ナルモ不取敢前電ノ通轉電及暗送セリ

734 昭和6年10月16日 在厦門三浦領事より 幣原外務大臣宛(電報)

三井は奥地排日の影響により荷動き杜絶小売りも売上三分の一の状況等について

厦門 10月16日後発
本省 10月17日後着

第一〇三號

支那時局カ今日迄當地邦人側ニ及ホセル影響ヲ見ルニ往電第一〇〇號ノ通り支那側官憲ノ取締嚴重ナル爲市面ハ大體ニ於テ平靜ニシテ邦人一般ニ於テモ不安ヲ感シナカラモ日常生活ニ不自由ヲ感セサル程度ナルカ旭瀛書院(臺灣人小學校)生徒ノ約半數二百五十名ノ支那人子女ハ依然平常通り通學シ居リ又厦門病院ノ支那人患者ノ來院振リモ何等變化ナク從來通り奥地ヨリ來ル者モ減少セサル状態ナルカ之

丸ノ千三十噸十月九日ノ日東丸カ三百噸ヲ最後トシテ内地ヨリノ荷動キ杜絶セル爲神戸廣東線ノ日東丸及甲子丸及南洋航路ノ「タコマ」「シヤトル」「パナマ」三船ノ厦門寄港ヲ中止シ命令航路タル廣東鳳山「デリー」ノミヲ當地ニ運航スルコトナレリ尙商船倉庫ニハ約五百噸ノ綿布アルカ力引渡困難ナリ

(三)臺灣銀行ノ預金減少高ハ奉天事件發生當時ニ比シ約十五萬元ニ過キス業態比較的良好ナルカ内地ヨリノ荷動キ杜絶セル爲手形關係上ノ影響ハ今後ニ於テ必然發生スヘキ運命ニ在リ

(四)尙全閩日報ノ購讀減少ハ市内及奥地ヲ通シ約五百部ナルカ支那商ノ廣告ハ殆ト全減シ且又幹部級支那人記者二名十月八日退社スルニ至リタル爲編輯上多大ノ困難ヲ感シ朝刊八頁ヲ四頁ニ減少スルノ止ムナキニ至レリ
前電ノ通り轉電及暗送セリ

735 昭和6年10月17日 在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)

交通部天津港政局が排日救国会における諸決議

の遵守を訓令との報道について連盟局長宛通報

上海 10月17日午後
本省 10月18日前着

第一一五四號

本使發聯盟局長宛電報

第六號

往電第五號ニ關シ

交通部天津港政局ハ天津邦商一運輸業者ニ對シ九月二十二日附ヲ以テ排日救國大會ハ民國人ヲシテ日本船ニ乗ラス日本船ニ貨物積込ヲ爲ササル旨決議セルニ付右良ク遵守スヘキ旨訓令シ來リタル旨報道アリタル處右ハ反日運動ニ官憲カ關係セル事例トシ特ニ重要視スヘキモノト思考セルニ付爲念同地總領事ニ確メシメタル處右ハ事實ニシテ港政局ハ該邦商ヲ民國商ト誤解シ訓令シ來リタルモノナル趣ナリ又上海ニ於テ九月十九日ヨリ十月十五日迄ニ邦人ノ民國人ヨリ暴行投石等(重、輕傷ヲ負ヒタル者多シ)ヲ受ケタル者五十六件ニ達シタリ
大臣在米大使へ轉電シ南京上海へ轉報セリ

736 昭和6年10月17日 在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

排日による打撃深刻にして特に小資本商工業者の被害甚大について

上海 10月17日午後
本省 10月18日前着

第六八四號

往電第五四六號ニ關シ

抗日運動ノ我通商ニ對スル打撃ハ同運動ノ益々深刻且全般トナレルニ伴ヒ愈甚シク今ヤ當地方邦商ハ邦人相手ノ小賣商人以外殆ト營業休止ニ等シキ状態ニ立至レリ殊ニ資本金小額ナル商工業者ハ漸次窮境ニ陥リ業務ノ縮小又ハ休止廢業ヲ爲ス者漸ク現レ來リツツアリ
一、紡績工場ハ何レモ引續キ運轉シ居リ職工ハ内々抗日運動ニ參加シナカラ全体的工場閉鎖ヲ恐レ却テ良ク働ク爲出來上リ高ハ平時ヨリモ増加スル様ノ次第ナルカ製品ノ賣捌ハ當地ニテハ全然ナク他地ニ向クモノ全体ノ二割位アル以外ハ全部「ストック」トナル爲假令資金關係ニ於テ何等問題起ラストスルモ倉庫其他ノ關係ニテ來月一杯ヲ漸ク維持

シ得ル位ナリトノ見込ヲ爲スモノ多シ

二、輸入貿易品ノ大宗タル綿糸、綿布、砂糖、紙類、雜貨ハ何レモ全然休業状態ナリ新規賣約ナキハ勿論既約品ノ引渡モ不能トナリ海産物ノ如キハ荷渡ナキノミナラス却テ既ニ引取リタル品ノ賣残りヲ返戻シ來ルモノアリ

三、石炭、工業藥品等ハ必需品ナル故ニ排貨ノ除外例タリシモ之等モ漸次受渡ニ不便ヲ來シツツアリ中國陸軍關係筋ニテ軍需品トシテ硫酸硝酸ノ買付ヲ邦商側ニ持來リ邦商側ヨリ斷ハラレタルモノアリ中國商方面ニテモ經濟絶交ノ爲ニ相當打撃ヲ受ケ來リツツアルノ事實漸ク現ハレ來レリ

四、輸出品タル麩、菜種、棉實粕等ハ本邦ニ向クルヨリ外ナキ爲中國商ハ荷渡ヲ希望シ居ルモ運搬途中ノ妨害及商人自身ニ對スル脅迫ノ爲荷動キナシ麩ノ如キハ處分ニ困ル爲中國商人側ニ於テ其内便法ヲ講シ來ルヘシト觀測セラル

五、銀行並ニ汽船業者ノ買辦ノ辭職ハ各其營業機能ヲ著シク妨害シツツアリ殊ニ土地柄特殊ナル通貨ヲ取扱フ銀行トシテハ買辦無シニハ業務ヲ繼續シ得サルカ如キ實狀ニシテ又中國錢莊並ニ銀行カ「ネーテイーヴ、オーダー」ノ支拂ヲ拒否シ或ハ弗銀ノ賣渡ヲ拒絶スルカ如キ手段ニ出ツル爲

業務著シク閑散ナリ日清汽船ハ貨客激減ノ爲定期航行ヲ休航スルモノアルニ至レリ

六、各種工場ノ職工ハ紡績ト異リ他ヨリノ誘惑ニ依リ漸次惡化シ怠業又ハ物品ヲ盜ム等ノ行動ニ出ツル者多クナリ且資金關係ヨリ維持シ得サルモノ續出シ就中職工傭人以下ノ捺染、印刷、護謄、瑛瑯鐵器等ノ最近開業セル各種小工業ハ一時閉鎖シ又ハセントスルモノ鮮カラス

七、中國人相手ノ小賣商ハ營業全然ナク中國人店員ニシテ脅迫ニ遭ヒ退去スル者續出シツツアリ
北平、天津、奉天、青島、濟南、漢口、南京、廣東、香港ニ轉電シ公使ニ轉報セリ

737 昭和6年10月23日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

排日對抗の報復手段等につき意見交換のため青木大藏省國庫課長の上海立寄り希望について

上海 10月23日午後
本省 10月23日前着

第一一八〇號(極秘)

往電第一一七二號ニ關シ

排日對抗ノ報復手段トシテ支那銀行ヲ壓迫スルコトハ(預金取付ノ外所有公債ノ利用其他ノ方法ニ依リ)相當ノ效果アルモノナリトテ當地専門家ノ間ニ研究シ居ル處此等ノ問題ニ關シ此際大藏省當局カ目立タル方法ニテ當地ニ出張シ意見ヲ交換スルコト必要ナルヘク就テハ今回出張セル青木國庫課長カ歸途當地ニ立寄ラレハ至極好都合ナリト存セラルルニ付右様取計方大藏省ト御打合ノ上何分ノ儀御回電ヲ請フ
奉天へ轉電セリ

738 昭和6年10月23日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

日本人窮民の暴力団化憂慮せらるるにつき生活補助費および帰国旅費支出方詮議ありたきについて

上海 10月23日後発
本省 10月23日後着

第七二〇號

往電第六九七號ニ關シ

北平、漢口へ轉電セリ
支へ轉報セリ

739 昭和6年10月24日

幣原外務大臣より
在上海村井總領事宛(電報)

時局に因る日本人窮民救護費支出方に関し政府財政困難の折衷請の取扱い困難なる事情について

本省 10月24日後7時15分発

第一八三號(暗)

貴電第七二〇号ニ関シ

貴地ノ事情及民團側ノ申出ハ当方ニ於テモヨク諒察シ得ル所ナルモ今次事變ニ因ル困窮者救護ニ関シテハ往電合第八三四号ニ対スル各館報告ノ出揃フヲ待チ各地ノ分ヲ一括シテ救護費支出方請求ノ手筈ニシテ今回ハ要救護者ノ範圍モ廣ク從テ救護費モ嵩ムヘシト豫想セラル、モ政府ノ財政状態ニモ鑑ミ前回同様ノ基準ニ依リ難カルヘク且銀安ノ關係モアリ全然前例通りニスル必要モ無キ様認メラレ目下折角方針考究中ナルカ右決定前貴地限り御稟ノ如ク特別ニ取扱フコトハ此際困難ナルヲ以テ往電合第八三四号要救護者ノ

昭和二年ノ事變ニ際シテハ時局ニ依ル窮民ニ對シ現地ニ居留スルモノニハ生活補助費ヲ又歸國スルモノニハ旅費ヲ給與セラレタルカ今次既ニ日常ノ衣食ニ窮スルモノ續出シ之ヲ放置セハ抗日會ニ對スル憎惡復讐ノ念ニ驅ラレ如何ナル所業ニ出ツルヤモ計ラレス(之等窮民中抗日會員ニ反撃ヲ加フル事ヲ目的トスル暴力團ノ如キ團體ヲ組織セント企圖シタルモノ數組アリ嚴重監視中ナルカ例ノ「ポスター」剝キノ如キハ此ノ手輩ノ所爲ナリ)憂慮セラルルニ付民團ヨリ申出ノ次第モアリ臨機ノ處置トシテ至急救濟ヲ要スル窮民ニ對シテハ前回ノ振合ニ準シ生活補助費及旅費ヲ本官ヨリ貸與スル形式ニ依リ立替支給セシムル事ニ取計ヒ置キタルニ付テハ事情御諒察ノ上右ニ要スル費用トシテ差當リ一萬五千圓支出方御詮議相成度シ

尙前回ハ保護送還者百三十一人ニ對スル旅費二千五百七拾弗被生活補助者六百人ニ對シ八千拾五弗計一萬五百八拾五弗ヲ要シ生活補助ノ最長期間ハ三ヶ月ナリシカ今回ハ期間相當永カルヘク又人口ノ増加旅費ノ金勘定等ノ事實モアルニ依リ前記金額ハ之等ノ點ヲ考慮ニ入レ期間ハ大体五、六ヶ月分トシテ見積リタルモノナリ

數及家族關係等御回報ヲ俟テ何分ノ詮議致スヘキニ付右往電ニ關スル調査至急回電アリタシ
支へ轉報アリタシ北平漢口へ轉電セリ

740 昭和6年10月24日

在天津桑島總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

反日救国連合会の活動により排日貨深刻化の様様について

天津 10月24日後発
本省 10月24日後着

第四三三號

反日救國聯合會ハ二十三日ノ會議ニ於テ(一)對日經濟絕交委員會ノ行動ハ極メテ緩漫ニシテ毫モ實績ナキニ付即時同會ノ工作ヲ停止セシメ本會ニ於テ積極反日工作ニ當ルコト(二)二十八日迄ニ凡ユル日貨ノ封鎖ヲ實行スルコト(三)日貨ノ輸入ヲ禁シ輸出貨物ハ日本ニ賣ラサルコト尙(四)手持日貨ノ處分方法ハ別ニ之ヲ定ムルコトヲ決議シ即時各方面團體ニ通告シタルカ本二十四日ニ至リ之カ影響ト覺シク約定日貨ノ引取ヲ肯セサルモノ相當アリ右ハ上海方面ヨリノ煽動ニ起

因スルモノト觀察セラルル處當方面ノ排貨ハ俄然深刻化シタル次第ニシテ折角對策手配中ナルモ成行憂慮セラル支ヨリ南京、上海へ轉報アリタシ
支、北平、奉天、青島へ轉電セリ

741 昭和6年10月25日 在漢口坂根總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

地方官憲による反日運動取締には限界あるに
ついて

漢口 10月25日後発
本省 10月25日後着

第七五二號

當地反日運動並對日經濟絕交彈壓方ニ關スル本官ノ公文ニ對シ昨廿四日行營主任兼省政府主席何成濬及漢口市長ヨリ夫々回答越セルカ何レモ邦人ノ生命財產ニ對シテハ充分責任ヲ以テ保護ヲ加フヘシトノ趣旨ヲ強調シ居ルノミニテ本官公文ノ「ポイント」ヲ避ケ居リ又往電第七三三號ノ懲戒奸民條例ニ對スル本官ノ詰問の公文ニ對シテモ何成濬ハ同答文中ニ於テ右ハ「愛國心理」ニ基キ武漢人民力相互間ニ

排日を企画について

天津 10月27日後発
本省 10月27日後着

第四三九號

往電第四三八號ノ通救國聯合會ニ於テハ絕交委員會ノ接收成功セザリシモ反日工作ノ實權ヲ其手ニ收メンカ爲市黨部ノ庇護ヲ得テ頻リニ市商會ニ對シ壓迫ヲ加ヘ且ツ徹底的日貨排斥ノ即時實行ヲ迫リ遂ニ聯合會監視ノ下ニ二十七日商人代表會議ヲ開催セシメ

(一)二十八日ヨリ全市ノ日貨ヲ封鎖シ販賣運搬ヲ停止セシムルト共ニ對日輸出入ヲ禁止ス

(二)大商店及倉庫ニ在ル日貨ハ商會ニ於テ封鎖シ其處分方法ハ別ニ之ヲ定ム

(三)市中各小賣商ノ店頭ニ在ル日貨ハ検査ノ上十戸乃至三十戸分ヲ一個所ニ集メ封印ヲ施シ監督ノ上賣却セシム

(四)検査隊ハ現在ノ一隊ノ外更ニ二隊ヲ増加シ工人及學生ヲ以テ擔任セシム全市ヲ十三區検査區ニ分チ別ニ二十二ノ分所ヲ置ク

旨決議セシメタル趣ニシテ尙新聞報道ニ依レハ右封鎖ニ當

規約トシテ定メタル字句ニ過キサルヘシトノ苦シキ説明ヲ爲シ本國法律上人民ハ集會結社及言論ノ自由ヲ有スル以上餘リニ過度ノ彈壓ヲ加フルコトモ出來兼ナル次第ナルカ萬一越軌行動ヲ敢テスル向アリテ地方ノ治安ニ影響アリト認ムルニ於テハ極力取締ルヘキ旨陳辯シ居ル有様ニテ當地官憲トシテハ以上ノ言明ヲ爲スコトハ現在ノ立場上出來サルモノノ如ク結局中央黨部ヨリ地方黨部ニ對シ黨員ハ一切ノ反日運動ニ關與スヘカラサル旨並ニ反日機關ヲ解散スヘキ旨嚴命シ來ラサル限り地方官憲トシテハ黨部ヲ背景トスル反日運動ノ根本ニ完全ナル取締ノ手ヲ伸フルコト能ハサルヤニ認メラル

公使ヨリ上海へ轉報シ北平、天津、奉天、廣東、南京へ轉電アリタシ
例ノ通り暗送セリ
支へ轉電セリ

742 昭和6年10月27日 在天津桑島總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

救国連合会が反日運動の実権を握り徹底的な

り事端ノ發生ヲ防止スル爲巡警立會フヘシトノ事ナルヲ以テ公安局ニ對シ重ネテ嚴重抗議スルト共ニ斯ル不法決議ノ實行ヲ阻止シ聯合會ノ如キ非法團體ヲ速ニ解散セシメラレ度旨要求セル處同局ニ於テハ巡警ヲ附添ハシムルカ如キハ絕對ニ無ク又右決議ニ對シ直接高壓的手段ヲ加フルハ却テ民衆ノ反撥の心理ヲ唆ル惧アルニ付至急商會側ト協議シ日支商民ノ營業ヲ阻害セサル様辦法ヲ講スヘキ旨言明セリ
公使ヨリ南京、上海へ轉報アリ度シ
支、北平、奉天、青島へ轉電セリ

743 昭和6年10月28日 在漢口坂根總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

經濟断交運動による漢口日本商への影響報告

漢口 発
本省 10月28日後着

第七六二號

往電第七五四號ニ關シ

今次經濟絕交ニ依リ當地邦商ノ受ケタル主ナル影響今日迄ノ處左ノ通ナリ(當分公表ヲ見合ハサレタシ)

一、船舶

(イ) 日清汽船

貨物ハ輸出入ヲ通シテ九割減少荷主ハ平素支那人五割日本人三割五分外國人一割五分ノ處昨今支那人ノ積荷皆無トナリ日本人及外國積荷亦何レモ五割以上減退セリ
船客收入ハ乗客ノ大部分ヲ占ムル支那人ノ乗船皆無ノ爲九十九「パーセント」減ヲ示セリ

右ノ結果宜昌重慶線(配船三隻)常德線(二隻)上海宜昌線(二隻)ノ三定期航路ヲ廢止セリ漢口宜昌線ノ配船ハ既二三隻中一隻ヲ減シタルモ上海漢口線、長沙漢口線モ追テ配船數減少ノ外ナシ

(ロ) 郵船(貨物ノミ)

荷主ハ平時外國人七割五分支那人二割日本人五分ノ割ナルカ外國人荷主ハ排日以來「トラブル」懸念ニテ積荷ヲ控ヘ七割減支那人ハ皆無日本人ハ取引ノ妨害ヲ受ケ其積荷激減シ結局平素ノ收入ノ二割減シ當地ニ於ケル運賃ノミノ損失一箇月約十萬弗

(ハ) 近海郵船(同上)

毎月四千噸級ノ船舶五隻ヲ以テ營口又ハ大連ヨリ石炭ヲ輸

當地輸入品中石炭ノミ殘シ他ノ日本品ハ全部抵制セラレ本邦ヨリノ重要輸入品タル綿布糸、紙、海産物、金物類、護謨製品、砂糖ハ全然商談無キハ勿論在庫品モ庫出し出來ス中國商ハ救國會ノ私刑ヲ恐レテ邦商ニ寄り附カス既約品ノ約定ヲ全部破棄セリ

輸出品ハ又「マンガン」鑛「アンチモニー」胡麻、牛骨、穀肥、豚毛等ハ現在輸出ノ妨害無ク出廻リサヘアラハ輸出シ得ルモ水災後鑛石類及麻以外ハ出廻リ減少セル上金融ノ不便ニ禍ヒセラレ各商店トモ業務激減セリ土産棉花ハ當地中國人組合ニテ手合セテ肯セサル爲輸出不能ナリ

(イ) 棉花(日本棉花東洋棉花其他三社) 現在土産棉花出廻期ニテ例年一ヶ月平均日本棉花扱平均五千俵(一俵百二十二兩替)其他各社扱五千俵計一万俵(大部分上海へ積出し)ノ取引アル筈ナルモ水災ニ依ル手廻リ減ト

排日ノ爲各社トモ取引皆無トナリ米印棉ハ市場ノ買氣旺盛ナルカ邦商ノ手ニハ賣レス平素日本棉花扱月五千俵(百三十兩替)其他各社扱一万俵ニテ計一万五千俵ノ減少之ヲ土貨品輸入品何レモ二兩ノ利益ト見テ五萬兩ノ損失

入シ大治ニテ鐵鑛ヲ積取り若松ニ仕向クルモ排日以來積荷ナキ爲本月初旬ノ二隻ヲ最後トシテ入港セス月約六萬圓ノ運賃ヲ損失

二、金融

錢莊ハ九月末對日金融絶交ヲ宣言シ各支那人銀行ハ組合ノ決議ニ依リ十月六日取引拒絶ノ通告ヲ邦人銀行ニ發シ來リ莊票ノ取立及邦商關係手形ノ交換決濟ヲ技術上不能ナラシムルニ至レリ

(イ) 正金

主要業務ハ輸出入手形ノ割引ニ在ルモ輸入ニ於テハ對日貿易商ノ先物取引ノ破棄、藥品ノ取引拒絶及現品買付ノ全廢ニ依リ新規銀行取引皆無トナレリ輸出ニ於テモ水災ノ影響ニ依リ土貨ノ出廻リ少ク加フルニ排日ノ爲之力引渡シ困難トナリ荷爲替殆トナク目下僅ニ既ニ到着セル土貨ノ代金決濟多少アルノミ

(ロ) 平素輸入手形五割輸出手形五割ノ割ナルカ排日ノ爲前者ハ皆無トナリ後者ハ半減シ結局業務ハ目下ノ處四分ノ一二減シ居レリ

(ハ) 輸入品業

(ロ) 綿布

輸入額ハ日本棉花扱月平均一千俵他社扱一千五百俵計二千五百俵見當(四百兩替)ナルカ何レモ全然杜絶各社在荷綿布千俵(大部分契約品)各社未到着品二千五百俵アル處何レモ契約破棄ノ形ニテ運賃、金利、倉庫料等ノ諸掛リ全損トナリ其上將來ノ懸念ニテ相場三割五分下リ爲替百六十兩トシテ十兩ノ六分下リ計四割一分ノ値下リ丈ケノ計算ニテモ五十七萬四千兩ノ損失

(イ) 綿糸輸入額ハ日本棉花扱月平均二千俵(泰安紡績製品ヲ含ム)他ノ各社扱一万俵見當ナルカ何レモ全然杜絶各社在荷三百俵各社未到着品五百俵計八百俵何レモ取引ヲ拒絶セラレ價格十四萬四千兩トシテ三割見當ノ値下リアル爲四萬三千兩位ノ損失

四、製造業

(イ) 泰安紡績販賣杜絶シ一月約三十萬兩ノ綿糸布堆積利息ノ損失大ナリ

(ロ) 日華製油爲替取組不能ノ爲奧地ニ於ケル棉實ノ買付不能トナリ一月約一萬兩ノ欠損

五、其他ノ參考事項

雜貨取扱業者中三井、三菱、大倉、岩井、吉田等ハ何レモ業務閑散ヲ極メ居ル處個人商店中資本金僅少ノ向ハ資金難ノ爲店費ノ出所ニ窮シ居ル有様ナリ
公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ
例ノ通暗送セリ

編注一 「技術」の箇所に「事実」との書き込みあり。
編注二 「藥品」の箇所に「既約」との書き込みあり。
編注三 「手」の箇所に「出」との書き込みあり。

744 昭和6年10月29日

在天津桑島總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

天津における排日運動の影響につき報告

天津 10月29日後発
本省 10月29日後着

第四四四號

排日影響概要左ノ通

(一)輸入ハ洋紙類變リナキモ多數積止メアル爲綿布、麥粉、砂糖、海産物、雜貨等ハ大口ノモノ減少シ阪神積荷三割京

商会、市党部および反日救国連合会の協議による店頭日貨封鎖決議について

天津 10月29日後発
本省 10月29日後着

第四四五號

往電第四三九號ニ關シ

日貨取扱商人側ノ反對及市當局ノ干渉ニ依リ日貨封鎖ハ未タ實行ヲ見サルモ本廿九日ノ情報ニ依レハ商會市黨部及聯合會協議ノ結果(一)商人ニ於テ自發的ニ倉庫ニ在ルモノハ三十日限り又店頭ニ在ル分ハ三十一日限り封鎖シ尙後者ニ付テハ毎週一回報告ノ上検査ニ備フルコト(二)検査ハ商會聯合會立會ニテ爲スコトニ纏リ又聯合會ニ於テハ學生五百人ヲ百隊ニ分チ右検査ニ當ラシムルコトヲ決議シタル由ニシテ引續キ市政府等ニ對シ百方交渉中ナルカ未タ荷動キノ見込立ツニ至ラス

尙本日第三特別主任盧錄カ署長ニ内話スル處ニ依レハ最も強硬ナル反日主張者ハ市黨部ノ劉不同ニシテ本日モ自分ヨリ緩和方説得ニ當ル筈ナルモ何分ニモ學銘力事態ノ真相ヲ究メス且威壓ヲ加フルヲ欲セサル爲豫期ノ如キ效果アリヤ

濱五割減り輸出ハ未タ影響見ヘス
(二)本邦船ニ依ル沿岸航路及歐米行支那人貨物皆無ニシテ大阪商船日清大連汽船等五割乃至九割方ノ打撃ヲ受ケ國際運輸ハ上海航路船三隻ノ内二隻ヲ廢止セリ荷役ハ無事
(三)倉庫ハ二十四日以來荷動キナキ爲滯貨增加大連倉庫ハ滿腹ナリ
(四)正金、朝鮮銀行共輸入爲替ノ決済停頓シ信用狀發行減少セル模様
(五)護謨靴、瑛瑯鐵器等工場ハ一般ニ操業短縮東亞煙草ハ二十八日ヨリ十一月三日迄休業三友燐寸モ休業ノ豫定
(六)支那商トノ卸取引殆ト絶無支那人相手ノ小賣商ハ五、六割減少
(七)邦人病院ノ支那人外來患者五割減
(八)邦人取扱戰時保險契約ハ事件以來四百萬弗ニ上レリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
支、奉天、北平、青島へ轉報セリ

745 昭和6年10月29日

在天津桑島總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

疑ハシ云々ト
因ニ學銘ハ過般來本官並ニ館員トノ面會ヲ避ケ居ル處一兩日中ニハ是非共會見シタク手配中
支ヨリ南京、上海へ轉報アリタシ
支、北平、奉天、青島へ轉報セリ

746 昭和6年11月5日

在天津桑島總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

張學良副司令行營より排日制止方訓令について

天津 11月5日後発
本省 11月6日前着

第四七六號

往電第四五九號ニ關シ

副司令部行營ヨリ當地ノ排日制止方訓令アリ依テ張學銘ハ二日市黨部、救國會、商會等ノ代表ニ對シ十六日迄ハ一切ノ反日運動ヲ停止スヘキ旨戒告シ尙公安局ニ命シ依然トシテ日貨ノ賣買ヲ押へ又暗殺隊ヲ組織シ居ルハ外交上日本ニ藉口セシムル虞アルニ付嚴重取締方命シタル由ニテ公安局ハ相當ノ苦心ト努力ヲ以テ取締ニ當リ居リ其後封鎖若ハ檢

查ノ事例ナキモ黨部及各團體ノ商人ニ對スル無形ノ壓迫止
マス尙省政府ニ於テモ排日軌外行動取締ヲ布告シタル由ナ
ルカ三日北洋大學義勇隊約五百名カ抗日運動幫助日貨検査
許可請願ノ爲政府ニ押掛ケタル際王樹常ハ「十六日ニ至ル
モ日本カ撤兵セサル時ハ本主席ハ其先ニ立チ反日工作ヲナ
スヘキ」旨諭シタリト傳ヘラレ又二日市黨部ノ接受セル訓
令ニ依ルモ「中央黨部及國民政府ハ東北失地接收委員會ノ
要求ニ依リ暫時反日工作ノ緩和ヲ容認セシカ右ハ東省回收
後再ヒ民衆運動ヲ回復センカ爲ナリ」トアル由ニテ各方面
共十六日ヲ目安トシ辛ウシテ工作擴大ヲ防止シ居ル實狀ト
認メラルルヲ以テ當館ノ折衝ニ拘ラス封鎖品ハ其儘ニシテ
從テ荷動キノ氣運モ見エス殊ニ一般民衆ノ對日感情ハ次第
ニ硬化シツツアル現狀ナリ
公使ヨリ南京、上海ニ轉報アリ度シ
公使、奉天、青島ニ轉電セリ

747 昭和6年11月11日 在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

日本人窮民救済問題は焦眉の急に迫られてお

及ぼしている影響について

上海 11月11日後発
本省 11月11日後着

第八〇〇號

⁽¹⁾上海ニ於ケル邦人紡績及其他ノ諸工業銀行保險及倉庫業ニ
及ホシタル排日影響左ノ通

(一)紡績

(イ)事變以來華商筋ハ出入ヲ停止シ既約品ノ引取ヲナササル
爲(契約取消等ノ處理ヲナサス又支那商ハ來店セサル爲
交渉モ出來サルニ付事變終了後解決スヘキ問題トシテ殘
サルヘキモ其時ニ至リ對手カ不利ナラハ取消ヲ主張スヘ
ク有利ナラハ引取ルコトトナルニ付此儘ニ棄テ置クコト
ハ取消以上ニ不利ナリト)

未引取貨物ハ九月中ニハ賣却品ノ約半數十月中ニハ其全
部即チ綿絲約五萬綿布約百二十萬擔(價格合計二千二百
餘萬兩ニシテ一ヶ月半分製品ニ相當ス)ニ達シ今後共在
庫品ヲ遞増スルニ至ルヘシ目下邦商筋カ一部ヲ引取リテ
犠牲的ニ國外輸出ヲナシ居レルニ過キス(平常ハ製品ノ
約二割ヲ國外へ輸出セシニ十月中ニハ綿絲ハ其製造高ノ

り稟請の額だけ前渡送金方要請

上海 11月11日後発
本省 11月11日後着

第七九九號

往電第七二〇號ニ關シ

貴電第一八三號ノ困窮者救護費ハ何時頃支出ノ運ニ至ルヘ
キヤ當地窮民救済問題ハ焦眉ノ急ニ迫ラレ居リ既ニ旅費ヲ
給シ歸國セシメタルモノ四十六名(往電第七九〇號所報)
アリ又當館ヨリ民團ヲ經テ生活費貸與ノ已ムナキニ至リタ
ル者四十四世帯(家族共百二十三人)アル處圓價ハ最近一
ヶ月内ニ二十七、八弗下落シ來ル十六日聯盟理事會開會ニ
當リ形勢日本ニ不利トモナラハ更ニ下落スル虞アルニ付當
地ニ振向ケラルヘキ救護費ハ多額ニ上ルヘキ事實ニモ鑑ミ
此際何トカ御繰合セノ上精算ハ後ニテ爲スコトトシ冒頭往
電稟請ノ額丈前渡送金方特ニ御詮議ヲ願度シ

748 昭和6年11月11日 在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

排日貨運動が在華紡・銀行・保險・倉庫業に

四割四分綿布ハ二割二分ヲ輸出セリ)

(ロ)抗日會側ハ工業附近ニ於テ集會又ハ遊行シ職工ノ出勤阻
止ヲナシ居ルモ工場内ニ於ケル職工ノ作業狀態ハ左シテ
平常ト變リナシ唯「ボイコット」ノ結果支那人紡績ノ全
運轉ト休業工場ノ急遽再開ニ依リ邦人工場側ノ職工ヲ引
抜カントノ策動漸ク盛シナリト

(ハ)⁽²⁾

原棉ハ支那棉ノ買付全然不能ニ付輸入一部印棉ニ依リ居
レリ從來之等原棉ハ舛ニテ水上運搬ナリシモ事件後解業
者ノ日貨排斥ト抗日會ヨリ沒收セララルル虞アル爲「トラ
ック」積トシ居ル關係上費用嵩ミ又従業員ノ食糧及用度
品等モ支那商ノ出入ナキ爲特別ニ購入スル等不利不便ヲ
忍ビテ現在尙操業シ居ルモ此ノ儘ニ推移セバ早晚操業縮
少又ハ停止ノ已ムナキニ至ルベシ

(ニ)各種製造工業

紡績以外ノ製造工業ニ付テハ邦人又ハ外人向ケ一部特殊
製品ヲ除キ一般ニ華商筋ノ注文皆無約定品不引取賣掛金
回收不能支那人ニ對スル脅迫等ノ困難ヲ招來シ(中華
染色公司ノ如キハ特殊ノ技術ヲ擁シ數百軒ノ支那人顧客
ヲ有セシ關係上支那ノ日貨抵制ニハ一回モ作業中止ノ厄

二逢ヒタルコトナキ程ノ特殊工場モ遂ニ休業セリ」諸工場ハ原料並ニ製品ノ手持ヲ抱ヘ金融ノ途モナク九月末頃ヨリ休業續出シ六十餘工業ハ既ニ閉鎖シ其ノ他ト雖操短シ居ルモノ鮮カラズ

(三)銀行

當地本邦商六大銀行ノ支配人「コンプラドル」ハ抗日會ノ脅迫ニ依リ十月初メ夫々退出シタルハ既報ノ通ナルカ經濟絶交以來輸入荷物ノ引取り杜絶セル爲關係手形ハ殆ト例外ナク延期トナリ自然新規ニ仕向ケラルルモノ寥寥タリ又輸出ハ當地ノ荷渡シ極度ニ困難トナリタル爲荷爲替殆トナシ預金或ハ小切手莊票ノ取引モ極メテ縮少セラレ中國錢莊中ニハ對邦人取引ニ付責任ヲ負ヘサル旨ノ條件附ニテ莊票ヲ發行スルモノアル現狀ニシテ日支双方ノ金融關係ハ半杜絶ノ狀態ニ陥リ居レリ當地金融爲替並金塊市場ニ於テハ邦人銀行ハ最も重要ナル役割ヲナシ當地市場ヲ牛耳リツツアリシニ排日ノ激化ハ右邦人銀行ニトリ甚大ノ影響ヲ及ホセルハ勿論外商及中國商ニモ相當影響シ最近ハ取引額平常ノ四分ノ一以下ニ激減シ市場ノ不振頗ル目立テリ

(四)保險及倉庫

當地排日狀況ハ其後大ナル變化ナシ諸新聞中「ボイコット」深刻化ヲ傳ヘ居ルモノアルモ事實日本品ノ取引ハ表面停止ノ狀態ナルモ裏面ニ於テ取引ニ甚シキ不便ナキ模様支那人米商筋ハ態度最も排日的ニシテ新契約ハ困難乍ラ全く不可能ニハ非サルカ如シ當局ノ取締振りハ依然嚴重ニシテ排日記事ヲ掲載セル漢字紙戒告煽動容疑者ノ檢束邦人住宅ノ警戒等ヲ怠ラサル爲一二邦人使用支那人ニ對シ脅迫狀配布ノ例アリタル外左シタル事故ナク十一日入港ノ邦船二隻ノ荷役モ支障ナシ

支ヘ轉電シ新嘉坡、西貢ヘ暗送セリ

750 昭和6年11月14日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

國民政府實業部が日本貨物の代替を推進について

上海 11月14日後發
本省 11月14日後着

第八一四號

今次排日運動ニ當リ國民政府實業部ハ熾ニ活躍シ居レルカ如ク其一端ヲ上クレハ同部ハ國貨提倡並ニ日貨識別ノ施設

從來ノ排日ニハ海上及火災保險ニ關シ華商筋ハ日本會社ノ證券ヲ公然所持スルヲ憚ル位ニ止マリ契約ノ取消等ノ事實ナカリシ由ナルモ今回ハ火災保險ニ於テ支那人契約者ヨリ解約ヲ申出ツルモノ相當アリ又滿期トナルモ續約セサルモノ目立チテ多ク又海上保險ハ十月ニ入りテ皆無

倉庫棧橋業ハ殆ト休業同様ノ不況ニテ入出貨ハ平常時ノ一割ニ減少セリト

巴里聯盟在米大使北平奉天天津青島漢口南京廣東ヘ轉電シ公使ヘ轉報セリ

編注 「配」の箇所に「那」との書き込み訂正あり。

749 昭和6年11月13日

在シヤム矢田部(保吉)公使より
幣原外務大臣宛(電報)

バンコックでは排日ボイコット深刻化が報道され
ているも裏面で日本商品取引されている旨報告

バンコック 11月13日後發
本省 11月14日前着

第五一號

トシテ(一)曩ニ當地ニアル實業部交渉訪問局及上海商品檢驗局ヲシテ中日貿易ノ調査所ナルモノヲ設置シテ徹底的日貨抵制並ニ補給方法ヲ講究シ且民間ノ諮問ニ答ヘシメ(二)國貨陳列館内ニ國貨並ニ日貨ノ商標展示會ヲ開催スヘク準備中ナリ他方日貨排斥ニ伴フ代用品補給方法トシテ(一)撫順炭並ニ日本炭抵制ニ依ル當地ノ石炭補給難緩和策トシテ曩ニ鐵道部ニ對シ膠濟線ノ石炭運賃引上ケヲ延期セシメ(二)細番手綿絲ヲ原料トスル人造絹絲製品取締者ニ對シ英國品又ハ二十番手ヲ代用シ得ヘシトテ英國品購買ノ斡旋ヲナシ(三)日本海產物ノ輸入防遏策トシテ沿海水產物ノ鹽漬ノ耐久製造方法懸賞募集ヲ爲シ居リ(四)其他硫酸製造工場細番手綿絲紡績機ノ擴張新聞用紙人造絹絲製造工場創設等ヲ計畫シ居レル趣ナリ

支ヘ轉報セリ

奉天、北平、天津、青島、南京、漢口、廣東ヘ轉電セリ

編注 「締」の箇所に「扱」との書き込み訂正あり。

751 昭和6年11月17日

在青島川越總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

山東鉄道沿線における排日貨も深刻化の様
なく却って一部対日輸活発化し日本人工場
も依然操業について

青島 11月17日後発

本省 11月17日後着

第二六三號

往電第二五七號ニ關シ

一、其後當地排日運動ハ別ニ惡化セス又一時氣遣ハレタル
沿線ニ於ケル日貨排斥モ特ニ深刻化セサル模様ナルカ(濟
南發大臣宛電報第二四三號ノ事例アルモ無事解決)本邦輸
入品ニ對スル先物商談依然ナク目先入用品ニ對スル引取及
小口實物取引カ弗々行ハレ居ルニ過キス本年九月下旬以降
最近迄ノ内地間定期船荷揚ハ合計一萬餘噸ニシテ昨年同期
ノ二萬餘噸ニ比シ五割強ノ減少ナリ尤モ目下ノ處稍多量ノ
香港糖ノ輸入アリタル外綿布、麥粉、紙、海産物、雜貨等
主要本邦輸入品ニ代ルヘキ外國品ノ特別ナル輸入ヲ見ルニ
至ラス安價ニシテ使ヒ慣レタル本邦品ニ對スル買氣ハ一般

商人間ニ相當根強ク潜在シ居ル如ク旁中國問屋筋ハ邦品買
入ニ望ヲ繫キツツ今後ニ於ケル聯盟ノ雲行等ニ對シ深甚ノ
注意ヲ拂ヒ形勢ヲ觀望シ居ル模様ナリ

尙海州方面ニテハ相當嚴重ナル日貨検査ヲ實行シ居ルモノ
ノ如ク最近同地ニ陸揚セル邦人工場製燐寸及撫順炭ニ罰金
ヲ課シ又ハ抑留セル實例アリ

二、奧地土産物ノ當地出廻リハ引續キ何等異狀ナキニ最
近天津方面へ出廻ルヘキ棉花迄カ當地ニ搬出セラレル様ノ
事情ニテ對日輸出ハ寧ろ平常ヨリ活況ヲ呈シ居リ最近出帆
ノ定期船ハ積殘ヲ見タル程ナリ

本年九月下旬以降最近迄ノ内地行定期船積荷ハ合計一萬七
千餘噸ニシテ昨年同期間ノ一萬一千七百噸ニ比シ四割五分
ノ増加ナリ

三、當地本邦紡績綿糸ハ本月ニ入り銀價騰貴ト滞貨ニ惱メ
ル紡績筋ノ賣進ニ依リ相場下落セル爲中國側思惑筋ノ出動
モアリ連日大商内行ハレ十六手ハ滞貨一掃ノ上期近物迄賣
盡サレ二十手及三十二手ハ滞貨半減シ全体トシテ滞貨約一
萬俵ニ減シタルカ昨今投賣一巡ニテ商内ナク且平常生産額
ノ三分ノ一ヲ占メ居ル移出ハ事件以來殆ト中絶シ居ル爲再

海行キ共中國側ノ貨客殆ト無ク、日本人ノ僅カナル積荷
アルノミナリ

大阪商船ノ臺灣天津線ハ往航ノミ當地ニ寄港シ居ル處中國
人ノ利用殆ト無ク空船同様ニテ入港シ居ルカ最近上海ヨリ
ノ輸出難ニテ麩ノ臺灣向積出力當地ニ擡頭シ居リ之カ爲會
社側ニテハ復航ヲモ當地ニ寄航セシムル意嚮アル模様アリ

阿波共同汽船ノ當地大連、芝罘間航路ハ大連行中國人乗客
ニ於テ多少減少ヲ見居ル外其他ハ貨客共殆ト平常ト異ラス
大連汽船ハ天津上海行共ニ中國人積荷無ク大連行亦激減シ

居レルカ大連行日本側積荷ハ殆ト平常ト異ラス亦中國人ノ
乗客ハ各方面行共依然平常ノ一割見當ニ減シ居レリ尤モ中
國人乗客ノ激減ハ時局ノ折柄一般ニ旅行控ヘノ爲ニシテ鐵

路ニ依ル旅行者モ特ニ増加シ居ラサル模様ナリ然シ英國ノ
沿岸航路汽船タル Indo-China Steam Navigation Co. 及
China Navigation Co. (共ニ天津、廣東、漢口)ノ船舶

及中國船舶ハ時局以來積荷増加ノ傾ニテ右英國船ハ最近増
配スヘキ模様ナリ

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ
公使、北平、奉天、天津、青島、漢口、廣東、南京、芝罘

七 排日ボイコット問題

ヒ滞貨ノ遞増ハ免レサルヘシ綿布ハ依然商内ナク滞貨ノ一
方ニテ目下六千俵見當ノ手持アル模様ナリ

四、今日迄ノ處當地邦人經營工場ニテ時局ノ影響ヲ受ケ閉
鎖シタルモノ無ク燐寸、石鹼、製材、靴底、染料等中國人
相手ノ工業モ排貨ノ影響ヲ受ケ、多少生産ヲ手控ヘナカラ
モ依然操業ヲ續ケ居レリ。

五、當地正金銀票ニ對スル兌換申出ハ未タ皆無トナラサル
モ右ハ正金票カ引キ續キ市中ニ流通シ居ル爲メニシテ正金
トシテハ別ニ問題トナシ居ラス。

六、當地邦人漁業ハ目下發動漁船三十九隻(當館許可隻數
四十二隻)操業シ居リ、漁獲物ノ賣行キ依然良好ニシテ中
國側漁業公司ハ極メテ不振ニアルカ如シ。

七、其後中國取引人ハ依然青島取引所ニ出入セサル處錢莊
ハ日本側丈ケニテ相當取引ハレ居ルニ付取引所側ハ關係
本邦人ノ協力ヲモ求メ成ルヘク經費ヲ節減シ持久策ヲ立テ
テ交易所ニ對抗シ營業ヲ繼續スル壯ヲ定メ居リ他面當館ハ
市政府ニ對シ交易所ノ出現見會セ方交渉ヲ繼續シ居レリ。

八、沿岸航行本邦船ニ於テ日清汽船ノ上海天津線ハ從來中
國人ノ積荷ヲ多ク取扱ヒ來レルモノナルカ事件以來天津上

へ轉電セリ

752 昭和6年11月19日 幣原外務大臣より
在上海村井総領事宛(電報)

日本人窮民救済費支出に關し鋭意努力中につ
き暫時しかるべく繰合せ置く様訓令

本省 11月19日 午前1時30分發

第一九三號(暗)

貴電第七九九號ニ關シ

居留民ノ救護費用ハ其他ノ事件費ト併セ目下豫備金支出方
極力手配中ナル處事變以來各種臨時應急ノ支出嵩マリ殊ニ
滿洲ニ於ケル避難及遭難鮮人救護費ノ如キ火急ヲ要スル分
ト共ニ本省ニ於テモ出来得ル限り差繰リ来レル為メ目下ノ
處之レ以上繰合ハセ融通スルノ餘裕無キニ至レル次第ニシ
テ豫備金支出ノ期日ハ今日ノ処明確ニ申進スルコト困難ナ
ルモ之ヲ速成ニ付鋭意努力中ナリ就テハ果次御稟請ノ次第
ハ充分諒察スルモ右支出ヲ得ルニ至ル迄暫クノ間可然御繰
合セヲ付ケ置カル、様致度

753 昭和6年11月20日 在天津桑島総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

天津事件後事態好転にともない荷動き開始せ
るも日本からの輸入は依然杜絶の状態について

天津 11月20日後發
本省 11月21日前着

第五七六號

往電第五六四號ニ關シ

事變以來ノ商況左ノ通

(一)本邦向輸出ハ殆ト杜絶セシカ支那側ノ防備一部撤去人心
稍鎮靜セル爲十九日ヨリ外國租界内倉庫入庫品ノ荷動き始
マリ二十一日分迄ノ商船近海郵船ノ積荷計千八百噸ノ見込
(主トシテ綿ニシテ常態ノ六割方) 事態好轉ト共ニ棉花種
子物類ノ輸出相當活況ヲ呈スヘシ

(二)本邦ヨリノ輸入ハ少量ノ雜貨洋紙等ノ外殆ト無ク常態ニ
比シ九割方ノ減少

(三)租界内邦人銀行ハ午前中二時間開店シ居リシ處來週ヨ
リ平常通り開業ノ豫定

(四)我租界店舗ハ十九日以來弗々開店シ二十日ニハ支那側

ニ接近セル部分ヲ除キ七割方開店セルモ未タ寂漠ナリ
支、北平、奉天、青島、濟南、南京へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

754 昭和6年11月23日 在中国田代(皖一郎)公使館付武官
より
二宮參謀次長宛(電報)

揚子江一帶の排日深刻化に鑑み時局特別委員
会の名義にて対策考究について

陸同文 昭和六 一一 二四

電報 一一 二三 后 六、〇發

八、三〇著

參謀次長宛 上海公使館附武官

支第八七三號(其一—三)

滿洲事件發生以來揚子江一帶ニ於ケル排日ハ日ニ日ニ深刻
化スル現狀ニ於テ單ニ一片ノ抗議ヲ以テ之ヲ根絶セシムル
カ如キハ到底不可能ナリトシ昨二十二日夜總領事官邸ニ於
テ公使代理トシテ林出書記官、總領事、陸海軍武官及実業
界ノ有力者七名相會シ時局特別委員會ナル名ノ下ニ之カ對
策ヲ考究セリ席上北岡大佐及小官ハ此際南京政府ニ對シ前

回警告ノ主旨ノ嚴重ナル実行ヲ要求シ尚且言ヲ左右ニシテ
應セサル場合ハ断然經濟封鎖ヲ行ヒ蔣介石及之ヲ圍繞スル
國民黨ノ勢力ヲ揚子江一帶ヨリ驅逐スルノ外ニ手段ナシト
主張セルモ外交官憲側及実業家側ハ經濟封鎖ハ多少ノ武力
ヲ行使セサルヘカラサルヲ以テ今直ニ之ヲ行フ時ハ列國ノ
猜疑ヲ招キ折角好転セル國際聯盟ノ空氣ヲ悪化セシムル虞
アルニ依リ先ツ支那側ノ經濟絶交ニ對シ報復手段トシテ大
連、營口、安東縣及青島ノ税関ヲ差押ヘ以テ上海支那財界
ノ「パニック」ヲ促進シ南京政府ノ財政的基礎ヲ破壊セシ
メ蔣驅逐ノ策ニ出ツルヲ可トスト主張シ今日以後其ノ専門
的研究ヲ行ヒ近ク公使ヲ經テ外務大臣ニ對シ意見ヲ具申ス
ルコトナレリ

本報復手段ノ効果ハ排日ト内債ノ暴落ニ依リ殆ント破産狀
態ニ類セル上海金融界ニ對シ致命的打撃ヲ與フルモノニシ
テ銀行側ノ調査ニ依レハ其効果ハ現狀ニ於テハ殆ンド絶對
的ノモノナル由尚昨二十二日特別委員會ニ於テ外務大臣ニ
對シ聯盟ノ調査委員ノ調査ハ單ニ滿洲ノミニ止マラス支那
全般ニ互リ之ヲ行フヲ要スル旨ノ意見ヲ具申スルト共ニ上
海ニ於テハ官民連合シ支那力断シテ近代國家形式ヲ具ヘサ

ルコト及國民政府現出以來ノ條約無視ノ狀況ヲ暴露スル爲
所有材料ヲ蒐集スルコトニ決議シ直ニ之ニ著手スルヲ以テ
若シ之ニ関スル材料アラハ至急送付アリタシ右参考迄
奉天スミ

755 昭和6年11月24日 幣原外務大臣より
在上海村井総領事宛(電報)

上海在留民の救護費は対象者に応じ支出し節
約方訓令

本省 11月24日後9時45分発

第二〇一號(暗)
貴電第七二〇號ニ關シ

十九日大毎貴地特電ハ今次事變ノ結果貴館ノ補助ヲ受ケテ
内地ニ引揚ケタル邦人六十家族現ニ貴館ヨリ生活補助ヲ受
ケツアルモノ百二家族總支出額七千圓ニ達シ補助ニ關シ
目下調査中ノモノ尙百五十家族アル旨ヲ報道シ居リ此ノ分
ニテ進マハ冒頭貴電ニヨル貴方ノ救護費見積額ニテハ到底
追著カサルコトトナルヘキ處勿論政府トシテハ今次事變ニ
因ル生活困窮者ニ對シテハ相當ノ救護ヲ爲ス方針ニテ鏡意

756 昭和6年11月24日 在漢口坂根総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

何成濬の取締りにより經濟断交運動緩和の方
向へむかうと思われるについて

漢口 11月24日後発
本省 11月25日後着

第八二三號

往電第八一四號何成濬ノ經濟断交取締方針ニ關シ更ニ本二
十四日楊揆一カ館員ニ語ル處ニ依レハ何カ右取締ニ意ヲ決
シ商務會側ト其方法ニ就キ協議中ナルハ事實ナルカ目下支
那側ハ各方面トモ日本側ノ撤兵ヲ先決條件ナリトシ右條件
ノ下ニ排日運動取締其他日本側ノ要求ヲ基礎トスル交渉ニ
入ルヘキヲ主張シ居ル際トテ地方的ニモセヨ進ンテ命令ヲ
發スル等ニ依リ經濟断交取締ノ態度ヲ表示スルハ内部的ニ
種々困難ナル事情アルヲ以テ先ツ支那商ニ勸告シテ對日關
係輸出入取引ヲ弗々開始セシメ反日會方面等ノ妨害起リシ
際ハ實際問題ニ就キ其都度官憲ノ力ヲ以テ臨機ノ處置ヲ講
シ其取引ヲ保護スル方針ヲ以テ進ミ漸次經濟断交運動ヲ緩
和シ行クコトニ決シ既ニ數日前ヨリ商務會側ニ之ヲ内示シ

七 排日ボイコット問題

手配シ居ル次第ナルモ貴地ニ於ケル要救護者中ニハ所謂共
喰トモ稱スヘキ生活ヲ爲シ居リタル者ニシテ一般の不況等
經濟的理由ニ依リ事件前ヨリ生活困難ニ陥リ事變力無クモ
モ全ク立チ行カサルニ至リシ者多數アルヤニ想像セラレ是
等ノ者ニ對シ事變ノ結末其ノモノノ見据付カサル今日國庫
ニ於テ際限ナク給養ヲ續クルカ如キコトハ到底不可能ノ次
第ナリ就テハ今後自活ノ見込無キ此種困窮者ニ對シテハ成
ルヘク原籍地ニ歸還シテ糊口ノ途ヲ見出サシムルノ方針ヲ
執リ(歸國スル者ニハ保護送還ノ手續ヲ執リ一ヶ月分程度
ノ生活費及旅費ヲ支給スルコト已ムヲ得サルヘシ)歸國ス
ルモ全ク生活ノ立兼ヌルモノニ對シテノミ相當期間引續キ
救護ヲ行フノ方針ニ依ルコト此際肝要ナリト認メラル貴地
ノ諸般ノ事情ニ照ラシ救護ニ関スル貴方ノ困難ナル立場ハ
充分諒察シ居ルモ御承知ノ通國家ノ財政極度ニ窮乏ノ今日
右ハ眞ニ已ムヲ得サル所ナルヲ以テ右ノ事情御含置ノ上善
處セララル様致度

支へ轉報シ北平、漢口ニ轉電アリ度

居リ本日モ本問題ノ爲商務會代表ヲ行營ニ招致シ居ル次第
ナリトノ趣ナルニ依リ旁經濟断交運動ハ少クトモ當地方ノ
關スル限り遠カラス幾分ノ緩和ヲ示ス形勢ニアリト觀測セ
ラル
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
支 北平 南京 奉天 廣東 濟南 天津 青島へ轉電セ
リ

757 昭和6年11月29日 在漢口坂根総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

錢莊組合による排日貨運動停止方要求について

漢口 11月29日後発
本省 12月1日後着

第八三四號

日貨取扱商ニ對シ巨額ノ資金ヲ融通セル當地各錢莊カ排日
以來日貨ノ賣行杜絶セル爲資金回收難ニ陥リ大半休業若ハ
破産シ現在營業ヲ繼續中ノモノ四十四軒モ其内ニ倒産スル
カ又ハ休業ノ餘儀無キ破目ニアル次第ハ往電第八二五號所
報ノ通ナルカ其後當地ノ金利暴騰セルニ引替へ日本内地ハ

金利安ト物價下落ニテ製産費大イニ低下セル上輸出爲替モ最近好轉セル事トテ新規注文ノ日貨ハ三四割方以上格安トナル計算ナル而已ナラス救國捐其他高率ノ諸掛ヲ支拂ヒタル中國商ノ手持日貨ハ値下り大ニシテ其ノ上季節外レトモナリ居リ投資ノ已ムヲ得サルニ立至ルヘキニ鑑ミ當地錢莊組合ハ一昨廿七日協議ノ結果省政府主席何成濬ニ對シ排日貨運動ノ停止ヲ反日會ニ命セラルルニアラサレハ錢莊組合ハ罷市ヲ斷行シ全部休業ノ外無キ旨陳情セル趣ナル處何ハ事態ヲ重要視シ近ク重要政務打合ノ爲南京ニ出張スル事トナリ居ルヲ幸ヒ何レ中央トモ篤ト協議スヘシトテ一時之ヲ慰撫シ居ル由ナルモ往電第八二三號ノ次第モアリ何ハ當地金融界ノ大恐慌ヲ未然ニ防遏シテ市面ヲ維持スルニアラサレハ當面ノ政費不足ヲ彌縫スルノ途無キ關係モアリ旁此ノ際之ヲ理由トシテ排日貨運動ニ對シ相當彈壓ヲ加フヘシト一般ニ取沙汰セラレ居レリ一方反日會ニ於テハ形勢不利ト見テ飽迄總商會側ノ策動ニ對抗セントスルモノノ如ク昨廿八日日常務委員會議開催ノ席上各種同業組合ヨリ殺到セル抗議の陳情ヲ審議シタルモ大部分之ヲ拒絶又ハ握リ潰シタル上進シテ十二月四日ヲ期シ日貨總檢査ヲ行フニ決シ遮二無二

財界ニ最活動セル錢莊ニ對シ親銀行ノ地位ニアル上海銀行支店ハ

(イ) 過般ノ大水災ニ際シ倉庫業者ニ對シ貸出シタル多額ノ資金融回不能トナレル上

(ロ) 排日貨運動ニ依リ日貨引當テニ貸付ノ大部分カ回收困難トナレル處同行ノ破綻ハ當地經濟界ヲ大混亂ニ導ク虞アルヲ以テ目下漢口市商會及錢業公會ニ於テ之カ救濟策ニ付協議中ノ趣ナリ

支、北平、南京、奉天、廣東、濟南、天津へ轉電シ青島、長沙、宜昌、沙市、九江へ暗送セリ

759 昭和6年12月4日 在廣東須磨總領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

広東方面の一般排日状況は依然緩和されず陳濟棠一派により悪化の懸念あるについて

広東 12月4日後発
本省 12月5日後着

第六八七號

當方面ノ一般排日狀況ハ依然緩和セラレサルノミナラス事

日貨總檢査辦法十二ヶ條ヲ可決シタル而已ナラス別ニ日貨ヲ鑑定セシメンカ爲仇貨審査委員會ヲ設置シ之カ組織大綱十二條ヲモ可決公表スル等大イニ氣勢ヲ擧クルニ努メ居ル模様ナルカ十二月四日ニ至リ果シテ如何ナル程度迄之ヲ實行スヘキヤハ今尙疑問視スル向鮮カラス委細郵報

758 昭和6年12月3日 在漢口坂根總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

漢口における金融恐慌深刻化について

漢口 12月3日後発
本省 12月4日前着

第八四四號

往電第八三四號ニ關シ

其後當地金融恐慌益々深刻化シ十一月末決算期到來ト共ニ錢莊休業スルモノ續出スルニ至リ十二月一日ニ於ケル開業者二十餘軒ニ過キス而モ實際ニ錢莊トシテノ機能ヲ維持シ居ルハ僅ニ十數軒ヲ出テサル現狀ナリ更ニ民國銀行中當地

實上ノ政變アリ更ニ深刻惡化ノ傾向アリ今後統一會議ノ爲文治派ノ大部分カ北上スル事トモナラハ往電第四六三號豫測ノ通陳濟棠一派ノ武力派ニ依リ反動的ニモ排日氣勢ノ惡化ヲ招來スル懸念充分アルヲ以テ昨三日他用ヲ以テ公安局ヲ往訪セシメタル松平ヲシテ排日取締ニ關スル内意ヲ聽取セシメタル處公安局側ハ和平會議開催後ハ民衆ノ耳目ハ恐ラク同會議ニ集中スヘキニ依リ之ヲ機會ニ漸次取締ヲ嚴ニスル積リナル旨語リタルニ付松平ヨリ試ニ沙面ニ避難中ノ邦人(目下約五十人)ヲ漸次現住所ニ歸還セシメタキ旨申述ヘタルニ對シ當局ハ目下各方面ノ學生請願團集シ居リ空氣穩カナラサルモノアルニ付成ルヘクナラハ暫時現住所歸還ヲ見合セル様懇願セル趣ナリ

右ノ如ク公安局ニ於テハ依然邦人保護ニハ充分ノ措置ヲ爲シ居ルモ其安全ニハ自信無キモノノ如クナル一方盲目的愛國ニ狂奔スル學生ノ行動取締モ相當困難ナル模様ニテ旁政局ノ機微ナル關係モアリ局長香翰屏ハ辭意ヲ洩シ居ル趣ナルカ何レニセヨ政變ノ結果濟棠派カ四全大會ニ於ケル候補委員選舉ニ於テ勝テハ其餘威ヲ藉リテ親日的ナル文治派ヲ壓迫スヘク敗レハ腹癒セノ爲ニ排日ヲ煽ル事モアルヘク反

日運動ノ將來甚タ憂慮ニ耐ヘサルモノアリ勿論充分警戒手配ヲ怠ラサルモ右不取敢支、北平、奉天、天津、漢口、南京、汕頭へ轉電セリ支ヨリ上海へ轉報アリタシ

760 昭和6年12月23日 在上海村井總領事より 犬養外務大臣宛(電報)

資本を有するも換貨できない所謂有産者中の困窮者にも救済方必要と思考について

上海 12月23日後発 本省 12月23日後着

第九三九號

事變發生以來邦人商工業者ハ支那人ノ徹底的經濟絶交ニ遇ヒ大打撃ヲ受ケ其内ノ中堅所ノモノハ曩ニ上海工業同志會又ハ上海實業有志會ノ名ニ於テ融資方ニ付政府ニ向ヒ夫々請願スル所アリタルカ(拙信第一三一一號及第一四〇二號参照)其後右團體ニ屬セサル中小商工業者ヨリ成ル上海商工同志會及上海商工組合聯合維持會ナルモノ生レ次テ商權維持ノ低利資金借入運動ニ邁進スヘク之等四團體ハ上海日

トナリ其ノ個人ニトリ大ナル不幸ナルト共ニ大ニシテハ我商工業ノ對支發展ヲ害フ次第ナルヲ以テ所謂無産極貧者ノ外ニ彼等ニモ亦相當ノ救済ヲ與ヘ日支通商關係力常態ニ復スル迄頑張ラシムル事必要ナルヘキカト存ス

然ル處其ノ救済ハ何日迄必要トスルニ至ルヤ不確定ナル而已ナラス其ノ人員及金額ノ如キモ月毎ニ増加スヘキ懸念アリ政府財政窮乏ノ折柄其ノ處理ニ當惑シ居ル次第ナルカ一方彼等ハ此ノ年末ニ際シ生活資金窮乏ノドン底ニ陥リ居ルモノノミニシテ事急ヲ要スルニ付テハ今後ノ事ハ篤ト御考慮ヲ願フ事トシ此ノ際急場ノ救済ノ意味合ニテ一萬弗ノ範圍内(此ノ種救済希望者ハ今ノ處前記ノ内ニ總テ網羅セラレ居ルヘシト思考スルモ愈貸下實行トナラハ更ニ申出ツルモノ多少アルヘキニ付)ニテ右生活維持費貸下方枉ケテ御承認ヲ賜ハリ度シ尙御承認サヘアラハ現金ハ當地ニ於テ融通ノ見込アリ 公使へ轉報セリ

761 昭和6年12月24日

在芝罘内田領事より 犬養外務大臣宛(電報)

本人商工聯合會ヲ組織シ既ニ代表者ヲ上京セシメ居ル處今回同聯合會ヨリ會員九百餘名中五十六名ハ店舗又ハ工場ヲ構ヘ若干ノ商品器具器械ヲ有シ店員ヲ擁シ乍ラ商品ハ皆目賣レス清算ハ行ハレス賣掛金ハ回收不能又融通ノ途ハ全然梗塞シタリトテ店舗又ハ工場ヲ處分スル時ハ將來ニ亘リ生活ノ基礎ヲ失フ事トナルヲ以テ之ヲ爲シ得ス即チ彼等ハ若干ノ資本ヲ擁シツツ今ヤ生活ニ窮スルニ至レリトテ之等ニ對シ相當ノ時機到來スル迄生活ヲ維持シ得ル資金ノ貸下アリ度キ旨各人ノ一ヶ月借受希望額及幹事ノ査定額ヲ舉ケ願出タリ而シテ右査定額ハ九千四百三十七弗(希望額ハ二萬三千七百五十八弗)ニシテ一人當リ約百十弗(家族數ヲ加フル時ハ一人當リ約二十弗)ニシテ大體妥當ナル査定ヲ行ヒ居ルモノト認メラル

御承知ノ通目下當館ニ於テ救済中ノモノハ時局ニ依リ失業セル言ハハ無産極貧者ナルカ今回願出ニ係ルモノハ夫ト稍趣ヲ異ニシ何レモ或程度ノ資本ヲ有スルモノ之ヲ換貨スル事ヲ得サル爲困窮シ居ル言ハハ有産者中ノ生活困難者ニ有之而シテ彼等ハ此ノ儘ニ放置セハ近ク倒産シ排日サヘ終絶セハ何トカ恢復ノ望アル商權ハ素ヨリ生活ノ基礎サヘ失フ事

撫順炭移入差し止めによる影響拡大傾向について

芝罘 12月24日後発 本省 12月25日前着

第八六號

往電第八一號ニ關シ

一昨二十二日日本官劉珍年往訪日貨排斥運動ノ内情ヲ説明シ法理上ノ不都合ハ扱テ置キ撫順炭差止メノ如キハ一般市民ノ不便ハ勿論民國人石炭屋及船會社ノ打撃鮮カラス如斯ハ益々當市繁榮ノ凋落ヲ誘致スル亡國運動ナル旨ヲ説示シ取締方懇談シタル處劉ハ近來反日運動新聞記事モ全然姿ヲ潛メ居ル爲其實情ヲ知ラサルモノノ如ク稍々吃驚セル模様ナリシカ省政府ヨリ何等取締方訓令ナク又自分ハ軍人ニテ軍事以外ニハ干渉シ難シ本件ハ公安局長ノ責任ヲ負フヘキ筋合ナルヲ以テ同局長ニ交渉アリタシト申出タルニ付貴師長ハ省政府委員ニテモアリ又當地方ノ實權ハ貴師長ノ掌中ニアルモノト認ムルヲ以テ公安局長ニ取締勸行ノ内訓ナリトモ與ヘラレタキ旨篤ト申入置キタルカ更ニ同夜公安局長ヲ往訪シ右同様申入レタル處同局長ハ早速實情ヲ取調ヘ何分ノ措置ヲ執ルヘキ旨申出タリ

尙劉ハ右會見ニ際シ日本内閣更迭ト共ニ蔣主席ノ下野ニ依リ兩國間時局收拾ノ端ヲ開キ得ハ甚タ結構ナリト語り更ニ日本軍人間ニ伊國「フアシスト」ノ如ク國粹黨ヲ組織シ大「クーデター」ヲ行ハントスル計劃アル由ナルカ實情如何ト尋ネタルニ付本官ハ右様ノ風説ハ上海方面ニ盛ニ流布セラレ居ル模様ニシテ從來ノ通消極的政策ニ對スル反動トシテ右ノ如キ強硬意見ノ出現ハ敢テ怪シマサルモ俄ニ具体化スルモノトモ思ハレスト可然應酬シ置キタリ
公使ヨリ上海へ轉報アリタシ
~~~~~  
公使、濟南ニ轉電シ北平、青島、奉天ニ暗送セリ

762 昭和6年12月28日 在濟南西田總領事より  
犬養外務大臣宛(電報)

韓主席の反日嚴重取締りと濟南における商況  
につき報告

濟南 12月28日後発  
本省 12月28日後着

第三一〇號

韓主席ノ反日取締嚴重ノ爲邦商取引商品ハ別段打撃ヲ受ク

シ一ヶ月平均五千件ヲ超ユルニ至レリ尙天津方面行ハ主トシテ細手ニシテ三十二、四十二番手需要セラル支ヨリ上海、漢口へ轉報アリタシ  
支へ轉電シ北平、青島、奉天、天津、南京、芝罘へ暗送セリ

編注 「件」の箇所に「？」の書き込みあり。

763 昭和6年12月28日 在上海村井總領事より  
犬養外務大臣宛(電報)

上海市政府が二十五日付にて学生運動取締り  
命令發出について

上海 12月28日後発  
本省 12月28日後着

第九四四號

南京發閣下宛電報第八六〇號ニ關シ

上海市政府ハ廿五日附ヲ以テ大要左ノ如キ學生運動取締命

ル事無く又赴京學生等歸濟後モ特ニ排日貨の行動無く取引界ハ影響ヲ受ケス順調ニ向ヒツアル處當地方ノ主ナル商況左ノ通  
一、棉花、奥地ヨリノ入荷多ク當地在荷目下四、五萬俵ニ上リ相場一俵五十元見當、尙相當出廻リアル模様ナリ  
現在ノモノハ水分多ク青島紡績筋ノ需要ヲ惹起セサルモ後價格ノ騰貴ヲ見越シ容易ニ手放シセス  
二、落花生、本月中旬來入荷豫想ヨリ少ク且ツ青島値下リ當地相場ト二十仙ノ開キアル爲商談成立セス年末市況活潑ナラス現在市中在荷十一萬噸ニシテ賣手側ハ新春ヲ見越シ賣惜ノ体ニアリ廣東幫ハ蔣介石下野等ノ爲買入レ手控氣味ナリ

三、綿絲、當市場ニ集中スルモノハ上海製品最モ多ク青島品之ニ次キ一ヶ月平均二、三千件<sup>(單位)</sup>ニシテ十六番手八割、二十番手一割八分、十、十二、三十二番手ヲ合セ二分見當ナリ上海製品ハ同地反日貨ノ爲中國製品ノ需要ヲ喚起セル爲當地方へノ輸送頓ニ減退シタルヲ以テ日本品漸次需要セラレ殊ニ天津事變後當地ヲ經テ天津方面ニ移送セラルルモノ漸増セル結果當地市場ハ活氣ヲ呈

令ヲ發セリ

國民政府發十八日附ノ電訓ニ依レハ滿洲事件發生以來請願運動ノ爲各地學生ノ入京スルモノ多數ニ上リタルカ其行動ハ政府機關ヲ破壞シ交通ヲ遮斷シ中央委員ヲ毆打シ公務員ヲ逮捕訊問スル等違法越軌ノ舉措多ク爲ニ國法ヲ亂シ社會ノ秩序ヲ破壞シ外人ノ驚笑ヲ買フニ至レリスル行動ハ決シテ神聖ナル愛國運動ト云フヘカラス故ニ爾今各省市政府機關ハ責任ヲ以テ學生ノ示威游行ヲ嚴禁シ危險狀態發生セハ直ニ緊急處置ヲ講スヘシ云々トノ趣ナリ依テ市公安、教育兩局ヲシテ該命令ヲ遵奉セシムルト共ニ一般ニ布告スルモノナリ  
因ニ當地方學生運動ハ昨今當局ノ取締嚴重トナリタルト共ニ學校當局ノ態度モ干涉的トナリ冬休ヲ繰上ケ歸郷ヲ勸メタル爲大部分ノ學生ハ校舍ヨリ去リ一先ツ平靜ニ歸シタリ支へ轉報シ北平、南京へ暗送セリ